

# 相模原市図書館事業評価書

(評価期間：平成 29 年度～令和元年度)

令和 3 年 8 月

相模原市立図書館



## 【目次】

### 図書館事業評価の目的及び概要等

- 1 図書館事業評価の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 図書館事業評価の概要及び評価手法・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

### 相模原市図書館事業評価の総括（評価期間：平成 29 年度～令和元年度）

- 1 平成 29 年度～令和元年度における図書館事業評価総括・・・・・・・・ 6
- 2 全体評価の総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 3 各館評価の総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

### 相模原市図書館事業評価の詳細結果

- 1 全体評価（定量評価）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
  - （1）蔵書に関する指標
  - （2）利用に関する指標
  - （3）来館に関する指標
- 2 各館評価（定性評価）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
  - （1）市立図書館
  - （2）相模大野図書館
  - （3）橋本図書館
  - （4）各館評価に係るアンケート実施結果（平成 29 年度）
  - （5）各館評価に係るアンケート実施結果（平成 30 年度）

## 図書館事業評価の目的及び概要等

### 1 図書館事業評価の目的

図書館法第7条の3及び第7条の4では、運営の状況について評価を行い運営の改善を図るための措置を講ずることと、運営の状況に関する情報を積極的に提供して地域住民や関係者の理解を深め、連携及び協力の推進に資することについて、努力義務規定が設けられている。

また、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成24年12月19日 文部科学省告示第172号)では、図書館の基本的な運営方針に基づいた運営の確保と、その事業水準の向上を図るため、運営状況の点検及び評価を行うよう努めることとされている。

このことから、相模原市の図書館においても図書館事業評価を行い運営改善に生かすため、他市図書館の評価実施状況について調査研究を行い、担当者会議において評価内容及び実施方法等の評価案を作成するとともに、相模原市立図書館協議会(以下「図書館協議会」という。)に意見をいただきながら検討を進め、平成26年度から図書館事業評価を実施している。

#### 【参考：図書館事業評価実施の根拠】

##### 図書館法

(運営の状況に関する評価等)

第7条の3 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(運営の状況に関する情報の提供)

第7条の4 図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」

(平成24年12月19日文部科学省告示第172号)

第2の1の(二)

1 管理運営

(二) 運営の状況に関する点検及び評価等

1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされること

を確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。

2 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第十四条第一項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。

3 市町村立図書館は、前二項の点検及び評価の結果に基づき、当該図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

4 市町村立図書館は、第一項及び第二項の点検及び評価の結果並びに前項の措置の内容について、インターネットその他の高度情報通信ネットワーク（以下「インターネット等」という。）をはじめとした多様な媒体を活用すること等により、積極的に公表するよう努めなければならない。

## 2 図書館事業評価の概要及び評価手法

### (1) 事業評価の概要

図書館協議会による検討等を重ねてきた中で、事業評価については、図書館サービスの向上に資するため、各年度に掲げた目標及び事業について検証及び評価を行うこととし、新・相模原市総合計画の実施計画期間（中期実施計画：平成26年度から平成28年度、後期実施計画：平成29年度から令和元年度）に合わせて、3か年分をまとめた評価書を3年に1度公表することとした。

評価書については、本市図書館全体の利用者へのサービスに係る全体評価と、市立図書館及び相武台分館、相模大野図書館、橋本図書館の各事業に係る各館評価に分けた構成内容とすることとした。

### (2) 事業評価の手法

評価手法については、第三者の立場から客観的視点で行われる外部評価と図書館職員の自己評価による内部評価、図書館利用者の満足度やニーズの把握等を目的に行うアンケート調査を採用した。外部評価については、様々な専門性と知見を有する図書館協議会委員に、運営に関わる事項として外部評価を依頼することとした。

### (3) 全体評価

全体評価は、図書館サービスに係る評価指標と目標値を設定し、目標値に対する達成状況を定量的に検証することとし、図書館協議会委員による外部評価と図書館職員による内部評価を行った。

#### ア 評価指標

評価指標は平成22年に策定された『相模原市図書館基本計画』（以下『基本計画』）の成果指標をベースに検討し、図書館サービスの基本となる「蔵書に関する指標」「利用に関する指標」「来館に関する指標」の3つの指標に分けて評価を行った。

##### ・蔵書に関する指標

市民1人当たりの蔵書数<sup>1</sup>、参考図書<sup>2</sup>の蔵書数、郷土資料<sup>3</sup>の蔵書数

1 蔵書総数（視聴覚資料を除く）を市人口で割った数値。

2 辞（事）典や年鑑など、主に調査研究の用途で必要箇所を参照する資料。

3 地方行政資料や郷土に関する歴史的資料、地域内で刊行された資料など、その図書館が設置された地域や関係する地域に関連する資料。

・ 利用に関する指標

市民 1 人当たりの貸出冊数<sup>4</sup>、子どもの貸出冊数<sup>5</sup>

・ 来館に関する指標

入館者数、おはなし会参加者数、レファレンス<sup>6</sup>の受付件数

入館者数は、『基本計画』では成果指標の項目としていないが、場としての図書館機能を計るため項目に加えることとした。

イ 目標値

各指標の項目に係る目標値は、過去の実績を踏まえ「増加を目指す」及び「減少を抑える」の2つの視点から以下の表のとおり設定する。

「増加を目指す」とは、事業実施等により更に増加を目指すことを目的とし、「減少を抑える」とは、人口動向及び社会的要因等により、減少はやむを得ない状況にありつつも、事業実施等によりその減少率を抑制することを目的とする。

指 標	項 目	目 標 値 ( 対前年度増減率 )
蔵書に関する指標	市民 1 人当たりの蔵書数	0.2% 増加
	参考図書の蔵書数	1.5% 増加
	郷土資料の蔵書数	3.0% 増加
利用に関する指標	市民 1 人当たりの貸出冊数	2.0% 以内の減少
	子どもの貸出冊数	5.0% 以内の減少
来館に関する指標	入館者数	1.0% 増加
	おはなし会参加者数	1.0% 増加
	レファレンスの受付件数	1.5% 以内の減少

4 貸出総数を市人口で割った数値。

5 貸出登録者のうち、0歳～18歳の登録者の貸出冊数。

6 図書館が実施する情報サービスの一つで、資料や情報を求めている利用者に対して調査支援や直接回答を行う。

#### ( 4 ) 各館評価

各館評価は、各図書館で実施した事業を定性的に検証することとし、図書館職員による内部評価と図書館利用者へのアンケートを行った。

なお、令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館の影響により、アンケートは実施しなかった。

##### ア 評価対象

各図書館で実施した年度ごとの主な事業を評価対象とし、事業への取組や成果等について検証するとともに、評価や課題点等を抽出した。

##### イ 図書館利用者アンケート

来館者へのアンケート及び各事業実施時のアンケートによる利用者意見から評価や課題点等を抽出した。

## 相模原市図書館事業評価の総括

(評価期間：平成 29 年度～令和元年度)

### 1 平成 29 年度～令和元年度における図書館事業評価総括

図書館サービスの基礎となる蔵書については、蔵書更新を行いながら、市民 1 人当たりの蔵書冊数を維持している点が、図書館協議会の外部評価において評価された。一方で、蔵書に占める新たな資料の割合が少なく、利用者の多様なニーズに応えきれていないことや、全国的な平均値との比較において市民 1 人当たりの蔵書数が十分とは言えないことなどが課題として指摘されたことから、今後も継続的に、蔵書の質量の向上を図る必要がある。また、図書館が伝統的に収集・保存してきた資料に加え、デジタル媒体やネットワーク情報資源<sup>7</sup>を含めた多様な資料や情報の提供と、それらへアクセスするための環境整備に取り組む必要がある。

図書館の基本的なサービスである資料の利用については、貸出冊数が中長期的に減少傾向にあることから、蔵書の更なる充実及びサービスの利便性向上に加え、図書館の様々な取組が資料の利用につながるような循環を目指すことが課題とされた。関係機関とも連携しながら、資料展示やイベントなど図書館利用を促進する様々な取組を数多く実施していることについては評価されたが、今後も図書館が扱う資料分野の多様性を生かし、読書推進に加え、読書に留まらない取組を実施することで、資料の利用につなげたい。

図書館への来館については、入館者数が中長期的に減少傾向にある一方で、おはなし会への参加者数やレファレンスの受付件数は、増減を繰り返しながらも緩やかに増加してきたことから、図書館の専門的なサービスとして一定の役割を果たしていることが評価された。入館者数の減少については、中長期的な計画に基づき蔵書や各サービスの充実等の総合的な取組を推進するとともに、社会の変化の中で図書館の魅力や価値を捉え直し、それを広く発信することで利用者を引き付けることが課題として指摘された。『第 2 次相模原市図書館基本計画』及び『第 3 次相模原市子ども読書活動推進計画』に基づき各施策を推進することで、図書館利用者の拡充に努めたい。

また、評価手法の観点から、利用状況や施策の効果の詳細な分析を行うことや、満足度調査により、量的評価では捉えきれないサービスの評価を把握

---

<sup>7</sup> インターネットを通じて利用可能な情報源のこと。

するなどの課題も挙げられた。課題を踏まえ新たな評価の枠組みを検討し、評価を実施することでサービスの改善に生かしたい。

こうした評価を真摯に受け止め、今後とも改善を積み重ねながら、市民の知の拠点として、市民や地域に役立つ図書館を目指して活動していく。

## 2 全体評価の総括

全体評価（p11～65）は、蔵書・利用・来館に係る各指標について定量的に検証し評価を行った。

### （1）蔵書に関する指標（3項目）

網掛けは目標を達成した項目

評価項目	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 実績値	令和元年度 実績値	前年比 目標値
市民 1 人当りの 蔵書数（冊）	2.01	2.01	2.01	+0.2%
	+0.4%	-0.02%	-0.03%	
参考図書の 蔵書数（冊）	61,731	62,000	62,986	+1.5%
	+1.6%	0.4%	+1.6%	
郷土資料の 蔵書数（冊）	83,278	83,324	84,424	+3.0%
	+2.2%	+0.1%	+1.3%	

「市民 1 人当たりの蔵書数」「参考図書の蔵書数」「郷土資料の蔵書数」について評価を行った。

市民 1 人当たりの蔵書数は、平成 29 年度は目標を達成し、平成 30 年度及び令和元年度は達成できなかった。参考図書の蔵書数は、平成 29 年度及び令和元年度は目標を達成し、平成 30 年度は目標を達成できなかった。郷土資料の蔵書数は、順調に増加したものの、いずれの年度も目標は達成できなかった。

蔵書数は、平成 29 年度までは増加傾向にあったが、平成 30 年度から令和元年度にかけては、除籍による蔵書更新が進んだ結果、ほぼ横ばいの状況が続いた。各館の蔵書収容能力が不足しているなどの課題はあるものの、蔵書は図書館サービスの基礎となるものであり、全国的な平均から見ても市民 1 人当たりの蔵書数が十分とは言えないことから、適切な蔵書更新を行いながら、引き続き量的な充実を図る必要がある。

継続的に蔵書の充実を図るために、各図書館が地域のニーズに応じた選書を行うとともに、中央図書館機能<sup>8</sup>として本市図書館全体を捉えた図書館資料の収集・保管の統括を行い、より効果的な蔵書構築を進めたい。また、市立図書館の再整備に当たっては、蔵書収容能力の向上も併せて行い、郷土資料等の確実な蓄積と継承を行うことが今後の課題である。

( 2 ) 利用に関する指標 ( 2 項目 )

網掛けは目標を達成した項目

評価項目	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 実績値	令和元年度 実績値	前年比 目標値
市民 1 人当 たりの貸出冊数 ( 冊 )	3.76	3.64	3.21	-2.0%
	-2.3%	-3.2%	-11.8%	
子どもの 貸出冊数 ( 冊 )	491,292	453,588	405,501	-5.0%
	-2.1%	-7.7%	-10.6%	

「市民 1 人当たりの貸出冊数」「子どもの貸出冊数」について評価を行った。市民 1 人当たりの貸出冊数は、いずれの年度も目標値以上の減少となった。子どもの貸出冊数は、平成 29 年度は目標以内の減少に抑えることができたが、平成 30 年度及び令和元年度は目標以上の減少となった。特に令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館により、貸出冊数が大きく減少している。

貸出冊数の総数は平成 21 年度をピークに減少傾向にあり、それに伴い、2 つの指標も減少が続いている。減少傾向は本市だけではなく、他自治体でも見られるものであり、情報社会が進展する中で、読書の役割や情報収集方法が変化していることなどが影響していると考えられる。

引き続き、蔵書の充実及び貸出・返却といった基本的なサービスの利便性向上に努めるとともに、読書推進の取組だけではなく、社会状況の変化に応じた新たな視点も加えながら、継続的に図書館利用促進の取組を実施することで、資料の利活用につなげることが課題である。

8 全市的な図書館施策を企画・統括し、専門的業務を担う機能として、市立図書館において確立及び充実を目指している。

また、子どもの貸出については、『相模原市子ども読書活動推進計画』における取組の中で、学校や関係機関等とも連携しながら、子どもの読書活動の推進に努めたい。

(3) 来館に関する指標(3項目)

網掛けは目標を達成した項目

評価項目	平成 29 年度 実績値	平成 30 年度 実績値	令和元年度 実績値	前年比 目標値
入館者数(人)	1,947,843	1,870,491	1,628,561	+1.0%
	-3.9%	-4.0%	-12.9%	
おはなし会 参加者数(人)	9,526	9,060	7,197	+1.0%
	+6.7%	-4.9%	-20.6%	
レファレンスの 受付件数(件)	35,703	35,870	31,430	-1.5%
	-3.1%	0.5%	-12.4%	

「入館者数」「おはなし会参加者数」「レファレンスの受付件数」について評価を行った。

入館者数は、いずれの年度も目標を達成することができなかった。おはなし会参加者数は、平成 29 年度は目標を達成し、平成 30 及び令和元年度は達成できなかった。レファレンスの受付件数は、平成 30 年度は目標を達成し、平成 29 年度及び令和元年度は達成できなかった。いずれの指標についても、令和元年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館の際にサービスを休止したことから、大きく減少した。

おはなし会参加者数及びレファレンスの受付件数については、令和元年度は大きく減少したものの、中長期的には緩やかに増加をしてきた。更なる事業の工夫や周知を図るとともに、コロナ禍以降においては、非来館型のサービスのニーズを踏まえた事業展開が課題である。

入館者数については、貸出冊数と同様に減少傾向が続いており、資料提供等のサービスや施設のあり方など、図書館の総合的な取組が影響していると考えられる。中長期的な計画に基づいた取組の継続が必要であるとともに、社会の変化の中で図書館の魅力や価値を捉え直し、それを広く伝えることで、図書館を利用する人々を引き付けることが課題である。

### 3 各館評価の総括

各館評価（p66～）は、各図書館で実施した年度ごとの主な事業を評価対象とし、事業への取組や成果等について検証し内部評価を行った。

各館における課題や利用者ニーズに即した蔵書構築を行い、継続的な資料の展示によって利用を促進するとともに、関係機関とも積極的に連携を図り、資料の利用につながるような事業を幅広い年代に向けて実施した。

また、事業の実施だけではなく、図書館の事業を周知する取組の拡充や、施設の整備など、利用環境の充実という側面からも利用促進を図った。市立図書館においては、本市図書館全体を捉えた取組として、図書館システムの更新や、新たな計画の策定を推進した。

全体評価と同様に、来館者数や貸出冊数は館別に見ても中長期的には減少傾向にある一方で、一部のコレクションの利用が増加するなど、部分的には図書館の取組により利用の活性化が図られたケースも見られた。今後も、事業を計画的に推進して図書館利用促進につなげることが課題である。

各館の指標の動きやアンケート結果を分析して利用者ニーズの把握に努め、地域図書館<sup>9</sup>としてのサービスや蔵書構築等に生かして更なる事業の充実を図りたい。

---

9 市立図書館、相模大野図書館、橋本図書館が該当する。主に各区域において、地域特性を生かした特色ある事業展開を行う役割を果たす。

## 相模原市図書館事業評価の詳細結果

## 1 全体評価(定量評価)

## (1) 蔵書に関する指標

蔵書に関する指標(平成29年度)			
【実績値】			
評価項目	目標値 (対前年度増減率)	実績値	
		平成28年度	平成29年度
市民1人当たりの 蔵書数(冊)	2.01 (+0.2%)	2.01	2.01
蔵書総数		1,449,482	1,458,403
相模原市人口		720,986	722,334
参考図書の蔵書数 (冊)	61,691 (+1.5%)	60,779	61,731
郷土資料の蔵書数 (冊)	83,902 (+3.0%)	81,458	83,278

## 【内部評価】

市民1人当たりの蔵書数について、平成29年度の蔵書総数は、前年度から8,921冊増加した。その結果、市民1人当たりの蔵書数は2.01冊で推移し、目標値を達成することができた。購入及び寄贈による新規受入冊数は36,912冊で、前年度(37,962冊)と比べやや減少した。除籍冊数を差し引いた純増加冊数(8,921冊)を分類別に見ると、児童書、郷土資料、文学、参考図書の順に増加冊数が多かった。

蔵書総数及び市民1人当たりの蔵書数は増加傾向で推移しているが、蔵書総数に占める新規受入資料の割合は全体で約2.6%に留まっている。かつ、予約・リクエストの受付件数が増加傾向で推移しているため、予約が入りやすい新刊書等が書架に並ぶ機会が少ないと考えられる。

また、蔵書1冊当たりの年間貸出回数は、平成20年度2.5回、平成25年度2.0回、平成29年度1.8回と減少傾向で推移しており、蔵書全体としての回転は鈍化している。

情報通信技術の発達により、特定の本を探す技術の精度は高まっているが、

新たな本との出会いという意味において、蓄積された蔵書とそれを展開する書架の機能は図書館の強みと考えられる。資料の量的充実を図りながら、利用者にとって魅力を感じられる蔵書と書架を維持していくことが課題である。

課題に対する取組として、館ごとに年間 60～70 回を超える企画展示を随時実施した。時事に合わせたテーマや世代の関心に応じた視点で図書館の蔵書を編集し展示することで、分類ごとの配置とは異なる観点で本との出会いを促すことに努めた。また、橋本図書館では、試行的に津久井地域の公民館等図書室の蔵書更新事業を開始した。図書館で不用除籍<sup>10</sup>となった資料の一部から、公民館が必要とするものを移管することで、資料の有効活用を図るとともに、公民館図書室の蔵書の新鮮度を高める工夫に努めた。

多様な利用者の情報要求に応えるため、引き続き蔵書の量的充実を図り、幅広い分野の資料を収集するとともに、図書館への来館や活字の読書が困難な利用者等に向けた電子書籍の導入検討や、外国人に向けた様々な言語による資料の収集など、蔵書の質の多様化にも努めたい。

参考図書は、前年度から 952 冊(1.6%)増加し、目標値を達成することができた。郷土資料の蔵書数は、前年度から 1,820 冊(2.2%)増加したものの、目標値を達成することができなかった。

参考図書及び郷土資料については、受入冊数は昨年度と比べ大きな変化は無いが、除籍冊数が減少したため、増加につながった。これは、郷土資料の内、行政資料について、平成 27 年度から実施した保存年限の見直しによる除籍が昨年度までにある程度進み、今年度は除籍冊数が落ち着いたものと考えられる。参考図書については、高額な資料が多いため、今後も 3 館で調整を図りながら、調査研究に資するコレクションを構築していくことを課題として捉えている。

郷土資料の利活用を促進する取組として、市立図書館における公文書館・博物館との連携展示や、相模大野図書館、橋本図書館における郷土に関する講座の実施、各館における乳がん月間や発達障害啓発週間に合わせた啓発展示等の庁内情報発信の取組など、各機関の専門性を活用しながら郷土資料の周知と活用を図っている。また、3 館で作成している「テーマ別調べ案内」<sup>11</sup>や、橋本図書館の「発見!さがみはら」<sup>12</sup>など、図書館が蓄積してきた情報源を活用

---

10 除籍基準の 1 つ。新版等の購入による差し替えや、資料的価値及び利用価値を失った資料を除籍する場合に用いる。

11 「企業情報」「統計」などの特定の主題について、調査方法や調査に有効な資料を紹介したリーフレット。各館で配布しているほか、ホームページで公開している。

12 橋本図書館が発行する子ども向けの「さがみはらミニガイド」。相模原市の行政・歴史・文化・産業などを分かりやすく紹介している。

した発行物を編集し、参考図書や郷土資料の情報発信を行なっている。

今後も効果的な蔵書構築に努めるとともに、蔵書情報の発信を積極的に行い、資料の利活用促進につなげたい。

【外部評価】

評価

・ 蔵書総数及び市民1人当たりの蔵書冊数が増加している。
・ 蔵書の数だけでなく、質を高めるよう努めている。
・ 高額な資料の多い参考図書を3館で調整し、コレクションを構築している。
・ スペースが決められているため発生してしまう古書を、なるべく他に回して無駄にしないよう努めている。
・ 課題に対する取組として、館ごとに年間60~70回を超える企画展示をし、市民に対して本との出会いの機会を積極的に設けている。
・ 津久井地域の公民館等図書室の蔵書更新については、将来の図書館計画との関連も出てくる可能性があるため、新しい動きとして注目している。
・ 「テーマ別調べ案内」などの図書館による情報発信に取り組んでいる。

課題

・ 蔵書総数が、職員の工夫や努力により目標値を達成できたことは評価できる引き続き、電子書籍の導入や新刊書の充実を含め量的充実を図るとともに、多様な関心に対応できるような質の充実も進めることが必要だと思う。
・ 蔵書冊数を増加させることは重要である一方で、それに満足せず、市民が使える蔵書、魅力ある蔵書を維持してほしい。
・ 蔵書を多数有しているは好ましいことだが、古くなった本が多数陳列されていると来館者を失望させるので、古くなった図書は書庫にしまい、話題の図書や貸出予約が多い図書を優先的に書架に並べておくことが望ましい。
・ 蔵書総数及び市民1人当たりの蔵書数が増加していることは評価できる。しかし、新規受入資料の割合が低値であること、1冊当たりの年間貸出回数が減少傾向にあることなどは課題と言える。
・ 橋本図書館における津久井地域の公民館等図書室の蔵書更新事業において、不要除籍となった資料だけでなく、積極的に新刊図書の導入を図るな

<p>どの措置も必要ではないか。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートで社会人向けの講座等が希望されているように、利用者が学びたい、感じたいと声が上がっている部分を目的に蔵書を選ぶなど、質の重視をどこに置くかは今後も引き続き検討していくべき。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どものうちから本に親しめるよう、学校図書館協議会とも連携を図って良い本が紹介できると良い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土資料や参考図書については、市民の方でもお持ちの方がいると思われる。終活などで必要なくなってしまう場合もあると思うので、寄贈を受け付けていることをもっと発信したほうが良い。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>参考図書に関して、冊子体の参考図書の購入調整は、同時に市内の協力レファレンス体制の充実に関連すると考えられる。それを踏まえ、各館の特徴に合わせたコレクション構築が行われても良いのではないか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>未導入のデータベースの対応も検討する余地があると思われる。例えば、JapanKnowledge はいずれの図書館でも利用できて良いのではないか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「テーマ別調べ案内」などの図書館による情報発信への取組は評価できるが、これらがどの程度利用者の目に留まっているかには疑問もある。広報も含め、その周知に積極的に取り組んでもらいたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>年に数十回もの企画展示を随時実施していることは評価に値する。しかし、図書館を頻繁に利用する人でも、意外に館内全体を歩くことはなく、いつも決まったコーナーに直行することが多い。館内各所にあるせっかくの企画展示を、より多くの人に見てもらうにはどうしたら良いか検討されたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>他の指標とも関連するが、年間 60 回以上の企画展示を通じて多様な本との出会いを演出している点は評価できる。他方、これらの展示図書が展示中にどの程度利用されたのか、展示後はどうか、また展示中に貸し出された場合のその後の対処はどうか（貸出中のためそれを手に取ることができないことなど）といったことへの対応が不明である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>予約の多い図書（新刊書に限らず）は書架に並ぶ機会が少なく、結果利用者の目に触れる機会が少なくなるという指摘について、図書館がどのように対応するかの展望を知りたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>目標値が達成できている点は、評価できる。一方、8,921 冊の内容（ジャンル、予測される対象者等）の質的な資料がないので、一步踏み込んだ評価（質的評価）は困難である。</li> </ul>

蔵書に関する指標（平成 30 年度）			
【実績値】			
評価項目	目標値 (対前年度増減率)	実績値	
		平成 29 年度	平成 30 年度
市民 1 人当たりの 蔵書数(冊)	2.02 (+0.2%)	2.01	2.01
蔵書総数		1,458,403	1,457,168
相模原市人口(人)		722,334	721,910
参考図書 の蔵書数 (冊)	62,657 (+1.5%)	61,731	62,000
郷土資料 の蔵書数 (冊)	85,776 (+3.0%)	83,278	83,324

【内部評価】

市民 1 人当たりの蔵書数について、これまで蔵書総数は増加傾向で推移していたが、平成 30 年度の蔵書総数は、前年度から 1,235 冊減少した。その結果、市民 1 人当たりの蔵書冊数は 2.01 冊で推移し、目標値を達成できなかった。購入及び寄贈による新規受入冊数は 37,456 冊で、前年度(36,912 冊)と比べやや増加したが、除籍冊数(39,528 冊)が上回ったため、減少となった。

除籍冊数については、前年度(29,620 冊)と比べ 9,908 冊増加した。分類ごとの内訳を見ると、文学が最も多く、次いで児童書、社会科学の順となっており、芸術を除く各分類において前年度より除籍数が増加している。各施設で書架を適切な状態に保つためには、資料を受入れ、蔵書の充実を図るとともに、汚破損といった資料の状態や情報の鮮度などを鑑みた中で、適切な除架<sup>13</sup>及び除籍が必要である。

除籍を進めた一方で、利用の側面から蔵書を見ると、蔵書回転率<sup>14</sup>は、平成 20 年度 2.5 回、平成 25 年度 2.0 回、平成 29 年度 1.8 回、平成 30 年度 1.7 回と減少傾向で推移しており、改善には至っていない。「事業に関するアンケート」では、書架に並ぶ本が古い、変化が無いなど、書架の新鮮度に関する意見

13 資料の利用状況や状態等を確認し、書架から資料を除くこと。除架した資料は、書庫に保存したり、除籍したりする。

14 年間貸出冊数を蔵書数で割って算出した数値で、蔵書がどの程度利用されているかを図る指標となる。

が例年寄せられている。また、平成 30 年度に実施した「市政モニターアンケート」では、図書館サービスについて不満、やや不満と感じる理由について、「新しい図書資料が少ない」が最も多く、次いで「利用したい図書資料が少ない」と、資料に関する意見が多かった。

これまでの定量的な評価や利用者意見を踏まえると、開架書架に並ぶ蔵書の新鮮度を適切に保ちながら、資料と利用者を結びつける取組を継続的に行い、市民及び図書館利用者の新たな関心や学びの喚起、暮らしの質の向上等に資する蔵書を構築することが課題として捉えられる。

蔵書の新鮮度について一つの取組としては、3 図書館がそれぞれ、管轄公民館も含め移管などの資料の利活用を図りながら、蔵書の維持管理を行っているところではあるが、今後、選書技術の向上を図り市民ニーズに則した蔵書構築を目指していくとともに、除架・除籍も含めた書架の適切な維持管理に努めたい。資料と利用者を結びつける取組については、継続的な取組として、企画展示を各館で年間 70～100 回程度実施した。展示の成果として、例えば橋本図書館の企画展示では、展示した図書等の利用率<sup>15</sup>が平均で 97% 程度に達している。多様なテーマで展示を実施するとともに、各館でも利用状況を分析しながら、資料の利用や選書につなげていきたい。

新たな取組として、相模大野図書館では英語多読コーナーを新設した。小学校における英語学習や、オリンピック開催による英語への関心の高まり等のニーズを予測し、多読用資料を収集しコーナーを設けた。また、市立図書館では、システム開発において、書誌情報<sup>16</sup>や検索サポート機能の充実、検索機能の多様化など、目録上で様々な資料との出会いを促すような新たな機能の導入の検討を進めた。新システムの効果については、来年度の評価で検証を行いたい。

参考図書の蔵書数は、前年度から 269 冊(0.4%)増加、郷土資料の蔵書数は、前年度から 46 冊(0.1%)増加したものの、ともに受入冊数は昨年度と比べやや減少し、除籍冊数が増加したことから微増に留まり、いずれも目標値を達成できなかった。

参考図書については、輪番購入による調整も行いながら、各館で資料の更新を図っている。郷土資料については、串川ひがし地域センター図書室の書庫に保管されていた資料を整理したことにより、除籍数が増加した。

---

15 展示した資料のうち、どれだけのタイトルが貸出されたかを算出した数値。なお、貸出状況に応じて随時関連資料を追加しており、展示した総冊数に対する利用率を算出している。

16 書名や著者名など、各資料を同定するデータのこと。

郷土資料の利活用を促進する新たな取組として、明治 150 年にちなみ相模野基線<sup>17</sup>をテーマとした展示を行ない、関連して、神奈川新聞に連載記事「三角点を歩く」を 5 回にわたり掲載した。測量事業及び測量によって設置された本市の三角点を、図書館資料をひも解きながら紹介することで、郷土資料の有効活用を図った。橋本図書館ではギャラリートークを行い、郷土の歴史に関しての知識や興味を深める機会を提供した。

また、公文書館・博物館との連携展示や、郷土に関する講座の実施など、各機関の専門性を活用しながら郷土資料の周知と活用を図っている。

今後も効果的な蔵書構築に努めるとともに、蔵書情報の発信を積極的に行い、資料の利活用促進につなげたい。

## 【外部評価】

### 評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「市民 1 人当たりの蔵書冊数」が目標を達成できなかった理由の 1 つとして除籍冊数があるが、内部評価でも指摘しているとおり、除架および除籍はコレクションを適正に維持するためには適切な対応であり、評価できる。(同様の意見 4 件)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民 1 人当たりの蔵書冊数は、除籍冊数との関係がはっきりしているのので、目標値をほぼ達成できていると考えられる。(同様の意見 1 件)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アンケートを踏まえた取組や蔵書の新鮮度についての取組に対しても趣向を凝らしており、良い結果につながっている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民のニーズに合わせた蔵書を目指すため、選書技術の向上を図ったりスペース確保のため除籍するものを選書したりするなど、人手や時間など手間をかけて作業している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料と利用者を結び付ける取組を継続的に行う事、またその構築を課題として捉えている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郷土資料は今後、ますます公共図書館にとって重要なコンテンツとなり得る。収集はもちろん、その利活用に積極的である点は高く評価できる。今後はこうした資料のデジタル化による公開、発信も求められる。国立国会図書館のジャパンサーチをはじめとした取組に注目しつつ、オリジナルを所蔵する図書館ならではの活動に期待したい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郷土資料が増えた事は、「地域に根差した館」という目的を達している。</li> </ul>

17 相模野基線 :明治時代に設定された、三角測量の起点となる基準線の一つ。

<ul style="list-style-type: none"> <li>システム開発にて、検索機能など時代や利用者に合わせて充実した利用方法を進めている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>システム開発による検索サポート機能の向上や多様化は、目録上とはいえ資料の使い方を改善できる可能性があり、データを吟味すれば、新しい指標や蔵書構築戦略に資するので、可能性がある取組として注目に値する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>橋本図書館での企画展示は、展示した図書等の利用率が97%程度に達したことは、取組の成果として評価できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな取組として、多読用資料の収集とコーナーを設けた事はとても良いと思う。</li> </ul>

### 課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>書架の新鮮度や図書資料の充実を求める声が多いようであるが、市民のニーズを可能な限り把握し、それに応えられるよう蔵書の充実を図りたい。(同様の意見1件)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>蔵書について市民のニーズに応えるのにも限界がある。専門資料にしても蔵書として取り扱う他に、図書館として市民に提供できる方法は他にないのだろうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>人気のある書籍については複数(各館1冊)保有すべきである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>人気の本は、リクエスト予約が次々入り、書架に収まって落ち着くまでに時間がかかる。「書架の新鮮度」の問題を解決するのは、なかなか難しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>児童書のコーナーでは、親子で利用したり読み聞かせに使用したりするなど、自分のためではなく子どものために選書する利用者も多い。その時の季節などは意識して紹介されていることが多いが、例えば対象の年代別とか、大勢を対象とするのに向いているなど、一度読んでみないと分からない情報が案内されていると利用しやすいと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>児童書は比較的に新刊や時代の流れを意識しなくても利用してもらえるもので、昔話や民話なども含め名作も多い、それらを伝えていくのも図書館ならではの役割だと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>コレクション構築の一環として、参考図書の更新を図っている点は評価できる。他方、データベース化されている資料も少なくない。3館での提供体制や利用者の利便性の向上なども考慮して計画してもらいたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土資料や相模原の歴史は市民にとっても大切なものであり、子どもたちの教育現場でもっと取り入れられるべきものだと思う。貸出し資料だけにとどまらず、授業で図書館を利用するなどもっと他にも学校との連携が</li> </ul>

<p>図れると良いと思う。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>参考図書と郷土資料の充実は、レファレンスにも影響が出るので、収集資料の内容を吟味し、コレクションを維持することは不可欠である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館全体の動きを捉えるマクロ指標である蔵書回転率は、念頭に置く必要があるが、貸出冊数を基本に置いた考え方であるので、評価は分かれる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>除架・除籍を進めても蔵書回転率が上がらない要因として、必要な資料が除籍されたことも考えられるが、今回の評価シートからは判断できない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>「新しい図書資料が少ない」という指摘も除架・除籍に関連する。これらの資料が他の資料に紛れてしまうと、その存在を示すことが難しくなる。排架や展示など見せ方の工夫や、利用者への積極的な情報案内が必要である。「利用したい資料が少ない」という意見も同様である。これらを課題と捉え、その改善方法にまで言及している点は評価できるが、更なる検討を求めたい。なお、これらの意見は他の図書館のアンケートでもよく見られるものであることに留意する必要がある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>全体として、相模原市立図書館として所蔵(収集、保存)すべき資料に関する共通理解が得られているのかが気になった。資料収集方針、蔵書構築方針、資料廃棄方針などに沿った取組となっているか、基本に立ち戻って検討が必要かもしれない。この点は、中央図書館再整備にも関わるので重要と考える。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>内部評価にもあるがシステム利用については来年度の評価で検証することがとても大切で、システムにしても利用者の進化にしても留まることはないので、常に検証と施策を繰り返すことで見えてくるものもあると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>相模大野図書館における英語多読コーナーの新設は、時代をよみ市民のニーズを予測した取組として評価できるが、今後の利用状況について注視していきたい。各館の持ち味を生かしながら特色ある企画を展開し、市民にとって魅力ある館を目指したい。</li> </ul>

蔵書に関する指標（令和元年度）			
【実績値】			
評価項目	目標値 (対前年度増減率)	実績値	
		平成30年度	令和元年度
市民1人当たりの 蔵書数(冊)	2.02 (+0.2%)	2.01	2.01
蔵書総数		1,457,168	1,457,447
相模原市人口(人)		721,910	722,252
参考図書の蔵書数 (冊)	62,930 (+1.5%)	62,000	62,986
郷土資料の蔵書数 (冊)	85,823 (+3.0%)	83,324	84,424

## 【内部評価】

## 市民1人当たりの蔵書冊数

## ・成果指標及び各統計数値の状況

蔵書総数は、前年から279冊増加し、1,457,447冊となった。また、市人口は342人の増加となった。その結果、市民1人当たりの蔵書冊数は2.01冊(-0.03%)で推移し、目標値には至らなかった。

蔵書に関連する数値を見ると、前年と比較し、図書購入費決算額は51,163千円(+8.8%)、購入図書冊数は29,170冊(+5.5%)、寄贈も合わせた新規受入冊数は37,966冊(+1.4%)といずれも増加した。除籍冊数は36,990冊で、2,538冊減少した。また、増加分の内訳を分類別に見ると、郷土資料(1,100冊)が最も多く、次いで参考資料(986冊)、哲学・宗教(357冊)の順となった。それ以外の分類については100冊以下の増加に留まり、半数以上の分類で減少となった。

『基本計画』の開始年度である平成22年度との比較では、蔵書総数は+3.3%と、増加傾向で推移している。また、図書購入費予算額は、平成22年度に前年から-54.1%と大きく減少したものの、平成22年度と令和元年度との比較では+40.9%と、『基本計画』の計画期間内においては増加傾向で推移している。一方で、蔵書の増加に伴い、各図書館で書架の狭隘化が進んでおり、平成30年度は、除籍数の増加により蔵書数が前年比でマイナスに転じた。令和元年度についても、蔵書全体の増減としては前年とほぼ同じ傾向であり、書架の収容

能力に応じた除架及び除籍を行った結果、蔵書総数としては微増に留まったと考えられる。

蔵書の配置状況としては、全体の65.8%が開架書架<sup>18</sup>の資料となっており、平成22年度の69.6%と比較すると、開架の割合が下がり、書庫の比率が上がっている。また、開架資料に占める新規受入資料(寄贈も含む)の割合は、全体が4.0%、図書館4館が5.7%、公民館等図書室が1.9%で、平成22年度の数値(全体3.0%、図書館4館4.0%、公民館等図書室1.8%)から改善はしているものの、地域住民の身近な利用を支える公民館等図書室において、開架書架の新鮮度が特に低い状況となっている。

利用の側面から蔵書を見ると、蔵書回転率は、平成22年度2.2、平成30年度1.7、令和元年度1.5と減少傾向で推移しており、蔵書の増加と貸出冊数の減少に伴い、1冊当たりの貸出回数は減少傾向にある。開架書架の更新状況や蔵書回転率の数値を見ると、蔵書の更新や選書に課題があり、過去のアンケート調査において見られた、「新しい図書資料が少ない」「利用したい図書資料が少ない」という意見が、全体の貸出利用の減少にもつながっていると考えられる。

#### ・令和元年度の主な取組

主な取組として、市立図書館では放送大学テキストを集めたコーナーを新たに設置した。学び直しの支援を図り、資料提供サービスの活性化を図るため、近年刊行された放送大学テキストを集中的に収集し、コーナーを設けた。10月から貸出を開始し、全体として蔵書回転率は2.0だった。利用状況を踏まえながら収集を継続するとともに、関心の高い分野を把握し、一般書の蔵書構築にもつなげたい。相模大野図書館では、平成30年度に新設した英語多読コーナーについて、引き続き蔵書の充実を図るとともに、多読を学ぶ講座をあわせて開催し、資料の活用方法の周知に努めた結果、外国語図書の貸出冊数が増加した。橋本図書館では、平成30年度に新設した「どなたにもやさしいほんのコーナー」について、令和元年度からコーナー独自の予算を確保し、朗読CDやマルチメディアデジター<sup>19</sup>を新規購入して資料の充実を図った。

また、蔵書に関連するサービスとして、6月に実施したシステム更新では、本の表紙画像の表示など書誌データの充実を図るとともに、館内での展示資料と連動したリストの公開機能や、新着図書案内のメールサービスなど、Web

18 利用者が自由に手に取れる状態で公開されている書架のこと。

19 音声だけでなく、その部分の文字や画像も同時に再生できるデジタル録音図書のこと。

サービスにおける新たな蔵書情報の発信機能を追加した。ホームページのアクセス数の推移を見ると、各資料検索画面は一定数を維持している一方で、トップページは更新時から大きく減少しており、資料検索に直接アクセスする利用者が増加していると考えられる。また、新たな機能についてもアクセス数は伸びておらず、認知度はまだ低いと考えられる。新たな機能の周知や利用案内を積極的に行うことで、利活用の促進を図りたい。

#### ・今後の課題及び取組

蔵書構築に係る今後の課題として、限られた予算を有効に活用するため、3館それぞれが地域図書館として地域の実情に応じた選書を行うとともに、管轄公民館等図書室の資料選定の支援等を行いながら、市民に身近なサービスポイントの蔵書の充実に努めたい。さらに、より効率的・効果的な蔵書構築を図るという観点から、『第2次相模原市図書館基本計画』(以下、『第2次基本計画』)の施策である中央図書館機能を確立していく中で、公民館等図書室の蔵書も含めた全市的な資料選定のコントロールに取り組みたい。

また、蔵書の魅力を伝える企画展示や書架の配列の工夫、Webサービスを活用した蔵書情報の発信など、図書館の蔵書と利用者をつなげる取組を継続して行うとともに、公民館等図書室との連携を一層強化し、小さな蔵書規模であっても市民の新たな関心や学びの喚起ができるよう、蔵書更新や既存の蔵書の見せ方の工夫などを支援していきたい。

#### 参考図書の数

##### ・成果指標及び各統計数値の状況

蔵書数は62,986冊で、前年から986冊(+1.6%)増加し、目標値を達成した。平成22年度との比較で増減率を見ると、+14.3%と増加傾向で推移した。また、蔵書構成比を平成22年度と比較すると、4.3%(+0.4ポイント)で、他の分類にあまり変化が見られない中では、相対的に増加傾向にある。また、相武台分館と公民館等図書室を除く3図書館の構成比では、6.0%~6.5%といずれも6%台の割合となっている。

##### ・令和元年度の主な取組

各図書館がそれぞれレファレンスサービスに必要な参考図書を収集するとと

もに、定期的に刊行されている一部資料の輪番購入や館間貸出<sup>20</sup>を行いながら、お互いの蔵書及びサービスを補完している。また、参考図書の利活用を促進する各館の取組として、市立図書館で『調べもの通信』、橋本図書館で『調べる本の紹介』を発行し、各回のテーマに応じて、調べものに活用できる参考図書の紹介を行っている。

#### ・今後の課題及び取組

『第2次基本計画』に基づき中央図書館の専門的機能<sup>21</sup>を確立する中では、収集のあり方の再検討が必要である。また、オンラインデータベース<sup>22</sup>や、平成27年に運用を始めた国立国会図書館デジタル化資料送信サービス<sup>23</sup>といったネットワーク情報資源については、レファレンスサービスで活用するとともに、利用者に周知を行い、更なる利活用を図りたい。

#### 郷土資料の蔵書数

##### ・成果指標及び各統計数値の状況

蔵書数は、84,424冊で、前年から1,100冊(+1.3%)増加したものの、目標値には至らなかった。平成22年度との比較で増減率を見ると、+33.2%となり、中長期的には増加傾向で推移した。また、蔵書構成比を平成22年度と比較すると、5.8%(+1.3ポイント)で、他の分類にあまり変化が見られない中では、相対的に増加傾向にある。特に、市立図書館においては郷土資料が構成比の10.8%を占め、一般書の文学(21.8%)、絵本・紙芝居以外の児童書(14.8%)に次いで多く、中心的に保存機能を担っている。

##### ・令和元年度の主な取組

郷土資料の利活用を促進する各館の取組として、橋本図書館では、郷土ゆかりの作家である加藤武雄氏の作品をテーマとした読書会を行った。郷土で生まれた作家に関する知識や興味を深め、その研究者及びご親族とともに、読書

20 参考図書は原則として館外への個人貸出を行っていないため、各館同士で参考図書の一時的な貸出を行い、利用者からの質問への回答に使用している。

21 中央図書館で確立・充実を目指す機能の一つで、レファレンスサービスにおいては、参考図書や専門書の充実を図ることなどが想定されている。

22 新聞記事や法令情報などの情報源について、主にWeb上で検索等ができるようにしたもので、図書館が有料サービスを契約し、情報の検索や閲覧、プリントアウトサービスを利用者に提供している。

23 国立国会図書館が所蔵するデジタル化資料のうち、一定の条件を満たすものについて、図書館内の端末で閲覧等ができるサービスのこと。

を通じて交流を図る機会を提供した。また、市立図書館における公文書館・博物館との連携展示や、橋本図書館における地域に詳しい講師を招いての講座「相模原歴史探訪」の開催など継続的な取組を実施し、地域の各機関や人材による専門性を活用しながら郷土資料の周知と活用を図っている。

・今後の課題及び取組

郷土資料の蔵書構築に関する課題として、例年寄贈による受入が多く割合を占めるが、寄贈数としては年々減少傾向にあり、増加目標を達成できない年度がほとんどだった。これは、主に行政資料が紙媒体からデジタル媒体に移行していることが一因と考えられ、この傾向は今後も続くと推測される。情報発信の形態の多様化に伴い、地域資源として後世に残すべき郷土資料のあり方や、デジタル化への対応についても研究しながら、引き続き積極的な収集と保存に努めたい。

【外部評価】

評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民1人当たりの蔵書冊数はほぼ目標を達成したとあってよいのではないか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指標目標値達成に向けて、厳しい予算制約の中、公共図書館としての取組や改善は実施されており評価できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放送大学テキストコーナーの新設や多読を学ぶ講座の開催、コーナーの充実を図るためのコーナー独自の予算確保等、3館の特色ある取組を展開し、市民にとって魅力的な館になるよう努めていることは評価できる。 (同様の意見1件)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 除籍を含む蔵書の更新は、図書館のコレクションの適正化において、重要な活動の一つである。その結果として、一人当たりの蔵書冊数がほぼ目標を達成しているのであれば、評価できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料の見せ方は、利用を喚起する重要な方法であり、いくつかのコーナーを設置するなどの取組は評価できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和元年度の主な取組として、市立図書館「放送大学テキストのコーナー」を設けることで蔵書回転率2.0につながった。相模大野図書館「資料の活用方法の周知に努めた結果増加した」など、新規蔵書の選択やその他取組の結果を把握し分析することが次につなげるための大切なこと。それを実施していることが評価できる。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HP がとても見やすくなるなど WEB サービスの充実を図っているところが評価できる。(同様の意見 1 件)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ オンラインデータベースの活用や郷土資料収集に関する課題も認識されており今後の改善が見込まれ評価できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郷土資料の利活用に向けて、他機関とも積極的に連携していることは、高く評価できる。</li> </ul>

#### 課題等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蔵書の更新に課題がある(新しい図書がない、利用したい図書がない)。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蔵書の数量の「+」「-」を意識するだけでなく、これからは利用者の満足度が上がっているか下がっているかで判断していくことも必要と思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蔵書について、数値だけで測れるものだろうか。除籍冊数の内容、評価がないままに蔵書の増加の価値を図ることはできないのではないかと。もちろん、圧倒的に現状の蔵書の絶対数自体が低いわけで、購入蔵書についての方針、方向性の確認がなければ、評価は難しい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 書架の狭隘化が大きな課題であることは理解できるが、その対処法を除籍にのみ頼ると、適切なコレクションの構築に大きな影響を与える。市図書館全体の蔵書を見渡した保存計画を、早急に検討すべきである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放送大学テキストに触れられているが、なかでもどの分野(主題)や科目の利用が多かったかなど、よりきめ細かな検討によって、他の資料収集の一助(どのような分野に需要があるかなど)にもなると考えられる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民 1 人当たりの蔵書冊数(蔵書密度)は、全国的には 3 冊前後となっているため、今後も数値の向上を目標としたい。一方で、公共図書館としてコレクションを維持するためには一定以上の除籍は必要である。また、コレクションの質の維持も重要であるので、政令指定都市として人口が多いことも併せて考えると、長期的に着実な数値の向上を目標としたい。</li> </ul> <p>一方で開架資料に占める新規受入資料の比率が低く、それが蔵書の回転率の低下に結び付いている。公民館図書室では 2%未満であり、単純計算では、書架が一新されるのに半世紀以上かかることになる。選書以前の問題として、コレクションの更新に大きな課題がある。</p>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郷土資料など、特化して蔵書及び資料を収集していることは評価したい。たとえば、 図書館は、社会科学に豊富、とか、図書館ごとにその蔵書傾向の特化によって、けん引力になる可能性も期待できるのではないか。韓国語書籍なら 図書館とか、図書館ネットワークが充実してきた昨今、図書館への性格付けが始まってもいいのでは？ また、社会状況を鑑みるに、必ずしも紙の蔵書にとらわれる必要はないのではないか。電子書籍等の可能性を求めたい。 また、個人的経験の見地からだが、相模原市の主催事業の相模原総合写真祭受賞に関連した蔵書の購入がないことも、前述、性格化の意味から残念に思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相模原市の書籍購入費が政令都市の中で突出して少ないのは出版業界ではよく知られているが、少ない予算の中で何をどう購入するかを検討すべきではないか。 例えば、ベストセラー作品など書店で誰でもいつでも手に入るものを複数冊購入するなど、市民へのサービス向上のため、貸出の待ち時間を短縮する、という観点から見れば必要なのかもしれないが、無駄も多いように思う。 こういった過去に出版社や著者、書店などからも問題視された部分を削減し、その分専門書や児童書など、書店での扱いが少ない書籍の充実を図ることも必要かと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民にとって身近な公民館図書室と3館との連携をさらに密にし、より多くの市民のニーズに応え、豊かな読書活動を支えたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サイトの自然検索はトップページより下層ページに直接アクセスすることも多い。トップページは、その後、他に何かないかと思ったときに戻る場合があるので図書館の案内図の役割もある。サイトの認知度の成果は時間がかかるものなので短期間の結果だけで判断せず、道筋(たどり着く URL など)を決めたらそこは変えずに、Web ならではの目標をつくり今後も継続して取り組んでほしいと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新しいウェブサービスを導入しても、それだけでは活用されない。(2)「利用に関する指標」(3)「来館に関する指標」とも関連するが、サービスの利用方法の講習を実施したり、解説ビデオを YouTube に公開するなど、さまざまな手段を講じるべきである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ デジタル化された地域資料、特に行政資料の収集、保存は、まったなしの課題である。他部署とも協力しながら、その方策を含め検討し、保存に努めてもらいたい。(同様の意見 1 件)</li> </ul>

- ・ 郷土資料の蔵書のデジタル化は今後も大いにやっていくべきかと思う。音楽も、昔の名人の演奏音源が、その当時の録音の主流であったレコードやカセットで残されている物が多く、年数が経つと特にカセットなどは伸びて聞くことが出来なくなっている。  
資料も同様で、紙の劣化などもあるので、貴重な資料ほど、デジタル化して残されるほうが、今後の為にも良いと思った。  
こちらをデジタル化する分、開架書架を増やし、アンケートに見られた新しく図書資料がないなどの意見を減らしていくようにすれば良いと思った。

### 【蔵書に関する指標の総括】

図書館の蔵書（コレクション）は図書館サービスの核となる資源であり、魅力的な蔵書の構築によって、市民の多様な生涯学習を支えることを目指し、その充実に取り組んだ。

成果指標の状況として、郷土資料及び参考図書については、長期的な使用や保存といった資料の性質から除籍数も限られ、順調にコレクションを蓄積することができた。他方で、蔵書の総数としては微増に留まり、市民1人当たりの蔵書冊数は、ここ数年の傾向としてほぼ横ばいが続いている。

外部評価及び令和2年度第3回図書館協議会における意見として、蔵書の更新による適正なコレクションの維持管理に努めていることへの評価がある一方で、政令指定都市や全国的な数値との比較において、蔵書数や資料購入費に課題があることから、更なる蔵書の充実を図り蔵書更新を活性化させることや、選書の工夫の必要性等が指摘された。蔵書の規模は図書館のパフォーマンスに大きな影響を与えているとの指摘もあり、図書館の基礎体力として、引き続き伝統的なコレクションを計画的に維持・発展させていく必要がある。

伝統的なコレクションの発展と同時に、これからの社会の変化に対応した、市民の知の拠点としての役割についても触れられた。図書館が伝統的に扱ってきた資料だけではなく、デジタルも含めた多様なコレクションや情報の提供と、それらへアクセスするための環境整備などにより、より多くの市民の豊かな学びを支える身近なサービスの提供を目指し、図書館の機能全体の充実を図りたい。

また、蔵書の量的充実の基盤となる蔵書収容能力の不足については、その解決を除籍のみに頼るのではなく、市全体の蔵書を見渡した保存計画が必要である点も指摘された。この点については、中央図書館機能及び市立図書館の施設的な再整備の検討の中で、本市図書館全体を捉えた資料保存機能の確立を目指したい。

## (2) 利用に関する指標

利用に関する指標(平成29年度)			
【実績値】			
評価項目	目標値 (対前年度増減率)	実績値	
		平成28年度	平成29年度
市民1人当たりの 貸出冊数(冊)	3.77 (-2.0%以内)	3.85	3.76
貸出総数		2,778,527	2,716,261
相模原市人口(人)		720,986	722,334
子どもの貸出冊数 (冊)	476,501 (-5.0%以内)	501,580	491,292
		市立 123,509	市立 120,749
		相模大野 90,664	相模大野 90,504
		橋本 108,919	橋本 103,233
		公民館等図書室 178,488	公民館等図書室 176,806

「子どもの貸出冊数」の「子ども」とは、0～18歳を対象としている。  
子どもの貸出冊数の実績値の館別内訳のうち、市立図書館には、相武台分館分が含まれている。

## 【内部評価】

平成29年度の貸出総数は、前年度と比べ62,266冊の減となった。その結果、市民1人当たりの貸出冊数は3.76冊となり、目標値を達成することができなかった。貸出総数は、平成21年度をピークに減少傾向で推移している。政令指定都市及び神奈川県内公共図書館の状況を見ても、個別に貸出冊数を伸ばしている自治体はわずかにあるが、全体としては減少傾向にある。資料種別で見ると、減少した62,266冊のうち、一般書の減少分が46,995冊と最も多く、次いでAV資料が13,644点となっており、児童書に比べると、鮮度が求められる資料として減少が大きい傾向にある。

新規受入資料冊数は近年増加傾向にあり、利用者の顕在的なニーズである予約・リクエストに対し、蔵書や新規購入により提供した割合も徐々に増加している。一方で、3館で実施した「事業に関するアンケート」の結果では資料の充実を望む意見が多く挙げられており、市民の学習ニーズの多様化や、毎年出版される新刊点数の多さに鑑みると、貸出利用のニーズに蔵書の充実が追いついていないことが、貸出減少の一因として考えられる。

今後も利用者の顕在的な資料ニーズに的確に応えるとともに、潜在的なニ-

ズの把握にも努めながら、各館における効果的な蔵書の構築や、図書館の強みである資料のストックを生かした企画展示など、資料利用促進の取組に努めたい。

貸出冊数を利用者の年代別に見ると、70歳以上が最も多く、次いで40歳代、60歳代、30歳代の順に多い。特に70歳以上の年代は人口増加に比例し貸出冊数の増加傾向が顕著で、平成29年度にはじめて40歳代の貸出冊数を上回った。また、40歳代及び30歳代の貸出利用の傾向として、一般書だけではなく児童書の利用割合が高いことが挙げられ、子育て世代の貸出利用のニーズを見て取ることができる。

高齢者や子どもの保護者に対しては、「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」<sup>24</sup>において、サービスの充実に努めることが求められている。本市図書館においても両世代の貸出利用のニーズは高いことから、蔵書構築やサービスの充実については今後一層の研究を進めていきたい。

一方で、登録者一人当たりの年間平均貸出冊数を年代別に見ると、6歳以下が35.77冊と最も高く、次いで60歳代が20.71冊、70歳以上が20.64冊、7～12歳代が20.53冊と、子ども及び高齢者世代が全体平均の14冊を大きく上回るのに対し、19～29歳代は3.59冊、次いで13歳～18歳代は5.50冊に留まっており、この2つの年代の数値が著しく低い状況にある。

13歳～18歳代(中高生世代)に対しては、各館でコーナーを設置するなど、世代の関心に応じたサービスの充実に努めている。館内での学習目的による利用は各館で見受けられるものの、図書館が持つ資料や情報の利用に関しては、学校との連携によるニーズの把握や、利用の動機付けとなるような事業を実施するなど、世代の特性を見定めた一層の工夫が必要である。また、19～29歳代については、大学の立地や交通網の利便性などから、利用登録者数は40代に次いで多いが、貸出利用には結びついていないことから、世代の関心に応じた資料のニーズを把握し蔵書構築に生かすとともに、貸出利用とは異なる図書館へのニーズを研究し、そこから貸出利用につなげていく試みが必要である。各館で実施している、市内の高校や大学など各世代の当事者と連携した事業の更なる展開も有効と考えられる。

子どもの貸出冊数については、前年度から10,288冊(2.1%)の減少に抑え、目標を達成することができた。子どもの貸出冊数を年代別に見ると、6歳以下及び7歳～12歳までの貸出冊数は微増となり、13～18歳の貸出冊数は約

---

24 平成24年12月19日文科科学省告示第172号。図書館法第7条の2の規定に基づき、目標とすべき図書館運営上の指針を定めたもの。

10%の減少となった。また、児童書の貸出という側面から捉えると、前年度から微増となった。

乳幼児から小学生までの世代については、児童書の充実に努めるとともに、各館でのおはなし会や子どもたちが主体的に参加できる事業など、本に親しむ事業を継続的に実施していることが、貸出利用の維持につながっていると考えられる。減少が大きい中高生世代については、先にも触れたように、世代の関心に応じたサービスをさらに充実させることにより、貸出利用を伸ばすことが課題である。今後も、『相模原市子ども読書活動推進計画』に基づいた取組を実践し、利用の促進に努めたい。

## 【外部評価】

### 評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本に親しむ事業を積極的に推進することにより、子どもの貸出利用を促進させている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活字離れが進む中、数字からは、子どもの貸出冊数はよくキープされていると感じる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 季節や時事、年代などに合わせたコーナーを設け、利用者が興味を持ちやすく探しやすい環境を作っている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用のきっかけになるような広報紙を定期的に発行している。また、年代別に分けたり、手作りの温かさが伝わったりと、内容がとても充実している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸出資料の分析として、新刊書の収集は重要であるが、ストック資料の利用への着目は重要である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 70歳以上の貸出冊数の増加は、大活字本の充実によるものでもあるだろう。細かい字が読みにくくなって読書から遠ざかっていた人々が、再び本に親しむ喜びを味わっているのではないか。大活字本のニーズは、ますます高まっていくと思われる。</li> </ul>

### 課題等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸出総数の減少傾向が続き、市民1人当たりの貸出冊数の目標値を達成することができなかったことや、資料の充実を望む市民の声が多いことから、ニーズに合った蔵書の充実や、情報提供の更なる工夫が今後の課題と考えられる。</li> </ul>
--

<p>・ 貸出冊数が減少している要因を分析し、入館者数の減少、利用者層の変化に対応するための対策に検討を加えて、できることから直ちに実施する必要があると同時に、中・長期の展望の基に計画を策定し、検討してほしい。</p>
<p>・ 利用するには、身近であることが大きな要因となる。公民館等図書室や、小中学校・幼稚園・保育園などとの蔵書交換や人的交流を進めるなど、予算面や人的な条件のクリアが難しいと思うが、できることから進めてほしい。</p>
<p>・ 貸出については、幼児を連れた保護者には荷物になり、高齢者は館内で過ごすなどその場で読むだけの利用もあるため、実際に読まれている本は数字に出ている貸出冊数より多いと思われる。休日には親が子どもに絵本を読むなど、館内で読み切れる本の紹介など、利用方法に合わせた提案も検討できたら良い。</p>
<p>・ 図書館利用（貸出）は居住地域ごとの特徴が現れると思われる。来館に関する指標でも近隣自治体の図書館利用について触れているが、より具体的な分析が望まれる。</p>
<p>・ 図書の貸出窓口に行列が出来ていると借りる意欲が削がれるので、自動貸出機の早期導入が必要ではないか。</p>
<p>・ 子どもの貸出冊数の減少は、少子化との関連性が分かる説明も必要である。また、学校との連携による読書推進と、ヤングアダルト層への働きかけを軽視しないでほしい。</p>
<p>・ 利用しない市民への啓発を工夫して更に進めるとともに、高校生、大学生を含めてどんな条件なら来館するかを聞くことも必要だと思う。</p>
<p>・ 現在のような集計をしながら数値を上げようとするならば、市民が集まりそうな保育園、幼稚園、高齢者施設、子どもセンター、ショッピングセンター等に出向き、その場所で、おはなし会をセットで貸出をすると増加が見込めるかもしれない。こども館などにも出向くと良いと思われる。</p>
<p>・ セット貸出は期限が来たら終わりではなく、速やかに別のセットと自動的に入れ替えて、一年中前とは違う本が並んでいるようにすると良いのではないか。</p>

利用に関する指標（平成 30 年度）			
【実績値】			
評価項目	目標値 (対前年度増減率)	実績値	
		平成 29 年度	平成 30 年度
市民 1 人当たりの 貸出冊数(冊)	3.77 (-2.0%以内)	3.76	3.64
貸出総数		2,716,261	2,624,297
相模原市人口(人)		722,334	721,910
子どもの貸出冊数 (冊)	476,501 (-5.0%以内)	491,292	453,588
		市立 120,749	市立 119,689
		相模大野 90,504	相模大野 84,456
		橋本 103,233	橋本 86,716
		公民館等図書室 176,806	公民館等図書室 162,727

「子どもの貸出冊数」の「子ども」とは、0～18歳を対象としている。  
 子どもの貸出冊数の実績値の館別内訳のうち、市立図書館には、相武台分館分が含まれている。

【内部評価】

平成 30 年度の貸出総数は、前年度と比べ 91,964 冊減少した。その結果、市民 1 人当たりの貸出冊数は 3.63 冊となり、目標値を達成できなかった。貸出総数は、平成 21 年度をピークに減少傾向で推移している。減少冊数を資料種別で見ると、91,964 冊のうち、一般書が 42,231 冊と最も多く、次いで児童書が 35,191 冊となっている。平成 28 年度から 29 年度にかけては児童書の貸出冊数が増加したが、平成 30 年度は減少が大きかった。館別の減少割合を見ると、市立図書館は前年度と比べ増加に転じたが、それ以外は概ね前年度比 3～6%の減少率だった。また、施設改修工事等のため、相模大野図書館が 7 月に 8 日間休館、清新公民館図書室が 6 月 1 日から年度内休室し、貸出ができなかったことも減少の一因となっている。

貸出冊数の年齢別内訳<sup>25</sup>を見ると、70 歳以上が最も多く、次いで 40 歳代、60 歳代、50 歳代の順に多い。前年度と比べると、50 歳代、70 歳代が増加し

25 0～6 歳 92,201 冊、7～12 歳 270,446 冊、13～18 歳 90,941 冊、19～29 歳 114,763 冊、30 歳代 306,551 冊、40 歳代 493,689 冊、50 歳代 325,845 冊、60 歳代 356,012 冊、70 歳以上 573,849 冊。

ており、特に 70 歳以上の増加率(6.5%)が顕著になっている。また、6 歳以下(-3.6%)、7 歳～12 歳(-8.3%)、30 歳代(-6.4%)、40 歳(-5.1%)と、子ども及び子育て世代の貸出冊数が減少に転じており、そのことが児童書の貸出冊数減少にも影響していると考えられる。

登録者一人当たりの年間平均貸出冊数を年代別に見ると、6 歳以下が 34.29 冊と最も高く、次いで 7～12 歳代が 20.32 冊、70 歳以上が 20.08 冊、60 歳代が 19.21 冊だった。19～29 歳代が 3.60 冊と最も少なく、次いで 13 歳～18 歳が 5.15 冊となっている。子ども及び高齢者が高く、若年層が低い傾向に大きな変化は見られなかった。

本市の調査<sup>26</sup>では、今後 65 歳以上の高齢者人口が増加し、年少人口(15 歳未満)及び生産年齢人口(15 歳～64 歳)は一貫して減少する見込みであり、貸出冊数としては、シニア世代の利用が多くを占める傾向は続くと考えられる。現状ではシニアコーナーの設置などの取組はあるが、シニア世代の中でも、生涯学習や図書館利用への関わりは多様である。高齢者福祉や健康情報、生きがいづくりなど、世代の関心に即した蔵書構築や事業を実施する一方で、活字の読書がしにくくなる、図書館への来館が困難になるなどの身体的な変化に対しては、資料の種類と提供方法の充実とともに、施設や設備の充実も併せて検討することが今後の課題である。

他の世代においては人口減少の局面を迎えるものの、それぞれのライフスタイルにおける情報行動を分析しながら、図書館利用者を増やすことにつなげていきたい。特に、ニーズへの対応という意味では、利用者の顕在的なニーズである予約・リクエストへの対応だけではなく、未利用者も含めた市民、図書館利用者の潜在的なニーズを予測し、蔵書構築や事業に反映させ、図書館利用の裾野を広げる取組は今後の課題である。

平成 30 年度の取組として、市立図書館では桜美林大学図書館読書運動プロジェクト実行委員会と連携し、YA<sup>27</sup>コーナーでの企画展示を 3 回実施した。中高生世代により近い大学生の目線で、展示の企画や展示資料の選書、コーナーづくりを行うことで、YA コーナーに足を止め、資料に触れてもらえるような取組を目指した。市立図書館において、前年度(21,789 冊)と比べると、13 歳～18 歳の貸出冊数がわずかではあるが増加しており(22,190 冊)、今後も事業を継続するとともに、効果の検証を行いたい。

---

26 さがみはら都市未来研究所が 2018 年に発行した、「2015 年国勢調査に基づく相模原市の将来人口推計」を指す。

27 ヤングアダルトの略語。中高生世代を指す。

相模大野図書館では、小学校での英語教育の変化など、幅広い年齢層で英語に触れる機会が増加している状況を見据え、英語に親しむ取組として多読用資料を収集し、英語多読コーナーを設置した。その結果、相模大野図書館の外国語図書貸出冊数は、平成 29 年度(1,719 冊)から平成 30 年度(2,730 冊)にかけて、約 1,000 冊増加した。

2つの取組は、貸出冊数全体から見れば小さな変化ではあるが、各世代の関心や、社会・地域の状況から予測されるニーズなど、潜在的なニーズにも寄り添った取組を少しずつ広げることで、今後も、図書館資料がより多くの市民及び図書館利用者に活用されることを目指していきたい。

子どもの貸出冊数については、前年度から 37,704 冊(7.7%)の減少となり、目標を達成することができなかった。子どもの貸出冊数を年齢別に見ると、6歳以下、7歳～12歳、13歳～18歳全ての区分において減少しており、前年度と比較すると、13歳～18歳の減少率(-9.8%)が最も大きかった。また、先に触れたように、子どもにとって身近な利用施設である清新公民館図書室の休室も影響している。

子どもの貸出利用については、各館において児童書の充実を図るとともに、展示やブックリストの配布、ブックトーク<sup>28</sup>の実施等の事業を通じて本を紹介し、蔵書の利活用の促進を図っている。また、夏休み期間中のスタンプラリーや子ども読書の日記念事業「キッズ フェスタ」<sup>29</sup>のほか、各館において読書週間などの機会を利用した取組を実施した。また、貸出冊数には計上されないが、小中学校等への団体貸出を行うことで、子どもの読書を支援している。なお、団体貸出の冊数は平成 29 年度から平成 30 年度にかけては減少したが、中長期的に見ると、増加傾向にある。

子どもの読書については、平成 30 年 4 月に国の第四次「子供の読書活動の推進に関する基本的な計画」が閣議決定された。そこでは、子どもの読書の現状分析として、中学生までの読書習慣の形成が不十分、高校生になり読書の関心度合いの低下、スマートフォンの普及等による読書環境への影響の可能性の3点が挙げられ、子どもの発達段階に応じた取組により、読書習慣を形成する施策の推進が求められている。本市においても、『相模原市子ども読書活動推進計画』に基づく取組を進めながら、国の分析等も踏まえ、子どもの読書活動の推進に努めたい。

---

28 あるテーマに基づいて、流れをつくって複数の本を紹介すること。

29 市内 4 館合同で開催する、子ども読書の日記念事業。市立図書館を会場に、講演会やボランティアグループによるおはなし会等を行う。

【外部評価】

評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>資料と利用者を繋げる取組が功を奏している点は高く評価できる。数字という面で大きな効果は期待できないかもしれないが、利用者のニーズを把握し、それに応えるという取組が今後の成果に結びつくと期待する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>大学との連携による企画展示や英語多読コーナーの設置、ブックリストの配布、ブックトーク事業等の実施、スタンプラリー、キッズフェスタ等、様々な事業を展開しているが、読書習慣の形成につながるものとして、評価できる。常に子どもの興味や関心はどこにあるのか、何に感動するのかを検討し、更に事業内容の充実を図りたい。 (同様の意見1件)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>大学生の目線で展示企画のコーナーは、新鮮さがあり興味を惹かれる。結果的にも、中高生の利用が増加しているので、今後もこういった世代に向けた企画を積極的に立案してほしい。(同様の意見2件)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の学校や公的施設との連携事業は、広く人々に図書館の存在を知ってもらえるいい機会にもなる。利用してみると「図書館とはこんなに手軽で便利でありがたいものなのだ」と改めて実感するに違いない。そのきっかけ作りとして様々な試みがなされている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>英語多読コーナーの設置については、昨年度より利用が増加している。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>シニア世代の利用が増える中、資料の種類や提供方法について課題としている。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>電車内で電子書籍などを活用している20代～40代を多く見かける。借りに行くより携帯でという利便性を若い世代は選択する場合もあるので、図書館での利用が減少になるのも理解できる。このような状況に鑑みると、内部評価に記載されていた、「ライフスタイルにおける情報行動を分析し利用者増加に繋げる。特にニーズへの対応」というのは良いと思う。</li> </ul>

課題等

<ul style="list-style-type: none"> <li>市民1人当たりの貸出冊数は、若干の減少で留まっているので、対策を十分に検討すべきである。対策として考えられる未利用を含めた市民、図書館利用者の潜在的ニーズを予測した利用の裾野を広げる取組を進めるべきである。</li> </ul>
---

<ul style="list-style-type: none"> <li>貸出冊数の減少を防ぐ為に選書方法を改善すべきである。スマートフォンの利用が増えたから減るのが当然という見方はおかしい。本の魅力を追求して発信すべきであり、市民が読みたい本を書架に取り揃える努力が望まれる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>スマートフォンなどの普及の拡大が、読書(本)離れが進んでいる一因とも考えられ、図書館利用をしたくなる工夫が必要である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症なども含め高齢化や、障がいなどで活字が読めない方にも絵本や写真など提供できるものが図書館にはあると思う。福祉関係の施設やスタッフへの情報提供を図るなど、自ら足を運んで利用しないところへの働きかけも図書館利用の裾野を広げることにつながると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>大学生と一緒に今後も読書推進の事業を続けるという中で、子どもや若者世代が読書の面白さに気づくことができるものを一緒に企画して結果も一緒に検証するなど、利用者が減少している問題を共に考えてもらうのも良いと思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの貸出利用については、「子ども読書活動推進計画」との連携により使用増を考えることが重要である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもおよび子育て世代の貸出冊数減少幅が大きいことは気にかかる。貸出密度、実質貸出密度ではどうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度も指摘したが、図書館利用(貸出)は居住地域ごとの特徴が現れると思われる。新たな視点による分析も必要ではないか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>内部評価にあたり、現在の年齢区分にあたる人々が過去はどうであったのかも分析に加えてはどうか。例えば、現在60代の方は10年前は50代であった。そのときと比べて、貸出行動がどう変化したのか、しなかったのかも気になる点である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本全体の傾向である。地域の人口動態にあわせた来館者数の変化は、否めない。また、利用者の関心の多様性もますます拡大する中、一つの方策で完了という時代ではない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>市内に在住在勤の方々の居場所となるような企画(ex.外国籍向けの企画等)も実施し、また、例えば各教育機関等(特に子どもが低年齢)に協力を求めニーズを探る等しながら、安心して来館できる場所の提供に努められたい。</li> </ul>

利用に関する指標（令和元年度）			
【実績値】			
評価項目	目標値 (対前年度増減率)	実績値	
		平成30年度	令和元年度
市民1人当たりの 貸出冊数(冊)	3.57 (-2.0%以内)	3.64	3.21
貸出総数		2,624,297	2,316,641
相模原市人口(人)		721,910	722,252
子どもの貸出冊数 (冊)	466,727 (-5.0%以内)	453,588	405,501
		市立 119,689	市立 111,381
		相模大野 84,456	相模大野 76,191
		橋本 86,716	橋本 76,790
		公民館等図書室 162,727	公民館等図書室 141,139

子どもの貸出冊数の「子ども」とは、0～18歳を対象としている。  
 子どもの貸出冊数の実績値の館別内訳のうち、市立図書館には、相武台分館分が含まれている。

【内部評価】

市民1人当たりの貸出冊数

・成果指標及び各統計数値の状況

貸出総数は、前年から307,656冊減少し、2,316,641冊となった。その結果、市民1人当たりの貸出冊数は3.21冊(-11.8%)となり、目標値を達成できなかった。中長期的に見ると、貸出総数及び市民1人当たりの貸出冊数は平成21年度をピークに減少傾向で推移しており、『基本計画』開始年度の平成22年度(3,285,537冊/4.58冊)と比較すると、貸出総数は-29.5%、市民1人当たりの貸出冊数は-29.9%となった。なお、令和元年度の登録者1人当たりの貸出冊数を見ると13.38冊で、前年の13.63冊から-1.8%の減少に留まっている。これは、貸出券の有効期限切れにより、分母となる貸出登録者数が前年から-10.1%と大きく減少したことも影響しており、実質的な貸出利用者が利用する冊数としては、減少幅が小さかったと考えられる。

令和元年度の貸出冊数減少の要因として、新型コロナウイルスの感染拡大等による臨時休館<sup>30</sup>の影響で、図書館及び公民館等図書室の開館日数が大幅に減

30 令和元年度の臨時休館は、次のとおり。システム更新(5月16日～31日)、令和元年度台風(10月12日～13日午前中)、新型コロナウイルス感染症拡大防止(令和2年3月2日～6月8日)、城山公民館図書室移転による休室(11月24日～令和2年3月14日)。

少したことが挙げられる。前年との比較では、図書館4館の各開館日数は259日で32日間減少し、公民館等図書室の開館日数<sup>31</sup>は167日～239日で36日～108日間減少した。臨時休館の影響を除くため、開館日1日当たりの貸出冊数を見ると、全体では338冊(-0.6%)、市立図書館については2,230冊(+1.7%)と増加し、図書館4館の合計では1,567冊(-1.9%)に留まった。また、公民館等図書室25室の合計では119冊(+0.8%)と増加した。

貸出冊数の減少率を館別に見ると、橋本図書館(-13.8%)が最も大きく、次いで相模大野図書館(-13.6%)、相武台分館(-11.6%)、公民館等図書室(-10.7%)、市立図書館(-9.5%)の順となった。平成22年度との比較では、橋本図書館(-41.9%)が最も大きく、次いで相武台分館(-32.0%)、相模大野図書館(-31.1%)、公民館等図書室(-23.4%)、市立図書館(-20.4%)の順となった。橋本図書館については、貸出登録者数及び貸出者数は最も多いが、貸出冊数の減少幅としては最も大きくなっている。その一因として、貸出登録者の構成比の多くを占める19歳～29歳の貸出冊数が、平成22年度との比較で-72.2%と大きく減少しており、その年代の貸出利用の減少が、橋本図書館の貸出冊数に影響しているものと考えられる。

貸出冊数の内訳を年齢区分別<sup>32</sup>に見ると、70歳以上が最も多く、次いで40歳代、60歳代、50歳代の順となり、この傾向に変化は無い。増加傾向にあった70歳以上についても、令和元年度は減少に転じている。他方で、0～6歳については、減少傾向にあったが、令和元年度は前年から+22.0%と増加した。また、0～6歳の貸出登録者数についても、前年から+46.3%と大きく増加している。この増加の一因として、平成30年度から開始した、セカンドブック事業<sup>33</sup>の効果が考えられる。図書館は絵本を手渡す場所として、令和元年度は約2,000件の受け渡し実績があった。来館を契機として新規利用者登録につながっており、既に登録していた利用者も含め、貸出利用にもつながったと考えられる。セカンドブック事業は、子ども家庭課を中心に、図書館及び公民館が協力して実施しており、市の施策との連携により利用の裾野を拡げるという意味において、他の世代や利用者層に対するアプローチの参考にもなると考えられる。

31 各図書室で異なるが、標準的な日数としては239日で、前年から36日減少した。最も少ない城山公民館図書室は167日で、前年から108日減少した。

32 0～6歳 112,486冊、7～12歳 227,417冊、13～18歳 65,598冊、19～29歳 94,525冊、30歳代 281,472冊、40歳代 423,578冊、50歳代 290,313冊、60歳代 321,461冊、70歳以上 499,791冊。

33 ブックスタートに続き、子どもの成長に合わせて2冊目の本を贈る事業。本市では、2歳6カ月児歯科健康診査受診時に絵本の引換券を渡し、絵本のプレゼントを行っている。

### ・令和元年度の主な取組

図書館システムの更新により、WebOPAC<sup>34</sup>の機能向上や、交通系 IC カードによる貸出などの貸出手段の多様化により、貸出及び予約の利便性向上を図った。システム更新直後の 6・7 月は、貸出冊数及び予約受付件数が前年同期比で増加したものの、それ以降は減少傾向で、予約受付件数は -11.3%となった。平成 19 年度以降、約 12 年振りのシステム更新となり、新たな機能等に関する質問や意見が多く寄せられた。新たな機能の更なる利活用に向けては、積極的な利用案内や、利用教育の試みが課題と考えられる。

各館の主な取組として、市立図書館では、蔵書の項目で触れたように放送大学のテキストを集中的に収集し、コーナーを設けて提供した。10 月から提供を開始し、全体の蔵書回転率としては 2.0 だった。NDC<sup>35</sup>分類の書架から独立したコーナーとすることで目に留まり、利用につながっていると考えられる。相模大野図書館では、平成 30 年度に引き続き、英語に親しむ取組として多読用資料を収集し、あわせて多読に関連する講座も行い、英語多読コーナーの充実と利用促進を図った。相模大野図書館の外国語図書貸出冊数は、コーナー設置以前の平成 29 年度(1,719 冊)から、コーナーを設置した平成 30 年度(2,730 冊)、令和元年度(3,196 冊)と増加を続けている。

### ・今後の課題及び取組

『基本計画』の計画期間内においては図書館利用の促進が目指され、貸出利用に係る施策として平成 25 年度には貸出可能点数を拡充<sup>36</sup>した。平成 25 年度は前年比で増加に転じたものの、以降、貸出冊数は減少を続けている。全国的にも貸出冊数が減少傾向にある状況において、図書館利用の促進や、貸出も含めた資料提供サービスの活性化を図るには、新たな登録者の増加など、より多くの市民に利用されるためのサービス展開が挙げられる。

インターネットにより情報収集の手段が大きく変化し、読書に対する考え方や時間の使い方も変化してきたことを考慮すると、1 人当たりの貸出冊数はゆるやかであっても、多くの市民が利用する図書館を目指すことが、資料提供サー

---

34 図書館ホームページ上で公開している蔵書の目録で、蔵書の検索と、検索した資料の予約ができる。

35 日本十進分類法(Nippon Decimal Classification)の略語。日本の図書館では一般的な図書の分類法。

36 図書資料の貸出点数を 6 冊以内から 10 冊以内、視聴覚資料の貸出点数を 2 点以内から 3 点以内に拡充した。

ビスの活性化につながるのではないかと考えられる。広い市域の隅々まで行き届く図書館サービスの提供や、多様な利用者に向けたきめ細かいサービスの実施など、新たな計画期間において、図書館利用促進の施策に取り組んでいきたい。

### 子どもの貸出冊数(0歳～18歳までの利用者の貸出冊数)

#### ・成果指標及び各統計数値の状況

前年から48,807冊(-10.7%)の減少となり、目標値を達成できなかった。開館日1日当たりの貸出冊数を見ると、前年とほぼ同数で、59冊となっている。また、子どもの登録者1人当たりの貸出冊数を見ると12.3冊で、平成30年度の13.5冊から減少した。子どもの年齢区分別に貸出冊数を見ると、0～6歳においては+22.0%と増加したが、7歳～12歳は-15.9%、13歳～18歳は-27.9%と減少し、前年に引き続き、13歳～18歳の減少率が最も大きかった。

なお、児童書の蔵書数は433,316冊で、前年から-0.1%の減少、平成22年度との比較では+2.1%の増加となっている。児童書の貸出冊数は760,473冊で、前年から-12.8%の減少、平成22年度との比較では-23.9%の増加となっている。

子どもの貸出冊数を中長期的に見ると、平成21年度をピークに一貫して減少しており、平成22年度と令和元年度の比較では、-42.2%となっている。本市において子どもの人口が減少していることに加え、『第3次相模原市子ども読書活動推進計画』策定時のアンケートでは、子どもの読書率の低下等の課題が見られ、貸出冊数の減少につながっていると考えられる。

#### ・令和元年度の主な取組

平成30年度に引き続き、各館において児童書の充実を図るとともに、企画展示やブックリストの配布、ブックトークの実施、こどもの読書週間等の機会を捉えた事業などを通じて、蔵書の利活用の促進を図った。

また、子ども世代への新たな情報発信の取組として、図書館ホームページの子どもページをリニューアルするとともに、新たに10代のページを作成し、各図書館のYAコーナーやブックリストの紹介を行うとともに、中高生世代の表現を紹介できるWebギャラリーを設けた。今後も各世代のニーズに対応したサービスの取組の一環として、各コンテンツ及び情報発信の充実に努め、子どもや中高生世代の図書館利用につなげたい。

各館の主な取組として、市立図書館では桜美林大学図書館読書運動プロジェクト実行委員会と連携し、中高生世代に近い目線でのコーナー作りに努め利用

促進を図ったが、市立図書館の13～18歳の貸出冊数は減少に転じている。

相模大野図書館では、学校連携の促進及び中高生への図書館利用アピールの強化の取組として、地域の中学校・高校3校の図書委員25名と連携し、子ども図書館まつりを実施した。各校の生徒が、幼児～小学校低学年を対象に読み聞かせやクイズラリー等を行うもので、61名の参加があった。子どもの利用促進を図るとともに、中高生世代が事業を運営する立場を経験することで、本の貸出に留まらない図書館の事業に親しむ機会となった。

橋本図書館では、平成17年から「YA大賞」として、中高生世代からの作品募集と、受賞作を資料として保存する取組を続けている。また、中高生世代のボランティアが編集委員として広報誌『Youthful Days』の作成に携わっており、中高生世代の参加を促す取組を通じて、図書館利用の促進を図っている。

#### ・今後の課題及び取組

子ども世代に関する取組は、他の世代と比べ数多く実施してきたが、改めて発達段階に応じた効果的な取組を模索し、推進する必要がある。令和元年度0～6歳の年齢区分で貸出冊数が増加したように、読書習慣を形成する施策との連携等を実施することにより、利用の促進に努めたい。特に、多読期を過ぎた中学生～高校生世代までの貸出利用の減少が顕著であり、同世代の特性を踏まえた上で、図書館の利活用につながる取組が必要と考えられる。

令和2年度以降においては、『第3次相模原市子ども読書活動推進計画』に基づき、図書館、学校、関係機関、家庭及び地域が相互に連携しながら、引き続き子どもの読書活動の推進に取り組みたい。

#### 【外部評価】

##### 評価

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染拡大により、貸出の絶対数の減少は避けられない。その中、実質貸出密度（利用登録者数による貸出冊数の平均）がほぼ横ばいであったことから、目標はほぼ達成できたとみなすことができるのではないかと。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ システムの更新による新たな取組は評価出来る。</li> </ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸出冊数の状況にて、70歳代の次に40歳代が多いとのこと、性別や内容はどうか興味を持った。</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乳幼児へのセカンドブック事業で利用の裾野を広げる、また大学テキストや外国語図書などで既存利用者にも目新しい提案で利用増加を図ることが評価できる。何事にも言えることだが、利用者数の増加には、新</li> </ul>           |

規を増やすと同時に既存を離さない工夫も必要だと思う。
・ 0 から 6 歳の貸出冊数、および登録者数を増やすことができたこと、セカンドブック事業に積極的に取り組んだことなどは、高く評価できる。
・ 令和元年度の主な取組にて、利用減少の傾向にある中高生世代に事業運営の参加経験は、図書館への親しみだけでなく幅広い利用者層からみるマーケティングを通して社会勉強になると感じた。(同様の意見 1 件)
・ 桜美林大学や、地域の中学校・高校との連携は、図書館の理解者を増やす意味でも重要な取組である。今後の展開を期待したい。

## 課題等

・ 指標数値の減少未達成はコロナ禍の影響でいたしかたない。
・ 貸出冊数の推移については、やむを得ないと考えるが、このような緊急事態によって図書館の活動が停止すること、またその後の事態の推移を考えると、単に利用の指標だけではなく、事業継続計画(Business Continuity Plan)として体系的な備えを用意する機会と受け止めていただきたい。
・ 新型コロナの影響で減少したというのは仕方がないと思う。今後も収束するまでは、利用は減少傾向になるのではないかとも思う。と言うのも、皆が借りて読める本が、コロナによって、皆が借りているから借りられないと思う人も増えていると思う。コロナ渦で利用者数を伸ばすには、色々と考えなくてはならないと思った。
・ 書籍の貸出利用よりも、勉強など空間利用が多いということだったが、蔵書に関することでも書いたように、専門書を充実させることで、勉強などで利用する市民への更なるサービスに繋がるのではないかと。 図書館は、出版を商売としてではなく、文化として守る施設という側面もあると思うので、利用者に本の必要性や素晴らしさを伝える工夫が欲しい。市民からも、出版業界からも必要とされる施設になるよう頑張りたい。
・ 橋本図書館での貸出冊数の大幅な減少、および 19 から 29 歳の貸出冊数の減少が大いに気になる。これは、通勤通学などが大きく影響しているのであろうか。詳細な検証が必要である。
・ セカンドブック事業に触れているが、その効果は「考えられる」ととどまっている。積極的にその効果を分析し、今後に活かしてもらいたい。
・ の子どもの貸出冊数のうち、0 から 6 歳以外の子どもたちによる貸出に関して、新型コロナウイルス感染拡大の影響の有無が明確でないので、

<p>判断が難しい。が、読書率の低下を課題ととらえるのであれば、その要因を明らかにするとともに、それに適した取組が求められる。市内の小・中・高校との連携はどうなっているのかも気になる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 13～18歳の貸出冊数の減少に対し、様々な取組により課題解決に力を入れているが、減少の原因をさらに検討し、有効な手立てにより子どもの読書活動を推進したい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中高生の利用減少は生活サイクルなどからも仕方のないもので、その前の年齢時に図書館の利用価値を感じることができれば将来必ず戻ってくると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桜美林大学や中高校生の取組に関連して、児童・生徒・学生らによる多様な情報発信を支援してもらいたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸出冊数増加への取組として、システム更新で表紙画像やあらすじ等の書誌データを充実したばかりだが、一歩進んで蓄積した貸出データの分析活用の必要を感じる。例えば「この本を借りた人はこの本も借りています」「いっしょに借りられている本です」のような個々の利用者に訴求するような取組も効果的ではないだろうか。(Amazonのおすすめイメージ)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蓄積した貸出データについては、データアナリスト等を活用し、データ分析を通じてエビデンスベースの新たな図書館サービスを生み出す可能性があるのではないか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通系 IC カードによる貸出などをはじめ、利便性の向上は引き続き進めるべきである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ HP のアクセスについて、来館と同じくらいの重きをもって評価したい。現状 HP アクセスは、逆にそのニーズを語っていると思われるが、利用が高いとも言えないし、数値目標も低すぎると言わざるを得ない。HP 自体の活性化を求める。TOPIC などの発信の工夫、SNS への連携等、専門家の助言を受ける必要を感じる。しかし、コロナ禍にあって、オンラインによるお話し会等の開催、SNS による企画イベントの告知には、好感を持った。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報発信機関であり、社会教育の知の砦あることを考えるならば、格差の進む社会状況からも、ネット接続できる PC 設備の拡充を求めたい。ネット体験が今後の社会参加の可能性を拓くならば、なおさらに、子どもたちに広く電子書籍の提供とあわせてその機会を提供するべきではないだろうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「読書バリアフリー法」によって、視覚障がい者利用促進に取り組まれているが、その取組は貧しい。デイジーの利用はあるものの、IT の進歩に</li> </ul>

よってより簡便で多様な情報提供が可能になっているが、使われていない。館内の掲示にはすべて Uni-Voice 等の文字コードをスタンダードとすべきではないだろうか。

視覚障害者情報センターはあるものの、ユニバーサル・デザインを求めるなら、特化された施設ではなく、図書館本館自体が情報発信の拠点になっているべきと思う。そのことによって、障がいの有無なく利用できる図書館になれるし、互いの多様性を認められる。情報は拡大文字の図書に限られるものでなく、DVD などにもバリアフリー仕様のもの、UDCast 対応のものを求めたい。

また、発達障がい児童のための閲覧室利用の可能性も追求されたい。図書館のバリアフリーは、市民生活のバリアフリーの牽引となるものと思う。

カウンターでは、手話ができる職員はいるのだろうか。障がい当事者とのコミュニケーションについての研修は実施されていますか？

### 【利用に関する指標の総括】

資料の利用は図書館の基本的なサービスであり、図書館のコレクションをより多くの市民が利用し、自身の学びや生活などに役立てていただくことを目指し、蔵書構築とともにその利用促進に努めた。

成果指標の状況として、貸出冊数は近年減少傾向にあり、令和元年度については臨時休館の影響も大きく、市民 1 人当たりの貸出冊数と子どもの貸出冊数はいずれも大きく減少した。様々な利用促進の取組を実施している一方で、蔵書の更新に課題があることや、人々の情報利用の選択肢が広がり、従来の本や読書が担ってきた役割が変化してきていることへの対応が十分でないことなども、数値に影響していると考えられる。

外部評価及び令和 2 年度第 3 回図書館協議会における意見として、全体の貸出冊数が減少した中で、実質貸出密度はほぼ横ばいで推移したことや、0～6 歳の貸出冊数が前年比で増加したことなどについての評価があった。ただし、コロナ禍の影響を除いても、中長期的には貸出冊数の減少が続いていることから、貸出・返却等基本的なサービスの利便性向上や、利用状況や各施策の効果などのより詳細な分析を行い、今後の取組に生かすことが必要との指摘もあった。各事業において必要な分析を行いながら、それを次の取組に生かし、より良い施策の展開につなげていきたい。

また、利用促進の取組としては、市民の多様な活動を支える公的機関として、従来の読書推進に加え、社会の変化に対応した様々なサービスを展開し

ていくことが重要との指摘もあった。知識や情報に触れる手段として本や読書の役割が変化する中で、図書館は本や読書の意義を改めて伝えるとともに、あらゆる知識の分野を扱う特長を生かし、多様なサービスや活動の場としての選択肢を提示していく必要がある。

公民館図書室等のサービス拠点とのネットワークを強化するとともに、引き続き地域の活動主体とも連携しながら様々な取組を実施することにより、図書館コレクションの更なる利用につながる知の循環を目指して、サービスの充実に取り組みたい。

(3) 来館に関する指標

来館に関する指標(平成29年度)			
【実績値】			
評価項目	目標値 (対前年度増減率)	実績値	
		平成28年度	平成29年度
入館者数(人)	2,047,315 (+1.0%)	2,027,045	1,947,843
		市立 559,952	市立 546,330
		相模大野 614,147	相模大野 592,433
		橋本 852,946	橋本 809,080
おはなし会 参加者数(人) []は開催回数	8,808 (+1.0%)	8,927 [416]	9,526 [424]
		市立 3,787 [204]	市立 3,897 [200]
		相模大野 2,190 [99]	相模大野 2,410 [109]
		橋本 2,950 [113]	橋本 3,219 [115]
レファレンスの 受付件数(件)	36,297 (-1.5%以内)	36,850	35,703
		市立 15,784	市立 13,426
		相模大野 10,781	相模大野 9,867
		橋本 10,285	橋本 12,410

入館者数は3図書館の数値で、相武台分館は未集計のため含んでいない。  
おはなし会参加者数・レファレンスの受付件数の館別内訳のうち、市立図書館には、相武台分館分が含まれている。  
おはなし会参加者数について、各館で基準を合わせおはなし会に含む事業の見直しを行った。それに伴い、平成28年度分の実績値を新基準に合わせて比較用に修正している。

【内部評価】

入館者数は、1,947,843人で、前年度から79,202人(3.9%)減少し、目標値を達成することができなかった。平成27年度には前年度比で増加に転じたものの、平成20年度の2,609,040人をピークとし、減少傾向が続いている。館別に見ると、橋本の減少が43,866人で最も多く、相模大野(21,714人)、市立(13,622人)の順となっている。

減少の要因として、図書館利用の大きな部分を占める館外貸出においては、先に触れたように、利用者のニーズに蔵書の充実が追いついていないことが利用減の一因と考えられる。特に、年齢別の貸出冊数の推移を見ると、19~29歳代及び30歳代の貸出冊数の減少割合が大きいことから、その年代の貸出者数や入館者数の減少が大きいと推測される。情報通信技術の発達に伴う、情報

入手手段やライフスタイルの多様化により、比較的若い世代において、図書館以外で情報を入手する等の理由によって入館者の減少傾向が続いていると考えられる。

また、相互利用を行っている近隣自治体の図書館では、相模原市民の登録が近年増加傾向にある館も見受けられ、今後の推移によっては、本市図書館の利用に影響することが想定される。

館外貸出による資料提供サービスを充実させるとともに、図書館が実施してきたサービスの検証を行いながら、必要とする利用者へサービスを届ける工夫をしたり、少子高齢化等の社会状況に応じた新たな試みを展開したりするなど、図書館利用の裾野を広げる努力が必要である。

課題に対する取組として、図書館サービスの周知という側面からは、地域のラジオ局であるエフエムさがみの番組内で、週一回図書館紹介のコーナーを開始した。番組では、週ごとに各館が交代でおすすめする図書や図書館の事業、サービス等の紹介を行なっている。図書館や市が持つ広報媒体とは異なる、地域のラジオ番組内で継続的に図書館を紹介することで、図書館利用の更なる促進や、未利用者へのPRにつなげたい。

滞在利用に関する試みとして、相模大野図書館では、中高生世代を対象にしたエリアにマンガコーナーを新たに設置した。従来から所蔵している貸出用のマンガに加え、中高生世代のコーナーに閲覧専用のマンガを常置することで、いつ来館しても人気のマンガを閲覧できる環境を整備し、滞在利用の機能を充実させる試みを行った。

アンケートなどの手段により利用者のニーズや滞在利用に関する状況等の把握に努めながら、今後もサービス、施設、事業など様々な面において、図書館利用につながるような工夫を継続したい。

おはなし会参加者数は9,526人で、599人(6.7%)の増となり目標値を達成することができた。館別に見ると、橋本図書館(269名)、相模大野図書館(220名)、市立図書館と相武台分館(110名)の内訳で、橋本図書館の定例おはなし会の増加が最も多かった。各館で読み聞かせボランティアと協力しながら、子どもの発達段階に応じたおはなし会を定期的を実施しており、取組が定着してきていることが参加者の維持につながっていると考えられる。また、外国語によるおはなし会や大人のためのおはなし会など、子どもだけでなく、より幅広い利用者と図書館の持つ多様な資料を結ぶ取組を実施した。

実演に触れながら作品を享受できるおはなし会は、個人の読書とは異なる魅力を持つと考えられる。また、乳幼児とその保護者にとっては、子育てへの直接的な支援という機能も持っている。子どもの読書活動推進の取組としておは

なし会の充実を図るとともに、様々な利用者へのアプローチも研究していきたい。

レファレンスの受付件数は 35,703 件で、前年度と比べ 1,147 件(3.1%)の減となり、目標値を達成することができなかったが、中長期的に見ると、平成 20 年度との比較では 1,866 件増加しており、わずかながらではあるが増加傾向にある。

レファレンスについては、Web による個人の情報入手が一般化してきた今日でも一定の受付件数で推移しており、情報検索に留まらない、図書館が持つ様々な情報源を活用した確度の高い資料・情報提供は、調査研究の支援に有効と考えられる。

また、直接的な人的支援以外にも、館内端末機によるオンラインデータベースの利用や「テーマ別調べ案内」の提供、図書館からの情報発信、調べものを支援する講座など、間接的なサービスの充実を図っている。図書館からの情報発信については、レファレンス協同データベース<sup>37</sup>への事例登録を積極的に行い、Web 上で広く公開することにより、レファレンスサービスの周知や業務効率化につながっている。橋本図書館と相模大野図書館では、登録事例の被参照件数や掲載件数が一定基準に達したため、国立国会図書館から御礼状を受領した。調べもの支援の講座については、各館における小中学生向けの調べ方の講座や、橋本図書館におけるパソコン初心者講習会など、情報リテラシーの向上に資する講座を実施した。

今後も職員の研鑽に努めるとともに、利用者が自ら調べる環境や、レファレンスサービスの認知度を高める取組の充実を努め、提供するレファレンスサービスの水準を高めていきたい。

## 【外部評価】

### 評価

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地元ラジオ局の活用、イベントの開催や設置コーナーの工夫など、PR 活動や利用者ニーズに合わせた館づくりを積極的に行っている。</li> </ul>  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントや学習の場など、未利用者を含め来館するためのきっかけ作りに努めている。</li> </ul> <p>図書館のように定期的にイベントを行える場を設けることは、利用者だけでなく主催する側の居場所作りにもつながるのではないか。</p> |

37 国立国会図書館が構築し運営しているレファレンス事例のデータベース。各図書館が協力して事例を登録し、Web で一般に公開している。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ エフエムさがみでのコーナー開始の取り組みは高く評価できる。できれば、そのコーナーだけでも図書館のウェブサイトに掲載し、いつでも聞けるようにしたらどうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高校、大学、公民館などの近隣施設との連携及び地域ラジオの活用などは、図書館の利用者層を広げる大変有意義な試みである。内容も、落語会や手作り紙芝居、POP作成、おすすめ図書紹介など、工夫が見られる。今後も、地域の人材や施設を大いに活用されたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ おはなし会は、相模原市図書館の強みであり、目標値の達成は評価できるので、これに満足することなく、今後も力を入れてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ おはなし会は参加者数が大幅に増加しており、利用者アンケートでも高評価を得ている。これは、対象年齢を乳幼児から大人まで広げた成果でもあるだろう。図書館の活性化につながるイベントとして、ボランティアとの協力体制をより一層強化し、資質の向上と内容の充実を目指されたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学生の職場体験は、現場としては大変な面もあるだろうが、引き続き積極的な受け入れを望む。利用の少ない中高生が図書館に足を運ぶきっかけになる。そういった意味では、マンガを禁帯出で設置し、中高生を呼び込んだ工夫も、評価に値する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ レファレンス受付件数は、大幅に減少はしていないので、レファレンスの質を重視し、レファレンスの実例を市民へ紹介することも力を注いでほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 橋本図書館で開催されているパソコン初心者講習会といった取り組みは、情報リテラシー講習会と同様に、今後ますます重要になると思われる。各館への拡大やメニューの拡充などが待たれる。</li> </ul>

#### 課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者数が減少し、目標値に達しなかったことは課題であり、今後、利用者のニーズへの対応や、世の中の情報流通の在り様の把握などに努めることが必要である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来館を促すには、人的サービス、時間、空間、コンテンツなど、相応の環境が必要である。特に快適で、安心かつ安全な空間づくりは、図書館に限らず様々な場面で評価の得られるポイントであると思われるので、中長期的計画における適切な検討が必要ではないか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の滞在時間が増加しているのであれば、それを明示するデータが必要である。</li> </ul>

<p>・ 図書館の居場所機能が注目されるなか、中高生、大学生、受験生等の居場所利用者の人数把握システムを考えると良い。</p>
<p>・ 相模大野図書館のマンガコーナー設置は、中高生に対する訴求力は高いが、これを他のサービスにどのようにつなげるのかが不明である。</p>
<p>・ 利用者のニーズに蔵書の充実が追いついていない事や、情報通信技術の発達で市民の情報入手が楽になった事が来館の減少につながっているのは仕方がないと思われるが、おはなし会やイベントなど、魅力ある仕掛けを作っていけば、来館につながるのではないかな。</p>
<p>・ 図書の貸出や返却だけでなく、作家や編集者と直接会って意見や情報を交換する場としての図書館はどうだろうか。</p>
<p>・ おはなし会参加者数が増加する一方で、参加者数にばかりこだわり、大きなイベントだけにエネルギーが集中しないように心掛けたい。巷には大音響や派手な映像があふれている。静かに本を読める空間、静かにお話を聞ける時間は貴重である。図書館は、そういった心地良い時間と空間を、日常的・継続的に提供できる場であってほしい。</p>
<p>・ 少しでも参加者があったものに対して、どうして参加したか、満足できたかなど意見を大切にす、可能であれば次回の企画に案を出してもらうなど主催意識を持ってもらうと次の参加にもつながるのではないかな。また、満足できたものであれば継続していく、深めていくことで徐々に増えることも考えられる。</p>
<p>・ 利用されることを待っているのではなく、図書館の理解を拡げるために、地域のボランティアと協働し、館外へ飛び出すのはどうだろうか。また、これから増える空き家対策として、中・高・大学生を含めた地域のボランティアの応援を求めて、その場の利用を考えてみることはできないだろうか。</p>
<p>・ 入館者の減少を防ぐには、図書館に人を呼ぶ魅力がなくてはならないので、従来は新刊書を揃えたわけである。利用に関する指標にも関連するが、ストック資料に着目するなら、この資料に関連する事業を展開する必要がある。</p>
<p>・ 来館者が減少傾向にあることは地域の文化水準低下を招く恐れがあるため好ましくない。思わず手に取りたくなるような本を多く書架に並べることが第一だが、その他に次のような方策が考えられる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.新着図書の広報を積極的に行う。思わず見てみたくなる図書を購入する。</li> <li>2.図書を借りた人に無料駐車券を渡す。</li> </ol> <p>相模大野図書館と相模大野駅の間にある駐車場は市営のものなので、市</p>

<p>の施設利用者は無料にするのが自然ではないか。</p> <p>3.図書館が主催するイベントの入場券は図書館の窓口のみで受け取れるようにする。</p> <p>4.その他に、市が主催するイベントの入場券を図書館でも入手可能とする。</p> <p>5.ふれあい科学館その他市営施設の割引券を図書館の窓口でもらえるようにする。</p> <p>6.市立麻溝公園には動物園があり子供連れで賑わっているので、その中に図書館の本棚を置き、動物関係の図鑑や絵本を常置する。</p> <p>7.できれば県立相模原公園にも書架を置かせてもらい、こちらは樹木が沢山あるので植物関係の図鑑や森林に関する書物を置かせてもらえるようにしてはどうか。またそこには西洋式の美しい立派な庭園があるので庭園関係の本、それに関連する西欧文化に関する図書を並べると良いと思われる。</p> <p>8.JAXAの施設内に書架を置かせてもらい国内外の宇宙関連図書を並べてみてはどうか。子ども向けから専門的なものまで揃えると良いと思われる。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 淵野辺、相模大野、橋本の図書館はすべて駅に近く便利な所に立地している。その点はとても良いと思う。自宅から図書館に行く際、交通機関を使って行くというのは交通費がかかるので避ける人が多いと思う。自転車等で行く人が多いと思うので、駐輪場を拡大・整備すれば一層利用者が増えると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3館共通して小中学生に向けた調べ学習など事業の参加数が少ない。周知が届かないのか興味を持ってないのか、価値が伝わるような伝え方は今後の課題だと思われる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 周知に駅のポスターや電車広告を利用できないか。市の事業で無料ならば安心して参加できると思われる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各館評価にあるSNSの件数は発信回数だと思われるが、反応はどうか知りたい。</li> </ul>

来館に関する指標（平成30年度）			
【実績値】			
評価項目	目標値 (対前年度増減率)	実績値	
		平成29年度	平成30年度
入館者数(人)	1,967,321 (+1.0%)	1,947,843	1,870,491
		市立 546,330	市立 535,438
		相模大野 592,433	相模大野 552,724
		橋本 809,080	橋本 782,329
おはなし会 参加者数(人) []は開催回数	9,621 (+1.0%)	9,526[424]	9,060[453]
		市立 3,897[200]	市立 3,666[201]
		相模大野 2,410[109]	相模大野 2,111[134]
		橋本 3,219[115]	橋本 3,283[118]
レファレンスの 受付件数(件)	35,167 (-1.5%以内)	35,703	35,870
		市立 13,426	市立 13,264
		相模大野 9,867	相模大野 9,533
		橋本 12,410	橋本 13,073

入館者数は3図書館の数値で、相武台分館は未集計のため含んでいない。  
おはなし会参加者数・レファレンスの受付件数の館別内訳のうち、市立図書館には、相武台分館分が含まれている。

【内部評価】

入館者数は、1,870,491人で、前年度から77,352人(4.0%)減少し、目標値を達成できなかった。平成27年度には前年度比で増加に転じたものの、中長期的には平成20年度の2,609,040人をピークとした、減少傾向が続いている。館別に見ると、相模大野図書館の減少が39,709人で最も多く、次いで橋本図書館(26,751人)、市立図書館(10,892人)の順となっている。相模大野図書館の減少が大きいことについては、7月に実施した照明設備の修繕に伴う休館も一因として考えられる。また、貸出冊数にも関わることだが、他市町村民の貸出登録者への貸出冊数は減少した一方で、相模原市民の他市町村への登録者は増加しており、自治体間の相互利用の状況も影響していると考えられる。

入館者の減少については、蔵書に関する指標や利用に関する指標とも関連し、蔵書や事業、サービスなど複数の観点から充実を図るとともに、施設や設備面での居心地の良さや利便性向上についても検討が必要である。図書館の利用目

的の大きな割合を占める貸出利用については、引き続き蔵書の充実や利活用に努め、資料提供サービスの活性化を図りたい。また、図書館法における「教養、調査研究、レクリエーション等に資することを目的とする施設」という観点からは、市民の多様な生涯学習の目的やニーズに対し、各館が地域の実情を捉えながら、サービス等の検討及び実施と、検証を重ねていく必要がある。

平成 30 年度の取組として、図書館システムの更新に向け、利用者の利便性向上を図るため、ホームページの刷新や、図書の検索、マイ・ライブラリー<sup>38</sup>等の機能向上に係るシステム開発を進めた。蔵書に対するアクセスや、情報入手の手段である Web サービスの機能を向上させることで、資料提供や情報サービスの活性化が図られ、利用促進につながることが期待される。

おはなし会参加者数は 9,060 人で、466 人(4.9%)減少し、目標値を達成できなかった。減少者数を館別に見ると、橋本図書館は 64 名増加し、市立図書館と相武台分館が 231 名、相模大野図書館が 299 名減少した。

各館で読み聞かせボランティアと協力しながら、子どもの発達段階に応じたおはなし会を定期的実施するとともに、市立図書館の子育て支援事業「みて・さわって・よんで・あそぼう 布えほんひろば」、相模大野図書館の「絵本で子育てワークショップ」、橋本図書館の「わらべうたで遊びましょう」といった、子育て世代が参加し、家庭での読み聞かせにつながるような取組も実施した。

また、平成 30 年 8 月から、本市の取組としてセカンドブック事業がスタートした。セカンドブック事業においては、図書館及び公民館等図書室で絵本の受け渡しを行うとともに、おはなし会の案内等もあわせて配布しており、身近な図書館等に足を運び、図書館の蔵書やサービスを知ってもらう機会となると考えられる。

引き続き、おはなし会等を継続して行うとともに、作品や物語の実演と享受というおはなし会の持つ特徴を生かしながら、年齢を超えた様々な利用者へのアプローチも研究していきたい。

レファレンスの受付件数は 35,870 件で、前年度と比べ 167 件(0.5%)の増となり、目標値を達成できた。受付件数を中長期的に見ると、平成 20 年度は 33,837 件、平成 25 年度は 35,704 件となっており、来館者数や貸出冊数が減少傾向にある中で、一定の受付件数で推移している。

これまでの評価でも触れてきたように、Web による情報入手が一般化した中でも、様々な媒体を総合的に判断して質問に回答するサービスには、一定のニ-

---

38 利用者が WebOPAC や OPAC から図書館システムにログインすることで、貸出等の情報が確認できる機能。

ズがある。ただし、「市政モニターアンケート」では、「調べもの(レファレンス)サービス」の認知度は33.6%に留まっており、関連する「参考図書、郷土・行政資料、新聞等の閲覧(54.0%)」「図書館資料の複写サービス(42.5%)」「閲覧用インターネット端末の利用(38.1%)」等のサービスと比べても、認知度が低い状況だった。レファレンスコレクションの充実等、間接サービスにより調査環境を構築するとともに、直接回答サービスについては、更なる認知度向上の取組が必要である。

平成30年度の取組としては、引き続きレファレンス協同データベースへの事例登録を行い、Web上で広く一般公開することにより、レファレンスサービスの周知や、サービスへの貢献に努めた。橋本図書館と相模大野図書館では、登録事例の被参照件数や掲載件数が一定基準に達したため、国立国会図書館から御礼状を受領した。橋本図書館については、平成20年度以降10年連続で基準に達している。

また、市民や利用者が自ら調べるための環境として、オンラインデータベースや国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供、パスファインダー<sup>39</sup>「テーマ別調べ案内」の作成及び提供などを継続的に行っている。オンラインデータベースと国立国会図書館デジタル化資料送信サービスは利用件数が減少したが、いずれも質問回答サービスの際には参照することが多く、調べものには非常に有効なツールとなっている。レファレンスサービスの認知度向上を図りながら、これらのツールについても利活用の促進を図りたい。

## 【外部評価】

### 評価

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館ならではの特徴が生かせるレファレンスサービスについて、充実や周知に努めている。(同様の意見1件)</li> </ul>   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レファレンスの受付件数が増加傾向である点は、高く評価できる。具体的にどのような種類の質問が多いか、質問内容の主題はどうかなど、具体的な結果に言及して内部評価を提示してもらえると、より分かりやすくなると思われる。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ レファレンスの受付件数に増加が見られ、近年の図書館の公的役割を担っている事が伺われる。</li> </ul>   |

<sup>39</sup> 特定の主題について、調査方法や調査に有効な資料を紹介したリーフレット。本市図書館では「テーマ別調べ案内」として各館で配布しているほか、ホームページで公開している。

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読み聞かせの活動も素晴らしいと思う。小さな子ども達にとって図書館が身近に感じられ、その子たちが大きくなった時に、利用にも繋がると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指標の1つであるおはなし会の参加者数が減少した点は憂慮すべきことであるが、ボランティアとの協力や、セカンドブック事業を開始するなど、図書館の取組自体は評価できる。職員体制にも関わるが、学校でのおはなし会やブックトークなど、対象を広げることは来館とともに、利用にも資することになる。今後の展開に期待したい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ セカンドブックやおはなし会など、子育て世代が図書館に足を運ぶ事業に積極的に取り組んでいる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の利便性向上を図るために取組を進めていることは評価できる。また、子育て世代が参加し、家庭での読み聞かせにつながる活動を各図書館で行っていることの更なる推進、発展を期待したい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館にも多様性が求められている。この観点から現在いろいろなイベントの開催に取り組んでいる。(同様の意見1件)</li> </ul>

#### 課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館に足を運ばなくてもスマートフォンやパソコン等で情報収集できてしまうので、図書館にしかないような資料やデータの収集、サービスの実施が重要である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来館は、市民が図書館サービスを利用する手段の1つに過ぎない。来館を伴わないサービス展開により、利用者の満足度が向上しているのであれば、むしろ良い結果と捉えることもできる。ただし、比較的利便性の高い相模大野、橋本の両図書館で入館者数が減少している点は気がかりである。その要因がどこにあるのかの把握に努めるべきである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度も指摘したが、来館を促すには、人的サービス、時間、空間、コンテンツなど、相応の環境が必要である。特に快適で、安心かつ安全な空間づくりは、図書館に限らずさまざまな場面で評価の得られるポイントである。「蔵書に関する指標」とも関連するが、中央図書館再整備計画をはじめとする、中長期的計画における適切な検討が必要ではないか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 淵野辺の市立図書館は建物が古くなり過ぎている。スーパー等と同居する構造にすると客足が伸びると思われる。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>各館が趣向を凝らし、おはなし会やセカンドブック事業の実施等、図書館利用につながる良い機会であり評価できるが、市民への周知ができているか疑問である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>入館者を増加させるには、既存利用者を会員と捉え、図書館システムで開発する「マイ・ライブラリー」などを活用することが望まれる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て世代は、子どもに絵本を読み聞かせる事だけが目的ではなく、その集まりの中で同じ年代の子どもを育てる仲間としてのコミュニケーションを求める利用者も多いと思う。参加者が気軽に話ができる時間を設けたり、場所を提供したりするのも公共施設である図書館の有効的な利用になるのではないかと。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会は、相模原市図書館の強みなので、参加者数の目標値の達成できなかったことは残念である。今後も工夫して対応してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館は今や、ただ本を貸すだけの場所ではなく、本と人をつなげるための様々なイベントが実施される場でもある。それには多くのボランティアが関わっているが、そのボランティアの資質向上も重視したい。まず、現ボランティアや新人図書館員を対象とした講習会を企画し、有意義で質の高いものを来館者に提供できるよう、より多くの工夫が必要と思われる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>レファレンス受付件数は、ほぼ現状維持なので、レファレンスの質を重視し、レファレンスの実例を市民へ紹介することを継続してほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>レファレンスサービスの利用者が増加する一方で、認知度の低さは気になるところである。市民にとって頼りになるサービスだけに、認知度や利用を促す広報に力を入れたい。また、職員のスキルアップも、サービスの向上と入館者の増加につながっていくものと推測できるので、更に研修を充実させたい。</li> </ul>

来館に関する指標（令和元年度）			
【実績値】			
評価項目	目標値 (対前年度増減率)	実績値	
		平成 30 年度	令和元年度
入館者数（人）	1,889,196 (+1.0%)	1,870,491	1,628,561
		市立 535,438	市立 478,495
		相模大野 552,724	相模大野 474,944
		橋本 782,329	橋本 675,122
おはなし会 参加者数（人） []は開催回数	9,151 (+1.0%)	9,060[453]	7,197[380]
		市立 3,666[201]	市立 3,132[181]
		相模大野 2,111[134]	相模大野 1,628[99]
		橋本 3,283[118]	橋本 2,437[100]
レファレンスの 受付件数（件）	35,332 (-1.5%以内)	35,870	31,430
		市立 13,264	市立 11,764
		相模大野 9,533	相模大野 8,502
		橋本 13,073	橋本 11,164

入館者数は3図書館の数値で、相武台分館は未集計のため含んでいない。  
おはなし会参加者数・レファレンスの受付件数の館別内訳のうち、市立図書館には、相武台分館分が含まれている。

【内部評価】

入館者数

・成果指標及び各統計数値の状況

入館者数は1,628,561人で、前年から241,930人(-12.9%)減少し、目標値を達成できなかった。中長期的に見ると、平成20年度の2,609,040人をピークとして減少傾向で推移しており、『基本計画』開始年度の平成22年度(2,464,644人)との比較では、増減率は-33.9%となっている。また、過去3年度は増減率-3.9%~-4.0%で推移していたが、令和元年度は臨時休館の影響により減少幅が大きかった。なお、開館日1日当たりで見ると2,096人で、前年の2,162人と比べ-3.1%減少した。

館別の状況と増減率を見ると、市立図書館が478,495人(-10.6%)、相模大野図書館が474,944人(-14.1%)、橋本図書館が675,122人(-13.7%)で、入館者数は橋本図書館が最も多く、次いで市立図書館、相模大野図書館の順となった。令和元年度は相模大野図書館の減少が大きく、入館者数が最も少なかった。

た。特に、10月～1月が前年同期比で-10%以上の減少となっており、伊勢丹相模原店が9月に閉館した後、相模大野駅からのアクセス経路に変化があったことも影響していると考えられる。平成22年度との比較で増減率を見ると、橋本図書館(-37.1%)が最も減少が大きく、次いで相模大野図書館(-36.9%)、市立図書館(-25.1%)の順となっている。

また、自治体間の相互利用の状況を見ると、他市町村民の相模原市立図書館への登録は減少傾向にある一方で、相模原市民の他市町村図書館への登録は増加傾向にある。比較可能な数値として、平成26年度からの増減率を見ると、他市町村民 相模原市への登録が-16.1%の減少に対し、相模原市民 他市町村への登録が+23.3%の増加で、平成28年を期に総数が逆転した。特に大和市、海老名市、座間市といった小田急線沿線の図書館への登録者数が増加しており、入館者数にも影響していると考えられる。

#### ・令和元年度の主な取組

橋本図書館では、平成30年度に新設された「どなたにもやさしいほんのコーナー」の資料充実を図るとともに、通常の利用が困難な利用者に向けた「やさしい利用者案内」を作成し、充実した読書環境の提供に努めた。令和元年6月の読書バリアフリー法の施行も踏まえ、視覚障害者等がアクセシブルな資料を積極的に収集するとともに、読書に関するバリアを把握し取り除くための取組を継続的に実施した。今後も、『第2次基本計画』で掲げる多様な利用者に向けたきめ細かいサービスにおいて、多様な市民が等しく学べる環境の整備に努めたい。

#### ・今後の課題及び取組

図書館への来館については、利用目的として大きな割合を占める資料利用以外にも、読書の環境、調査・研究や学習利用の環境、各種事業への参加、安全・安心に過ごせる場所としての役割なども影響しており、これらの要素が複合的に影響し、減少につながっていると考えられる。各図書館において、蔵書や図書館サービスなど複数の観点から充実を図るとともに、施設や設備面でも修繕等により環境整備を行っているところであり、今後も継続した取組が必要である。『第2次基本計画』においても、引き続き入館者数を成果指標としており、中長期的な計画において各施策を推進することにより、より多くの市民が訪れ、市民の多様な活動に利用される図書館を目指したい。

また、『第2次基本計画』で志向する「市民や地域に活力を与える図書館」という視点においては、来館を待つだけでなく、令和元年度に実施した、相模

大野図書館における近隣学校との連携、橋本図書館における商店街との連携、また、市立図書館における公園へ出張して図書館をPRする取組などの事例のように、地域の活動主体との積極的な連携や、図書館からサービスを届けることで地域の活性化を支援し、図書館利用につなげるようなサービスのあり方についても、一層の研究が必要である。

他方で、コロナ禍において来館利用が制限されたことを踏まえ、今後は非来館型のサービス<sup>40</sup>の充実についても新たな検討が必要である。現状では、Webサービスに加え、市内小中学校を対象とした学校支援図書セット<sup>41</sup>の配送貸出、市立図書館での一部地域への宅配サービス、来館が困難な方等を対象とした郵送複写サービスを実施しているが、Webサービス以外は限られた利用に留まっている。既存サービスの促進とともに、新たなサービスの研究についても取り組んでいきたい。

## おはなし会参加者数

### ・成果指標及び各統計数値の状況

おはなし会参加者数は7,197人で、前年から1,863人(-20.6%)減少し、目標値を達成できなかった。臨時休館により、定例的なおはなし会に加え、春のおおきなおはなし会などが各館で中止となり、大きな減少につながった。また、1回当たりの参加者数も、前年の20.0人から、19.0人に減少した。参加者数の減少を館別に見ると、市立図書館及び相武台分館が534人、相模大野図書館が483人、橋本図書館が846人減少した。なお、相武台分館を単独で見ると、定例のおはなし会は減少したが、40周年記念イベントとしておはなし会等を行ったことにより、11名の増加となった。

### ・令和元年度の主な取組

各館で読み聞かせボランティアとの連携による、子どもの発達段階に応じたおはなし会を実施するとともに、市立図書館の子育て支援事業「みて・さわって・よんで・あそぼう 布えほんひろば」、相模大野図書館の「絵本で子育てワークショップ」、橋本図書館の「わらべうたで遊みましょう」といった、子育て世代が参加し、家庭での読み聞かせにつながるような取組も実施した。

また、読み聞かせに携わるボランティアに向けた事業として、相模大野図書館の「読み聞かせサークルのための勉強会」、橋本図書館の「読み聞かせ・おは

40 図書館へ来館しなくても利用できるサービスのこと。

41 テーマごとに30冊程度の資料を集めた図書セットを整備し、学校へ配送貸出を行っている。

なしボランティア交流・勉強会」を開催し、ボランティアのスキルアップの機会を提供した。

#### ・今後の課題及び取組

『基本計画』の計画期間においては、曜日や時期を決めた定例的なおはなし会で参加者数の減少は見られたものの、乳幼児と保護者を対象とした会を新たに始めるなど、各館がおはなし会に変化を加えながら参加を促すことで、参加者数はゆるやかに増加してきた。一方で、3月の臨時休館以降、コロナ禍の影響でおはなし会等のイベントが実施できない状況が続いており、今後は Web によるおはなし会発信の取組など、他館の取組も参考としながら、おはなし会のあり方や、おはなし会を補う取組について模索する必要がある。

#### レファレンスの受付件数

##### ・成果指標及び各統計数値の状況

レファレンスの受付件数は 31,430 件で、前年から 4,440 件 (-12.4%) 減少し、目標値を達成できなかった。中長期的に見ると、『基本計画』の期間内では増減を繰り返しながらゆるやかに増加してきたが、令和元年度は臨時休館時にサービスの受付を停止したことから減少に転じ、平成 22 年度 (32,437 件) との比較では -3.1% の減少となった。なお、開館日 1 日当たりの受付件数は 30.3 件で、平成 30 年度の 31.0 件と比べて -2.3% の減少となった。成果指標の達成には至らなかったものの、中長期的には受付件数の大幅な減少は見られず、一定の数値で推移している。

##### ・令和元年度の主な取組

サービス向上のための職員の研鑽として、司書講習の受講により 1 名が資格を取得したほか、図書館司書専門講座や、神奈川県立図書館のレファレンスサービス専門研修、窓口業務等受託事業者独自の研修などを通じてスキルアップに努めた。

継続的な取組として、レファレンス協同データベースへの事例登録を行い、Web 上で広く一般公開することにより、レファレンスサービスの周知等に努めた。橋本図書館では、登録事例の被参照件数が一定基準に達したため、国立国会図書館から礼状を受領した (平成 20 年度以降 12 年連続)。なお、レファレンス協同データベースに登録した事例は、非公開のものも合わせて 2,441 件となった。内容を分類別に見ると、社会科学 23.4%、歴史 21.8% の 2 分類が特に多く、次いで芸術 16.0%、文学 12.6%、自然科学 11.3% の順となっている。

調査種別を見ると、文献紹介と事実調査が多くを占めている。登録事例に限定したものはあるが、今後更に分析を行うことにより、蔵書構築や資料提供サービスの促進にも活用していきたい。

また、利用者が自ら調べるための環境として、オンラインデータベースや国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供、パスファインダー「テーマ別調べ案内」の作成及び提供などを継続的に行っている。オンラインデータベースは利用件数が減少したが、国立国会図書館デジタル化資料送信サービスは利用件数・複写枚数ともに増加している。いずれも、レファレンスサービスの質問回答の過程において情報源として紹介をしたり、図書館利用教育の取組の中で周知を図ったりするなど、更なる利活用の促進に努めたい。

#### ・今後の課題及び取組

受付件数の推移を見ると、図書館に特徴的なサービスとして一定のニーズがあると考えられるが、窓口での受付割合が多くを占めており、令和元年度は臨時休館時にサービスが行えなかったことが課題となった。レファレンスサービスの利便性向上を図るため、電話や文書での受付に加え、非来館型のサービスとしてメールレファレンス実施に向け検討を進めたい。既に実施している郵送複写サービスについても周知を行うことで、利用が増える可能性は考えられる。

また、図書館員による人的支援のあり方として、質問への回答だけでなく、利用教育支援によって、利用者が自ら調べる力や情報を活用する力の向上を図る取組についても充実が必要である。現状では主に子ども向けの図書館案内や調べもの講座を実施しているが、より広い世代への事業展開が考えられる。

令和2年度以降も引き続きレファレンスサービスの認知度向上に取り組みながら、利便性を高める工夫や、利用者自らが調べる調査環境の充実に努めたい。加えて、『第2次基本計画』の施策である中央図書館機能の確立及び充実の中では、専門的機能として参考図書の蔵書構築のあり方と並んで、中央図書館としてのレファレンスサービス体制や支援のあり方の検討が課題である。

#### 【外部評価】

##### 評価

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス感染症の拡大が図書館事業の至る所に影響が出ている中で、今後の方向として非来館型のサービスの充実について検討することは、大きな意義がある。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「市民や地域に活力を与える図書館」の取組はとても評価できるので今</li> </ul>  |

<p>後も積極的に取り組んでほしい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染拡大による休館までは、お話し会をはじめ、他組織とも積極的に連携をとりながら、多様なイベントを開催してきたことは高く評価できる。今後も地域の活動団体との連携を密にしながら、公共の活動を育ててもらいたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会など親子や子ども向け事業では、開催方法の工夫や Web 配信など模索しながらも、根強い活動を継続していることはとても評価できる。(同様の意見 1 件)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>レファレンスの受付件数は減少が見られたが、市民の調査に一定程度の役割を果たしているものと確認できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>レファレンス協同データベースなどを活用した積極的な発信は、高く評価できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土資料を集める役割を自覚されていることは賞賛したい。そうした資料を求めて、そして関連レファレンスはどのぐらいに数値になっているか知りたい。地域市民にとって存在価値をアピールする要因のひとつと思う。その意味で、地域市民活動情報は、どのような方法でまとめられているのだろうか。さがみはら市民活動サポートセンターとの連携はどのようにされているか。社会教育の推進役となりうる図書館の役割から、市民活動とその協働に大きく働きかけることで、さらに来館を誘うことができると思われる。図書館の社会教育における「利便性」を求める。(市民活動団体との協働で蔵書購入等の議論もできるのではないだろうか)。</li> </ul>

#### 課題

<ul style="list-style-type: none"> <li>相模大野の商業施設閉館の影響で入館者数の減少率が高くなったのは仕方ないと思う。今後市立図書館周辺の開発が進められるが、駅からの導線など考えていく必要があると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>相模大野図書館における来館者数の変化は、とても示唆的である。利用者が図書館になにを求めているのかをあらためて検討する必要がある。「今後の課題及び取組」に「読書の環境、調査・研究や学習利用の環境、各種事業への参加、安全・安心に過ごせる場所としての役割」と記しているが、これらがどこまで実現できているのか、できていないとすればどう実現するのかは、大きな課題である。それは、大和市や海老名市、座間市との比較からも検証できると考えられる。 他方、財政をはじめ、現在の施設・設備の状況など、さまざまな制約の</li> </ul>

<p>中で、図書館運営を考えていかなければならないことも事実である。そのときに、図書館はなにを魅力として発信し、人々を引き付けるのかもあわせて考えてもらいたい。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他市への登録が増えるのは利用者がそれぞれの特色に需要を感じているからだと思うので、それらを参考に相模原市なりの魅力があれば市民だけでなく他市の利用者を増やすことにつながると思う。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他市町村図書館への登録が増加傾向にあることは、憂慮すべきであるだろう。わが国が人口減少社会となっている以上、近隣自治体とは住民定着を競う関係になっていく。図書館は概して好感度が高い生涯学習施設であり、自治体として提供できる様々なサービスの一環として利用者を引き付ける魅力ある施設であることを志向すべきである。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来館者数の減少については、コロナ禍及び伊勢丹の撤退等の要因が主であるが、コロナ終息以降も減少傾向が続くようであれば徹底的な調査が必要であると思われる。また相互利用に関して、相模原市民の他市町村への登録増加はより問題視するべきである。明らかに大和市シリウスのような取組に後塵を拝している状況なのではないだろうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (2)「利用に関する指標」でも触れたが、障がい者の来館についての数値はないのだろうか。来館者アンケートでも、障がい当事者からの意見はなかったのだろうか。具体的利用についての情報が見えてこない。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ネット参入やコロナでの外出自粛により利用者が少ないのは仕方なく今後も続く可能性がある。それでも、「家では出来ない」「いつもと違う場所で息抜き」などわざわざ図書館に足を運ぶ価値を見出し、市民の憩いの場にしてほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 身近な印象では、近隣の商業施設(橋本ではアリオ等)のイートイン等で学習する中高生を見かけることも多く、一般的により良い環境だと思われる図書館がそのようなスペースに負けている現状がある。勉学の場として周知されていないのか、比較検討の結果勉学の場として図書館が選択されないのか、いずれにしても調査し来館者数増加に向けた取組にフィードバックできるのではないだろうか。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「利便性」ということでいえば、本の返却体制を、さらに一歩進めることはできないか。八王子市における全郵便局が本の返却を受け付けるということがなくても、海老名市のように駅頭における返却受付などを可能にすることを考えてもよいのではないか。蔵書管理のIT化のなかで、もっとフレキシブルな利用法を摸索してもいいように思う。</li> </ul>

<p>・ 各地の図書館で講演会を行ってきたが、相模原市立図書館がもっとも参加者が少なかった。その原因は市民の書籍や生き物への意識の低さもあるようにも思うが、一番には広報がしっかりできていないこと。</p> <p>広報さがみはらの掲載に関するための面倒な縛りは多少知っているが、やはりイベントに参加する層の人はインターネットよりも、広報さがみはらを見ているように思うので、広報さがみはらや地域情報誌との連携をもっと図るべき。</p>
<p>・ レファレンスサービスの周知が足りない。多くの市民が訪れ、市民の多様な活動場となれる取組をお願いしたい。</p>
<p>・ レファレンス協同データベースに事例を登録することは、類似のテーマを調査したい利用者にとっては便利かもしれないが、まずはそうしたサービスがあることを周知する必要がある。また、これらの事例を活用して、図書館で調査できることにはなにがあるのか、インターネットでは調べられないことはなにかなど、図書館という公共サービスの利便性をもっとアピールしてもよいのではないかと考える。</p>
<p>・ 全国の図書館における取組と同様、ウェブを通じたサービスを積極的に拡充してもらいたい。電子書籍はもちろん、チャットやオンライン会議システムによるレファレンスサービスの試行、Twitter や Facebook の更なる活用などにも期待したい。</p>
<p>・ (1)「蔵書に関する指標」でも触れたが、市民の調べる力、情報を活用する力の向上を図る取組として、情報探索講習などを図書館が主催して積極的に行ってもらいたい。特に、リモートワークが推進される中、市民の身近な情報拠点である図書館は、広い意味でのビジネス支援が期待される。</p>

### 【来館に関する指標の総括】

多様な利用主体に開かれた公的機関として、より多くの市民が図書館を訪れ、目的に応じた利用ができることを目指し、利用環境の整備やサービスの充実に努めた。

成果指標の状況として、入館者数については減少傾向が続いており、レファレンスサービスの受付件数とおはなし会の参加者数については、令和元年度は主にコロナ禍の影響で減少したものの、中長期的にはゆるやかに増加してきた。

外部評価及び令和2年度第3回図書館協議会における意見として、臨時休館以前は、おはなし会をはじめ様々なイベントを実施してきたことや、レファレンスサービスが一定の役割を果たしていることへの評価があった。おはなし会

やレファレンスサービスについては、他機関やボランティアとの連携も図りながら、図書館の専門性を生かしたサービスとして充実に努めてきた。しかし、臨時休館中はサービスが停止したことから、今後はウェブも活用しながら、来館・非来館に関わらずサービスの機能を維持することや、代替のサービスを提供することを課題として取り組みたい。また、レファレンスサービスについては認知度向上が一貫した課題として指摘されており、図書館の基本的なサービスとして認識をしてもらえるよう、更なる周知の取組が必要である。

他方で、入館者数が貸出冊数と同様に減少が続いている点について、外部評価の意見として共通して見られたのが、図書館の魅力や価値をどこに置き、それをいかに広く発信して人々を引き付けていくのかという視点だった。図書館は市民が気軽に訪れ利用できる場所であると同時に、自治体を越えた広域的な利用が可能な施設でもある。近隣に様々な魅力を持つ図書館がある中で、『第2次基本計画』で定めた基本理念「人とまちの未来を育む図書館」を元に、本市の図書館の魅力や価値を提示するとともに、具体的な施策として実施し提供していくことで、より多くの市民に利用される施設を目指したい。

## 2 各館評価(定性評価)

## (1) 市立図書館

## 【平成 29 年度の主な事業】

- 事業 1 図書館利用の促進と読書普及に係る事業  
 事業 2 資料充実、並びに蔵書の活用に係る事業  
 事業 3 管理及び運営に係る事業  
 事業 4 図書館環境の整備に係る事業

事業 1	図書館利用の促進と読書普及に係る事業				
事業内容	各世代のニーズに応じて、講座やおはなし会等のイベントの開催、テーマを設けた展示等を通じて、利用者が求める情報を提供するとともに、それぞれの取組が利用につながるよう事業を実施する。				
実施内容		事業項目	実施事業	内容	結果
	子どもに向けた事業		児童書の収集及び提供	児童書、絵本、外国語絵本、紙芝居の収集及び提供	児童書の蔵書数 86,704 冊 児童書の貸出冊数 202,517 冊
			わらべうた会	2 歳までの親子への、わらべうたの実演と絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ 608 人
			おはなし会	2～6 歳の幼児と保護者、小学生を対象にしたおはなし会	参加者数 延べ 1,470 人
			かみしばい会	子どもを対象にした紙芝居の上演	参加者数 延べ 650 人
		子ども読書の日記念事業「キッズ フェスタ 2017」	図書館 4 館合同で、子ども向け落語、創作かみしばいの発表、人形劇、布絵本おはなし会などを開催	参加者数 延べ 399 人 (4 館合計)	

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果	
	子どもに向けた事業		聞こう！知ろう！世界のことは	外国語絵本（英語・ハンゲル語）の読み聞かせ、ブックトーク	参加者数 34人
			調べるっておもしろい！～図書館で調べて、新聞をつくらう～	「図書館と市民をつなぐ会・相模原」と共催で、小中学生を対象に、図書館資料を使って新聞を作成する講座を開催	参加者数 13人
			子ども読書スタンプラリー	図書館4館合同で、4歳～小学生を対象に、本の内容や図書館に関するクイズに答え、正解者に記念品を贈呈	参加者数 延べ1,209人 (4館合計)
			読んでみよう！書いてみよう！読書記録ノート	中学生以下を対象に、自分の読んだ本を記録できる「読書記録ノート」を作成し配布	配布冊数 91冊
			布えほん展	「布おもちゃサークル・ピノキオ」と共催で、布絵本・布おもちゃなどの展示と、布絵本・エプロンシアター <sup>42)</sup> などを使ったおはなし会を実施	参加者数 延べ298人
			図書館ウォッチ！～図書館でどんなところ？～	館内見学や装備作業の体験、16ミリ映画鑑賞を実施	参加者数 延べ20人
			つくってみよう！世界にひとつの万華鏡	万華鏡の作成とブックトークを実施	参加者数 11人

42 エプロンを舞台に見立てて演じ手が物語を展開させていく人形劇。

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	子どもに向けた事業		夏の大きなおはなし会	大型絵本の読み聞かせやエプロンシアターなどによるおはなし会
		街頭紙芝居	街頭紙芝居用自転車を活用して屋外で紙芝居等を実演	参加者数 30人
		聞こう！知ろう！世界のことは(英語・ドイツ語編)	外国語絵本(英語・ドイツ語)の読み聞かせ、ブックトーク	参加者数 47人
		冬の大きなおはなし会	人形劇、パネルシアター <sup>43</sup> 、大型紙芝居、大型絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ74人
		としょかん福袋	大人用は2冊、子ども用は3冊を1セットとし、中身のヒント付きの福袋に入れて貸出	60セット提供 (うち子ども用 30セット)
		みんなであそぼう 図書館でむかしのあそびを体験しよう！	福笑いやけん玉などの昔の遊びの体験と、昔話のおはなし会を実施	参加者数 延べ99人
		子育て支援事業「みて・さわって・よんで・あそぼう 布えほんひろば」	大野北公民館と連携し、手作りの布絵本や布おもちゃなどの展示と、布絵本などを使ったおはなし会を実施	参加者数 延べ351人
		手作り紙芝居講座「つくっちゃおう かみしばい! 第4幕」	アートラボはしもとと連携し、オリジナルストーリーによる紙芝居の制作及びその実演方法を学ぶ	参加者数 延べ45人
		春のおおきなおはなし会	人形劇、大型紙芝居、大型絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ92人

43 布を貼ったボード(パネル板)に、絵を貼ったり外したりしながら物語などを演じる。

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	子どもに向けた事業	特集展示		児童書をテーマにした特集展示を実施
リトルトントンの発行			子ども向け読書案内の作成・配布	発行回数 11 回
子どもに向けた事業( 中高生世代対象 )	市立図書館 YA 大使キャラクター選挙		YA コーナー新設に当たり、利用者の投票により YA 大使を決定	参加者数 延べ 700 人
	わいずとんとんの発行		中高生向け読書案内の作成・配布	発行回数 6 回
	中高生世代に向けた企画展示		YA コーナーで、テーマに関する投票を行なう参加型の展示を実施	実施回数 3 回
子どもに向けた事業 ( 相武台分館 )	児童書の収集及び提供		児童書、絵本、外国語絵本、紙芝居の収集及び提供	児童書の蔵書数 18,030 冊  児童書の貸出冊数 29,102 冊
	おはなし会		ボランティアグループとの共催による、小学校低学年までを対象にしたおはなし会	参加者数 延べ 628 人
	夏の大きなおはなし会		人形劇、絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ 62 人
子どもに向けた事業 ( 相武台分館 )	調べるっておもしろい! ~ 図書館で好きなことを調べてみよう~		図書館と市民をつなぐ会・相模原との共催で、小中学生を対象に、図書館資料を使ってポスターや冊子を作成する講座を実施	参加者数 9 人
	夏の木かげのかみしばいの会		ボランティアグループとの共催による、隣接公園での紙芝居の読み聞かせ	参加者数 延べ 55 人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	子どもに向けた事業 (相武台分館)		冬の大きなおはなし会	人形劇、絵本の読み聞かせなど
春の大きなおはなし会			人形劇、絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ 43 人
子どもの読書を支える人たちへの事業		団体貸出	小・中学校や保育園、ボランティア等へ、一定冊数を長期間貸出する制度	子ども資料団体 169 団体に貸出
		学校連携	調べ学習や職業体験等を受入。また、学校に出向しおはなし会を実施	【調べ学習】 3 校延べ 52 名  【職業体験】 12 校延べ 91 名  【施設見学】 8 校延べ 563 名  【出向サービス】 1 校 1 回
		学校支援図書セットの貸出	市内小中学校を対象に、テーマごとに 30 冊程度の資料を集めたセットを配送し貸出	24 校 延べ 43 回貸出
		児童書リサイクル事業	図書館 3 館合同で、市の児童関連施設等に児童書のリサイクル図書を提供	69 団体 提供資料 2,056 冊 (3 館合計)
		読書普及講座「おはなしボランティア基礎講座」	おはなし会を行なう上での基本的な技術等のノウハウを学ぶ講座(全 4 回)	参加者数 37 人
		子どもの読書を支える人たちへの事業 (相武台分館)	団体貸出	小・中学校や保育園、ボランティア等へ、一定冊数を長期間貸出する制度
一般利用者を対象とした事業	紙芝居劇場	大人を対象とした紙芝居の上演	参加者数 延べ 133 人	

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	一般利用者を対象とした事業		消しゴムはんこでクリスマスカードを作ろう～ちょっと早めのクリスマス～	ポップアップ式の2種類のクリスマスカードから好きなカードを選び、そこに押す消しゴムはんこの絵柄を製作
		第2回としょかん落語～ふちのべ座～	桜美林大学、中央大学の落語研究会の学生による落語会	参加者数 110人
		図書館クラシックのススメ～図書館で始める楽しいクラシック Vol.2～	講師による講義、クラシック鑑賞・聞き比べ、関連資料の紹介	参加者数 24人
		大人のためのおはなし会	大人向けの語りによるおはなし会	参加者数 延べ 73人
		第9回「図書館ひろば」	図書館と市民をつなぐ会との共催で、古本市、折り紙教室、図書修繕実演、点訳体験、おはなし会などを実施	参加者数 延べ 473人
		法律講座「終活～エンディングノートの準備から相続のいろはまで」	県行政書士会相模原支部所属の行政書士による、エンディングノート、遺産相続等に関する講義	参加者数 34人
		としょかん福袋 [P68再掲]	大人用は2冊、子ども用は3冊を1セットとし、中身のヒント付きの福袋に入れて貸出	60セット提供 (うち大人30セット)
		歴史講座「西郷隆盛の人間学」	大野北公民館と連携し、NHK大河ドラマ主人公に関する、専門家による講義を実施	参加者数 延べ 319人
		特集展示	一般利用者及び中高生世代に向けた展示を実施	展示回数 57回
		くるくるブックコーナー	リサイクル図書の提供	提供資料数 6,236冊
	図書館報 TOMTON の発行	一般向け図書館報の作成・配布	発行回数 4回	

内部評価	<p>利用促進及び読書普及に係る事業については、関係機関等との連携が定着し、各機関等が持つ専門性を生かしながら、様々な事業を実施することができた。</p> <p>ボランティア団体や関係機関とも協力しながら、子どもや子どもの読書を支える人たちへの事業を実施し、子どもの読書活動の推進に努めた。また、外部の専門家等とも連携し、図書館の持つ幅広い分野の資料を活用しながら広く一般に向けた事業を実施し、文化に触れる機会の提供や、日常的な課題に役立つ講座の提供に努めた。</p> <p>子ども向けの定例事業では、わらべうた会・おはなし会・かみしばい会いずれも参加者数が増加した。新しい取組として、外国語による絵本の読み聞かせを2回実施したほか、参加型の事業として、昔ながらの遊びを体験する参加型のイベントを実施した。中高生世代に向けた取組としては、昨年度新設した YA コーナーのキャラクター投票を行い、親しみのあるコーナーづくりに努めた。定例的な取組を継続するとともに、中高生世代への PR など、課題に対する新しい取組も行ないながら、引き続きサービスの充実を図りたい。</p> <p>子どもの読書を支える人たちへの事業では、学校に対する支援を継続的に実施した。また、学校や地域等で活動するおはなしボランティアへの支援として、おはなし会ボランティア基礎講座を実施した。</p> <p>一般向けの継続的な取組として、「法律講座」「歴史講座」「大人のためのおはなし会」等を実施した。いずれの事業も回数を重ねることで、図書館の事業として定着してきており、一定数の参加がある。さらに図書館が扱う幅広い分野の資料を活用し、利用者のニーズや社会的な課題に対する視点を取り入れながら、事業を入口として図書館利用へつながるような取組を展開したい。</p>
利用者アンケート	<p>アンケートの結果では、力を入れて取り組んでほしい事業として、「子どもに対する事業」が 36.7%で最も多く、次いで「高齢者に対する事業」( 36.3% )、「社会人に対する事業」( 32.2% ) の順となった。3項目で半数以上を占める傾向は昨年度と比べ変化は無いが、「社会人に対する事業」の割合はやや減少した。また、相模大野・橋本との比較では、「高齢者に対する事業」の割合が高い傾向にある。子ども向けの事業は明確に対象を定めて実施しているが、社会人や高齢者向けという視点での事業は実施していないため、ターゲットをしっかりと見定め事業を検討することが、今後の課題と考えられる。</p> <p>良いと思われる事業は、「おはなし会」が 44.0%で最も多く、次いで「歴史講座」( 40.3% )、「紙芝居劇場」( 39.5% ) の順となり、実施を重ねてきた事業が高い割合を占めた。</p> <p>なお、アンケート回答者の割合を年代別で見ると、60 歳代が 22.0%で最も多く、</p>

	<p>次いで 50 歳代 ( 17.1% )、40 歳代 ( 16.5% ) の順となり、昨年度と同傾向だった。</p> <p>事業参加者の満足度は高い傾向にあるが、図書館で事業を実施していることを知らないという意見も多く見られ、資料の貸出以外の事業やサービスの周知は継続的な課題である。また、読書会や調べる力を付ける講座、地域にゆかりのある作家の講演会など、具体的な事業の要望も寄せられた。アンケートの結果を踏まえ、今後の事業検討に生かし、図書館利用の促進に努めたい。</p>
--	---

事業2	資料充実、並びに蔵書の活用に係る事業																									
事業内容	図書購入費を有効に活用できるよう、講座や展示と連動した資料を購入するなど、様々な視点で選書を行い図書館資料の充実を図るとともに、今ある蔵書の利用が促進されるよう、書架の活用を図る																									
実施内容	<table border="1" data-bbox="373 506 1366 1458"> <thead> <tr> <th data-bbox="373 506 603 589">事業項目</th> <th data-bbox="603 506 831 589">実施事業</th> <th data-bbox="831 506 1098 589">内容</th> <th data-bbox="1098 506 1366 589">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="373 589 603 763">図書館資料の充実</td> <td data-bbox="603 589 831 763">資料の収集</td> <td data-bbox="831 589 1098 763">購入や寄贈図書の活用により、図書館資料の充実を図る</td> <td data-bbox="1098 589 1366 763">29年度蔵書冊数 348,888冊(図書) 12,579点(AV資料)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 763 603 1279" rowspan="3">郷土資料の充実</td> <td data-bbox="603 763 831 925">郷土資料の収集</td> <td data-bbox="831 763 1098 925">購入や寄贈による郷土資料の収集</td> <td data-bbox="1098 763 1366 925">29年度蔵書冊数 36,387点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 925 831 1093">公文書館・博物館連携展示</td> <td data-bbox="831 925 1098 1093">公文書館・博物館と連携し、郷土資料等を活用した展示を実施</td> <td data-bbox="1098 925 1366 1093">展示回数 7回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 1093 831 1279">庁内情報発信</td> <td data-bbox="831 1093 1098 1279">庁内各課機関と連携し、事業の周知と、郷土資料等の関連資料を展示</td> <td data-bbox="1098 1093 1366 1279">件数 10件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 1279 603 1458">書架内展示の実施</td> <td data-bbox="603 1279 831 1458">書架内展示・特集展示</td> <td data-bbox="831 1279 1098 1458">書架内や書架付近、各コーナーに展示スペースを設け、テーマ展示を実施</td> <td data-bbox="1098 1279 1366 1458">展示回数 47件</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	図書館資料の充実	資料の収集	購入や寄贈図書の活用により、図書館資料の充実を図る	29年度蔵書冊数 348,888冊(図書) 12,579点(AV資料)	郷土資料の充実	郷土資料の収集	購入や寄贈による郷土資料の収集	29年度蔵書冊数 36,387点	公文書館・博物館連携展示	公文書館・博物館と連携し、郷土資料等を活用した展示を実施	展示回数 7回	庁内情報発信	庁内各課機関と連携し、事業の周知と、郷土資料等の関連資料を展示	件数 10件	書架内展示の実施	書架内展示・特集展示	書架内や書架付近、各コーナーに展示スペースを設け、テーマ展示を実施	展示回数 47件
事業項目	実施事業	内容	結果																							
図書館資料の充実	資料の収集	購入や寄贈図書の活用により、図書館資料の充実を図る	29年度蔵書冊数 348,888冊(図書) 12,579点(AV資料)																							
郷土資料の充実	郷土資料の収集	購入や寄贈による郷土資料の収集	29年度蔵書冊数 36,387点																							
	公文書館・博物館連携展示	公文書館・博物館と連携し、郷土資料等を活用した展示を実施	展示回数 7回																							
	庁内情報発信	庁内各課機関と連携し、事業の周知と、郷土資料等の関連資料を展示	件数 10件																							
書架内展示の実施	書架内展示・特集展示	書架内や書架付近、各コーナーに展示スペースを設け、テーマ展示を実施	展示回数 47件																							
内部評価	<p>郷土資料の活用を促進する取組として、博物館及び公文書館と連携し、それぞれの企画展に合わせて図書館内でも展示を行った。図書館の郷土資料を展示するだけでなく、企画展に関連した展示物とともに紹介をすることで、郷土の歴史を知る取組を通じた、資料の効果的な活用を図ることができている。</p> <p>また、蔵書の利用を促進する取組として、年間を通じて時事に合わせたテーマや、世代の関心に応じた展示を積極的に実施した。書架内や書架付近など、利用者の目に触れやすい場所で、通常のカテゴリとは異なる資料の見せ方をすることで、新たな本との出会いが生まれるような工夫に努めた。</p> <p>今後も資料利用を促進するために、資料の利用状況や社会的なニーズなどを見極めながら、事業の実施や蔵書構築に努めたい。</p>																									

利用者 アンケート	<p>アンケートの自由意見では、図書館資料に関する内容が 74 件と最も多かった。これは昨年度と同傾向で、資料の充実や蔵書の活用について、利用者の関心の高さが伺われる結果となった。</p> <p>全体的な蔵書や新しい図書が少ないという意見が比較的多い中で、具体的には、新刊書の充実、専門的な資料の収集、CD・DVD 等の視聴覚資料の充実などの意見が見られた。また、資料を利用する館内の環境に対するものとして、読書や調べものができる場所の充実や、資料のレイアウトや配置の改善、子どもの本のコーナーのゾーニングに関する意見が寄せられた。</p> <p>購入や寄贈図書の活用による図書館資料の充実に引き続き努めるとともに、企画展示や蔵書情報の積極的な発信などの取組をあわせて行い、既存の資料の有効活用を図ることが課題である。</p>
--------------	---

事業3	管理及び運営に係る事業															
事業内容	図書館運営の向上と、施設管理における計画的な維持管理に取り組むことで、利用者が快適に図書館を利用できるよう努める。															
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="376 539 603 618">事業項目</th> <th data-bbox="603 539 831 618">実施事業</th> <th data-bbox="831 539 1098 618">内容</th> <th data-bbox="1098 539 1362 618">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="376 618 603 786">施設管理における計画的な維持管理</td> <td data-bbox="603 618 831 786">空調設備の維持管理</td> <td data-bbox="831 618 1098 786">快適な館内環境を保つため、空調設備用ポンプの計画修繕を実施</td> <td data-bbox="1098 618 1362 786">昨年度に引き続き、空調設備用ポンプの一部を修繕済み</td> </tr> <tr> <td data-bbox="376 786 603 1200" rowspan="2">図書館運営の向上</td> <td data-bbox="603 786 831 999">あなたの「声」</td> <td data-bbox="831 786 1098 999">館内の意見箱に投函された意見や要望に回答</td> <td data-bbox="1098 786 1362 999">件数 44 件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 999 831 1200">市民の声</td> <td data-bbox="831 999 1098 1200">市の広聴システムを通じた意見や要望の受付及び回答</td> <td data-bbox="1098 999 1362 1200">件数 45 件</td> </tr> </tbody> </table>	事業項目	実施事業	内容	結果	施設管理における計画的な維持管理	空調設備の維持管理	快適な館内環境を保つため、空調設備用ポンプの計画修繕を実施	昨年度に引き続き、空調設備用ポンプの一部を修繕済み	図書館運営の向上	あなたの「声」	館内の意見箱に投函された意見や要望に回答	件数 44 件	市民の声	市の広聴システムを通じた意見や要望の受付及び回答	件数 45 件
事業項目	実施事業	内容	結果													
施設管理における計画的な維持管理	空調設備の維持管理	快適な館内環境を保つため、空調設備用ポンプの計画修繕を実施	昨年度に引き続き、空調設備用ポンプの一部を修繕済み													
図書館運営の向上	あなたの「声」	館内の意見箱に投函された意見や要望に回答	件数 44 件													
	市民の声	市の広聴システムを通じた意見や要望の受付及び回答	件数 45 件													
内部評価	<p>図書館運営の向上に向けた取組を行うとともに、計画的な施設修繕により利用環境を維持することで、利用者がより快適に図書館を利用できるように努めた。</p> <p>施設管理では、経年劣化が著しい空調設備用ポンプの一部について、昨年度に引き続き更新修繕を実施した。施設の老朽化に伴う課題については、今後も計画的な修繕や運用面での工夫により、快適な利用環境の維持管理に努めたい。</p> <p>図書館運営の向上に向けた取組としては、館内に設置している意見箱や、市の広聴等を通して寄せられる意見・要望等を参考に、運営の改善に生かしている。今後も様々な手法で総合的に図書館運営について検証し、窓口業務を担う民間事業者が持つ専門性を運営に生かしながら、更なるサービスの充実を図りたい。</p>															
利用者アンケート	<p>アンケートの自由意見では、施設管理及び運営に係る内容について、館内の設備の充実や窓口における対応等の様々な意見が寄せられた。</p> <p>窓口業務については、丁寧な接遇や適切な調査支援について感謝を述べる意見がある一方で、窓口配置される人数の効率化、職員及びスタッフの専門性の向上に対する意見も見られた。</p> <p>また、施設管理については、閲覧スペースや座席の充実、本が探しやすい館内レ</p>															

	<p>イアウトの工夫、利用対象に配慮した閲覧スペースの住み分けなど、意見や要望が多く寄せられている。既存の施設や設備を適切に管理し利用環境を維持するとともに、サービスの向上や業務の効率化などについて継続的に検証し、より良い図書館運営を目指していきたい。</p>
--	--

事業4	図書館環境の整備に係る事業								
事業内容	図書館サービスの向上を目指した図書館環境の整備について計画を進める。								
実施内容	<table border="1" data-bbox="375 481 1364 943"> <thead> <tr> <th data-bbox="375 481 603 562">事業項目</th> <th data-bbox="603 481 831 562">実施事業</th> <th data-bbox="831 481 1098 562">内容</th> <th data-bbox="1098 481 1364 562">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="375 562 603 943">市立図書館の中央図書館としての再整備</td> <td data-bbox="603 562 831 943">本市図書館網の中心として、図書館施策を総合的に企画・推進する機能を備える中央図書館の整備について検討する</td> <td data-bbox="831 562 1098 943">中央図書館として持つべき機能の骨格を整理し、市立図書館の再整備を含んだ、「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画(案)」を公表し、パブリックコメントを実施した。</td> <td data-bbox="1098 562 1364 943">-</td> </tr> </tbody> </table>	事業項目	実施事業	内容	結果	市立図書館の中央図書館としての再整備	本市図書館網の中心として、図書館施策を総合的に企画・推進する機能を備える中央図書館の整備について検討する	中央図書館として持つべき機能の骨格を整理し、市立図書館の再整備を含んだ、「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画(案)」を公表し、パブリックコメントを実施した。	-
事業項目	実施事業	内容	結果						
市立図書館の中央図書館としての再整備	本市図書館網の中心として、図書館施策を総合的に企画・推進する機能を備える中央図書館の整備について検討する	中央図書館として持つべき機能の骨格を整理し、市立図書館の再整備を含んだ、「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画(案)」を公表し、パブリックコメントを実施した。	-						
内部評価	<p>「相模原市図書館基本計画」において主な施策とされている、図書館施策を総合的に企画・推進する機能を備える中央図書館の整備について検討した。</p> <p>中央図書館として持つべき機能の骨格を整理し、市立図書館の再整備を含んだ、「淵野辺駅南口周辺公共施設再整備・地域活性化基本計画(案)」を公表し、パブリックコメントを実施し、中央図書館機能に関するものをはじめとした、様々な意見をいただいた。</p> <p>今後は市民や施設利用者、学識経験者などの意見を伺いながら、中央図書館としての在り方や必要とする機能について、より具体的な検討を進めたい。</p>								
利用者アンケート	<p>アンケートでは、書庫の狭隘化に対する市内図書館全体での書庫の設置や、職員(司書)のレベルアップなど、中央図書館機能として想定される資料の保存機能や、職員の専門性向上に関する意見が見られた。また、電子書籍や自動貸出機の導入など、先進的なサービスへの要望も寄せられた。アンケートでいただいた意見や要望については、今後の中央図書館機能についての具体的な検討に生かしていきたい。</p>								

## 【平成 30 年度の主な事業】

- 事業 1 資料充実と利用の促進に係る事業  
 事業 2 図書館システム更新によるサービス向上に係る取組  
 事業 3 次期図書館基本計画及び子ども読書活動推進計画の策定に向けた取組  
 事業 4 市立図書館の中央図書館としての再整備に係る取組

事業 1	資料充実と利用の促進に係る事業			
事業内容	利用者のニーズを踏まえ蔵書の充実を図るとともに、図書館利用の促進につながるような講座やおはなし会等のイベント及び図書展示を実施する。			
実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
子どもに向けた事業		児童書の収集及び提供	児童書、絵本、外国語絵本、紙芝居の収集及び提供	児童書の蔵書数 87,474 冊  児童書の貸出冊数 210,947 冊
		わらべうた会	2 歳までの親子への、わらべうたの実演と絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ 572 人
		おはなし会	2～6 歳の幼児と保護者、小学生を対象にしたおはなし会	参加者数 延べ 1,177 人
		かみしばい会	子どもを対象にした紙芝居の上演	参加者数 延べ 540 人
		子ども読書の日記念事業「キッズ フェスタ 2018」	図書館 4 館合同で、子ども向け落語、創作かみしばいの発表、人形劇、布絵本おはなし会などを開催	参加者数 延べ 402 人 (4 館合計)
		調べるっておもしろい!～図書館で調べて、新聞をつくろう～	「図書館と市民をつなぐ会・相模原」と共催で、小中学生を対象に、図書館資料を使って新聞を作成する講座を開催	参加者数 11 人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果	
	子どもに向けた事業		子ども読書スタンプラリー	図書館4館合同で、4歳～小学生を対象に、本の内容や図書館に関するクイズに答え、正解者に記念品を贈呈	参加者数 延べ1,282人 (4館合計)
			読んでみよう！ 書いてみよう！ 読書記録ノート	中学生以下を対象に、自分の読んだ本を記録できる「読書記録ノート」を作成し配布	配布冊数 111冊
			布えほん展	「布おもちゃサークル・ピノキオ」と共催で、布絵本・布おもちゃなどの展示と、布絵本・エプロンシアターなどを使ったおはなし会を実施	参加者数 延べ220人
			図書館ウォッチ！～図書館で どんなところ？～	館内見学や装備作業の体験、16ミリ映画鑑賞を実施	参加者数 延べ10人
			風に向かって走る車～ウインドカーをつくらう！	ウインドカーの作成とブックトーク	参加者数 14人
			夏の大きなおはなし会	大型絵本の読み聞かせやエプロンシアターなどによるおはなし会	参加者数 延べ33人
			街頭紙芝居	街頭紙芝居用自転車を活用して屋外で紙芝居等を実演	参加者数 31人
		冬の大きなおはなし会	人形劇、パネルシアター、大型紙芝居、大型絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ92人	

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	子どもに向けた事業		としょかん福袋	大人用は2冊、子ども用は3冊を1セットとし、中身のヒント付きの福袋に入れて貸出
		みんなであそぼう 図書館でむかしのあそびを体験しよう!	福笑いやけん玉などの昔の遊びの体験と、昔話のおはなし会を実施	参加者数 延べ94人
		子育て支援事業「みて・さわって・よんで・あそぼう 布えほんひろば」	大野北公民館と連携し、手作りの布絵本や布おもちゃなどの展示と、布絵本などを使ったおはなし会を実施	参加者数 延べ376人
		手作り紙芝居講座「つくっちゃおう かみしばい! 第5幕」	アートラボはしもとと連携し、オリジナルストーリーによる紙芝居の制作及びその実演方法を学ぶ	参加者数 延べ40人
		春のおおきなおはなし会	人形劇、大型紙芝居、大型絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ142人
		特集展示	児童書をテーマにした特集展示を実施	件数 10件
		リトルトントンの発行	子ども向け読書案内の作成・配布	発行回数 7回
子どもに向けた事業(中高生世代対象)		わいずとんとんの発行	中高生向け読書案内の作成・配布	発行回数 5回
		中高生世代に向けた企画展示	YAコーナーで、テーマに関する投票を行なう参加型の展示を実施	実施回数 4回
		桜美林大学図書館読書運動プロジェクト実行委員会との連携展示	YA世代により近い大学生による展示やコーナーづくり	実施回数 3回

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	子どもに向けた事業(中高生世代対象)	YA コーナーの周知及びコーナーリニューアル	YA コーナーの活性化を図るため、コーナーリニューアルを実施	
子どもに向けた事業 (相武台分館)	児童書の収集及び提供	児童書、絵本、外国語絵本、紙芝居の収集及び提供		児童書の蔵書数 18,100 冊 児童書の貸出冊数 26,888 冊
	おはなし会	ボランティアグループとの共催による、小学校低学年までを対象にしたおはなし会		参加者数 延べ 552 人
	夏の大きなおはなし会	人形劇、絵本の読み聞かせなど		参加者数 延べ 50 人
	夏の木かげのかみしばいの会	ボランティアグループとの共催による、隣接公園での紙芝居の読み聞かせ		参加者数 延べ 54 人
	冬の大きなおはなし会	人形劇、絵本の読み聞かせなど		参加者数 延べ 89 人
	春の大きなおはなし会	人形劇、絵本の読み聞かせなど		参加者数 延べ 89 人
	子どもの読書を支える人たちへの事業	団体貸出	小・中学校や保育園、ボランティア等へ、一定冊数を長期間貸出する制度	
学校連携		調べ学習や職業体験等を受入。また、学校に出向しおはなし会を実施		【調べ学習】 2 校延べ 8 名 【職業体験】 9 校延べ 30 名 【施設見学】 7 校延べ 610 名 【出向サービス】 2 校 2 回

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	子どもの読書を支える人たちへの事業	学校支援図書セットの貸出	市内小中学校を対象に、テーマごとに30冊程度の資料を集めたセットを配送し貸出	19校 延べ30回貸出
児童書リサイクル事業		図書館3館合同で、市の児童関連施設等に児童書のリサイクル図書を提供	30団体 提供資料 1,375冊 (3館合計)	
読み聞かせ専用資料の貸出サービス		読み聞かせ専用資料(大型絵本・大型紙芝居・布絵本)の貸出	所蔵数 149冊 貸出冊数 214冊	
子どもの読書を支える人たちへの事業 (相武台分館)	団体貸出	小・中学校や保育園、ボランティア等へ、一定冊数を長期間貸出する制度	子ども資料団体 11団体に貸出	
一般利用者を対象とした事業	一般書の収集及び提供	一般の収集及び提供	一般書の蔵書数 263,338冊  一般書の貸出冊数 366,041冊	
	紙芝居劇場	大人を対象とした紙芝居の上演	参加者数 延べ173人	
	第3回としょかん落語～ふちのべ座～	桜美林大学、中央大学の落語研究会の学生による落語会	参加者数 101人	
	図書館クラシックのススメ～図書館で始める楽しいクラシック Vol.3～	講師による講義、クラシック鑑賞・聞き比べ、関連資料の紹介	参加者数 29人	
	読書普及講座 西村繁男さん講演会「人と出会って絵本が生まれる」	市内在住の絵本作家西村繁男さんによる講演会	参加者数 69人	
	大人のためのおはなし会	大人向けの語りによるおはなし会	参加者数 延べ72人	

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	一般利用者を対象とした事業	第 10 回「図書館ひろば」	図書館と市民をつなぐ会との共催で、古本市、折り紙教室、図書修繕実演、点訳体験、おはなし会などを実施	参加者数 延べ 468 人
		法律講座 「よくわかる！ 遺産相続と遺言状の基礎知識」	県行政書士会相模原支部所属の行政書士による、遺産相続や遺言書作成等に関する講義	参加者数 37 人
		としょかん福袋 [P81 再掲]	大人用は 2 冊、子ども用は 3 冊を 1 セットとし、中身のヒント付きの福袋に入れて貸出	60 セット提供 (うち大人 30 セット)
		歴史講座「小田原北条氏と小田原城のすべて」	大野北公民館と連携し、郷土史の知識を深める専門家による講義を実施	参加者数 延べ 302 人
		特集展示	一般利用者に向けた展示を実施	展示回数 35 回
		博物館・公文書館との連携展示	公文書館・博物館と連携し、郷土資料等を活用した展示を実施	展示回数 7 回
		庁内情報図書館内展示 <sup>44</sup>	庁内各課機関と連携し、事業の周知と、郷土資料等の関連資料を展示	展示回数 11 回
		図書等リサイクル事業 <sup>45</sup>	リサイクル図書の提供	提供資料数 7,759 冊
図書館報 TOMTON の発行		一般向け図書館報の作成・配布	発行回数 4 回	

44 市が実施する事業について、担当課からの依頼を受け各図書館内の展示スペースを活用し PR を行うもの。事業に関連した資料や、ブックリストの作成等を行っている。

45 図書館で不用になった図書等と、市民から寄贈された図書を利用者に提供している。

内部評価	<p>利用者の多様な情報要求に応えるため蔵書の充実を図るとともに、大野北公民館や博物館、公文書館等の庁内の機関や、近隣大学、ボランティア等と連携しながら、読書普及の取組や各世代のニーズや課題に応じた様々な事業を実施した。</p> <p>蔵書の充実については、蔵書数は市立図書館としては微増となった。また、貸出冊数は平成 25 年度以降前年度比で減少していたが、平成 30 年度は増加に転じた。来館者数は減少したが、企画展示などの資料利用促進の取組を継続的に行うことで、貸出者数の増加につながり、貸出冊数もそれに応じて増加したと考えられる。</p> <p>講座や図書展示等については、新たな取組として、桜美林大学図書館読書運動プロジェクト実行委員会との連携展示を開始した。中高生世代により近い目線で選書やコーナーづくりを行い、世代特有の関心や課題に寄り添うことで、図書館の活用につなげることを目指した。13～18 歳の貸出冊数はわずかではあるが増加に転じており、今後も取組を継続し効果を検証していきたい。</p> <p>また、読書普及の取組として、市内在住の絵本作家である西村繁男さんをお招きし、講演会を開催した。絵本作家としての創作活動や、地域における文庫活動などのお話を伺うとともに、質疑応答による参加者との交流も行われ、アンケートでは満足度が高かった。作家による講演会は「事業に関するアンケート」でも毎年要望があり、図書館未利用者も含め、市民の関心が非常に高いと思われる。また、講演を聞いて生まれる作家や作品への関心に、図書館が持つ資料のストックを生かして応えることができる良い機会でもある。今後も読書や図書館利用の裾野を拡げる取組として、講演会等の文化的事業の企画を検討したい。</p> <p>子どもや一般向けの継続的な取組としては、おはなし会、「法律講座」、「歴史講座」などのほか、中央大学・桜美林大学と連携した「としょかん落語」や、体験と読み聞かせを合わせた「みんなであそぼう 図書館でむかしのあそびを体験しよう！」など、ユニークな取組でも参加者が徐々に定着してきている。</p> <p>引き続き蔵書の充実と利用促進に努めるとともに、庁内機関等との連携のネットワークを活用しながら、図書館利用者に留まらず、広く市民の情報要求や知的関心、地域の課題等に資する取組を展開したい。</p>
利用者アンケート	<p>「事業に関するアンケート」の結果では、力を入れて取り組んでほしい事業として、「高齢者を対象とした事業」が 41.4% で最も多く、次いで「社会人を対象とした事業」(32.6%)、「子どもを対象とした事業」(31.3%) の順となった。3 項目の回答数が多い傾向に変化は無いが、「高齢者を対象とした事業」の増加が大きく、相模大野(19.7%)・橋本(24.5%)と比較しても高い割合にある。なお、アンケート回答者の割合を年代別で見ると、60 歳代が 21.2% で最も多く、次いで 70 歳代(19.9%)、40 歳代(17.3%) の順となった。</p>

	<p>各世代のニーズや課題に対する取組の中で、例えば「法律講座」は、シニア世代の関心が高いと思われる遺産相続や遺言状の作成をテーマとして実施した。シニア世代に向けた事業に限らず、各世代のライフステージに応じた事業展開や蔵書構築を検討し実施していくことが今後の課題と考えられる。</p> <p>事業の認知度を聞く設問では、「おはなし会」が48.9%で最も多く、次いで「展示による行政情報の発信」(22.5%)、「シニア世代のための本のコーナー」(18.9%)の順となった。定例で実施してきた「おはなし会」の認知度が比較的高い一方で、それ以外の事業は3割未満に留まっていることから、各事業を周知して、貸出以外の取組についても利用促進を図り、市民の生涯学習の機会につなげることが課題である。</p> <p>自由意見・要望では、図書館資料に関する意見が例年通り最も多く、多様な資料に対するニーズが伺われた。次いで、施設に関する意見が多かった。アンケートの結果を踏まえ、今後の蔵書構築や事業検討に生かし、図書館利用の促進に努めたい。</p>
--	---

事業2	図書館システム更新によるサービス向上に係る取組																			
事業内容	資料の検索機能の向上、読書履歴の記録機能の追加などサービスの充実に向けシステム開発を行うとともに、図書館ホームページの刷新に係る作業を進める。																			
実施内容	<table border="1" data-bbox="373 483 1366 1207"> <thead> <tr> <th data-bbox="373 483 603 562">事業項目</th> <th data-bbox="603 483 831 562">実施事業</th> <th data-bbox="831 483 1098 562">内容</th> <th data-bbox="1098 483 1366 562">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="373 562 603 768">システム開発</td> <td data-bbox="603 562 831 768">システム開発事業者及び機器調達事業者の選定</td> <td data-bbox="831 562 1098 768">システム開発は総合評価方式による一般競争入札<sup>46</sup>、機器調達は一般競争入札による選定を実施</td> <td data-bbox="1098 562 1366 768">7月に開発事業者、12月に機器調達事業者を決定した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 768 603 1003"></td> <td data-bbox="603 768 831 1003">システム構築</td> <td data-bbox="831 768 1098 1003">新システム及び新機器の構築を実施</td> <td data-bbox="1098 768 1366 1003">3月末までに、システムについては設計から試験までの工程、機器については設定までの工程を進めた。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 1003 603 1207">ホームページの刷新</td> <td data-bbox="603 1003 831 1207">ホームページ構築</td> <td data-bbox="831 1003 1098 1207">新ホームページの構築を実施</td> <td data-bbox="1098 1003 1366 1207">基本的なホームページの構成や各ページの内容、デザイン等を検討し、構築を進めた。</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	システム開発	システム開発事業者及び機器調達事業者の選定	システム開発は総合評価方式による一般競争入札 <sup>46</sup> 、機器調達は一般競争入札による選定を実施	7月に開発事業者、12月に機器調達事業者を決定した。		システム構築	新システム及び新機器の構築を実施	3月末までに、システムについては設計から試験までの工程、機器については設定までの工程を進めた。	ホームページの刷新	ホームページ構築	新ホームページの構築を実施	基本的なホームページの構成や各ページの内容、デザイン等を検討し、構築を進めた。
事業項目	実施事業	内容	結果																	
システム開発	システム開発事業者及び機器調達事業者の選定	システム開発は総合評価方式による一般競争入札 <sup>46</sup> 、機器調達は一般競争入札による選定を実施	7月に開発事業者、12月に機器調達事業者を決定した。																	
	システム構築	新システム及び新機器の構築を実施	3月末までに、システムについては設計から試験までの工程、機器については設定までの工程を進めた。																	
ホームページの刷新	ホームページ構築	新ホームページの構築を実施	基本的なホームページの構成や各ページの内容、デザイン等を検討し、構築を進めた。																	
内部評価	<p>システム開発については、4月から選定の準備を行い、7月に開発事業者を決定した。8月以降は、新しい機能も含めた新システムの仕様について、システム開発ワーキング等による検討を定期的に行いながら、設計等の工程を進めるとともに、新システムに応じた機器についても選定等の工程を予定通り進めることができた。WebOPACの機能充実など、現行システムにおいて課題と捉えてきた利用者サービスに係る部分を中心に、新しい機能の活用も検討しながら、サービスの向上に向けて構築作業を進めることができた。</p> <p>図書館ホームページの刷新については、新たなホームページの構築に向けて、基本となる構成やデザイン、各ページの内容等の検討を継続的に実施した。スマートフォンへの対応や更新作業の効率化など、現行ホームページで課題とされてきた点を踏まえながら検討を進め、トップページ等の主要なページのデザインや枠組を作成することができた。(新システム及び新ホームページ本稼働 令和元年6月1日)</p>																			

46 総合評価方式による一般競争入札 価格だけでなく、品質を高めるための技術やノウハウ等も含めて総合的に評価し、落札者を決定する入札方式。

<p>利用者 アンケート</p>	<p>図書館システムの機能については、WebOPAC 及び OPAC の利便性向上についての意見が寄せられた。ログインすることで資料の予約が続けて行える仕組みや、読書履歴の活用など、資料検索及び予約、マイ・ライブラリーログインの機能についての充実が求められた。WebOPAC 及び OPAC の利便性向上については課題の一つとして捉えており、新システムで実現できる機能の検討を進めた。</p> <p>ホームページについては、スマートフォン用のサイトがあると使いやすいという意見が寄せられた。現状のホームページの画面はパソコン・フィーチャーフォン用の2種類で、スマートフォンのユーザーはパソコン用の画面を閲覧しなければならないため、画面が見にくいなどの課題がある。ホームページの刷新に当たっては、スマートフォン等様々なデバイスへの対応を課題の一つとして捉え、画面のデザインや構成の検討を進めた。</p> <p>図書館システム及びホームページについては、情報通信技術の発達により、現行システム導入時と比較すると新たな機能や仕組みが出てきている。特にホームページ等の Web によるサービスや情報の提供については、利用者も様々な形態のサービスに触れていることから、より利便性が求められることが考えられる。今後も利用者の要望や最新の技術動向に留意しながら、図書館の利用につながるようなシステム及びホームページの構築及び運用に努めたい。</p>
----------------------	---

事業3	次期図書館基本計画及び子ども読書活動推進計画の策定に向けた取組																									
事業内容	現計画が平成31年度末で終了することから、現状や課題の整理及びアンケート等によるニーズ把握を行うとともに、図書館協議会等に諮りながら、次期計画の策定作業を進める。																									
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="373 528 603 611">事業項目</th> <th data-bbox="603 528 831 611">実施事業</th> <th data-bbox="831 528 1098 611">内容</th> <th data-bbox="1098 528 1364 611">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="373 611 603 1328" rowspan="4">次期図書館基本計画の策定</td> <td data-bbox="603 611 831 815">アンケートによる意見聴取</td> <td data-bbox="831 611 1098 815">市民や図書館利用者に対し、「市政モニター」及び「利用者アンケート」により意見を聴取</td> <td data-bbox="1098 611 1364 981" rowspan="2">意見聴取の結果を集計・分析し、庁内の検討会議や図書館協議会における策定作業の基礎資料とした。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 815 831 981">関係施設等へのヒアリング</td> <td data-bbox="831 815 1098 981">多文化サービス、障害者サービス等について、関係施設等にヒアリングを実施</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 981 831 1184">庁内検討組織における検討</td> <td data-bbox="831 981 1098 1184">庁内検討組織において、計画の策定作業を実施</td> <td data-bbox="1098 981 1364 1184">現状や課題を踏まえ、次期計画の方向性について整理を行い、策定作業を進めた。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 1184 831 1328">図書館協議会における協議及び諮問</td> <td data-bbox="831 1184 1098 1328">次期図書館基本計画について諮問し、図書館協議会で協議</td> <td data-bbox="1098 1184 1364 1328">11月の第2回図書館協議会にて諮問した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 1328 603 1771" rowspan="2">次期子ども読書活動推進計画の策定</td> <td data-bbox="603 1328 831 1532">アンケートによる意見聴取</td> <td data-bbox="831 1328 1098 1532">児童・生徒、学校関係者、保護者等に対し、アンケートにより意見を聴取</td> <td data-bbox="1098 1328 1364 1771" rowspan="2">意見聴取の結果を集計・分析し、庁内の検討会議や図書館協議会における策定作業の基礎資料とした。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 1532 831 1771">関係団体等へのヒアリング</td> <td data-bbox="831 1532 1098 1771">ボランティア団体、高校生ボランティア、特別支援学校及び学級に対し、ヒアリングにより意見を聴取</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	次期図書館基本計画の策定	アンケートによる意見聴取	市民や図書館利用者に対し、「市政モニター」及び「利用者アンケート」により意見を聴取	意見聴取の結果を集計・分析し、庁内の検討会議や図書館協議会における策定作業の基礎資料とした。	関係施設等へのヒアリング	多文化サービス、障害者サービス等について、関係施設等にヒアリングを実施	庁内検討組織における検討	庁内検討組織において、計画の策定作業を実施	現状や課題を踏まえ、次期計画の方向性について整理を行い、策定作業を進めた。	図書館協議会における協議及び諮問	次期図書館基本計画について諮問し、図書館協議会で協議	11月の第2回図書館協議会にて諮問した。	次期子ども読書活動推進計画の策定	アンケートによる意見聴取	児童・生徒、学校関係者、保護者等に対し、アンケートにより意見を聴取	意見聴取の結果を集計・分析し、庁内の検討会議や図書館協議会における策定作業の基礎資料とした。	関係団体等へのヒアリング	ボランティア団体、高校生ボランティア、特別支援学校及び学級に対し、ヒアリングにより意見を聴取
事業項目	実施事業	内容	結果																							
次期図書館基本計画の策定	アンケートによる意見聴取	市民や図書館利用者に対し、「市政モニター」及び「利用者アンケート」により意見を聴取	意見聴取の結果を集計・分析し、庁内の検討会議や図書館協議会における策定作業の基礎資料とした。																							
	関係施設等へのヒアリング	多文化サービス、障害者サービス等について、関係施設等にヒアリングを実施																								
	庁内検討組織における検討	庁内検討組織において、計画の策定作業を実施	現状や課題を踏まえ、次期計画の方向性について整理を行い、策定作業を進めた。																							
	図書館協議会における協議及び諮問	次期図書館基本計画について諮問し、図書館協議会で協議	11月の第2回図書館協議会にて諮問した。																							
次期子ども読書活動推進計画の策定	アンケートによる意見聴取	児童・生徒、学校関係者、保護者等に対し、アンケートにより意見を聴取	意見聴取の結果を集計・分析し、庁内の検討会議や図書館協議会における策定作業の基礎資料とした。																							
	関係団体等へのヒアリング	ボランティア団体、高校生ボランティア、特別支援学校及び学級に対し、ヒアリングにより意見を聴取																								

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	次期子ども読書活動推進計画の策定	庁内検討組織における検討	庁内検討組織において、計画の策定作業を実施	現状や課題を踏まえ、次期計画の方向性について整理を行い、策定作業を進めた。
	図書館協議会における意見聴取	次期計画策定に向けて意見聴取	次期計画について意見を伺った。	
内部評価	<p>庁内検討組織を設置して、現行計画における取組状況や課題を整理し、次期計画における方向性について検討を行った。検討内容は図書館協議会に報告し意見をいただくとともに、次期図書館基本計画については、図書館協議会へ諮問した。</p> <p>また、計画策定に係る意見聴取として、アンケート及び関係団体等へのヒアリングを実施し、計画策定の基礎資料とした。</p> <p>次期図書館基本計画については、「市政モニターアンケート」で「図書館サービスについて」をテーマに、図書館未利用者も含めて意見を伺った。また、図書館及び公民館等図書室にて「利用者アンケート」を実施した。ヒアリングでは、多文化サービスや障害者サービス等の充実の観点から関連施設を訪問し、施設利用者のニーズや図書館への要望等に関する意見を伺った。</p> <p>次期子ども読書活動推進計画については、児童・生徒、学校関係者、保護者、関連施設にそれぞれアンケートを実施するとともに、ボランティア団体等へのヒアリングを行い子どもの読書活動に関する取組を様々な角度から調査した。</p> <p>平成30年度に検討した計画の方向性に基づき、アンケートやヒアリングで聴取した意見も参考としながら、令和元年度末に向けて計画の策定を進める。</p>			
利用者アンケート	<p>「事業に関するアンケート」では、蔵書やサービスの充実に関する意見などが寄せられている。また、力を入れて取り組んでほしい事業として、市立図書館では高齢者や社会人、子どもを対象とした事業への要望が多かった。次期図書館基本計画においても、より多様なニーズへのきめ細かい対応を課題と捉えており、現状の取組を評価し結果を分析しながら、新しい計画に沿った取組を今後検討し実施していく必要がある。</p> <p>子どもの読書活動に関連する意見としては、読書通帳の発行による読書機会の充実や、子どもとゆっくり本を選べる空間への要望などが寄せられた。読書通帳につ</p>			

いては、夏休みの時期に読書記録ノートを配布している。

子どもや子どもの読書に関わる人々を対象とした取組については、これまで子ども読書活動推進計画に基づき、関係各課と協力しながら様々な取組を実施してきた。市立図書館においては、定例のおはなし会をはじめ、大野北公民館と連携した子育て支援事業や、アートラボはしもとと連携した手作り紙芝居講座などの取組を実施した。今後も関係各課等との連携を深めながら、図書館が持つ蔵書や専門性をより効果的に活用し、子どもの読書活動の推進に取り組みたい。

事業4	市立図書館の中央図書館としての再整備に係る取組															
事業内容	中央図書館としての再整備に係る諸課題を整理するとともに、必要とする具体的機能について検討を行う。															
実施内容	<table border="1" data-bbox="373 483 1366 1144"> <thead> <tr> <th data-bbox="373 483 603 566">事業項目</th> <th data-bbox="603 483 833 566">実施事業</th> <th data-bbox="833 483 1098 566">内容</th> <th data-bbox="1098 483 1366 566">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="373 566 603 837">市立図書館の中央図書館としての再整備</td> <td data-bbox="603 566 833 837">アンケートによる意見聴取</td> <td data-bbox="833 566 1098 837">「市政モニターアンケート」及び「利用者アンケート」において、市立図書館の中央図書館としての再整備に係る意見を聴取</td> <td data-bbox="1098 566 1366 837">意見聴取の結果を、次期図書館基本計画の基礎資料とした。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 837 603 1144"></td> <td data-bbox="603 837 833 1144">図書館協議会及び庁内検討組織による検討</td> <td data-bbox="833 837 1098 1144">中央図書館としての在り方や必要とする機能について、次期図書館基本計画策定に係る取組の中で、図書館協議会や庁内検討組織において検討</td> <td data-bbox="1098 837 1366 1144">現状や課題を踏まえ、次期計画の方向性について整理を行い、策定作業を進めた。</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	市立図書館の中央図書館としての再整備	アンケートによる意見聴取	「市政モニターアンケート」及び「利用者アンケート」において、市立図書館の中央図書館としての再整備に係る意見を聴取	意見聴取の結果を、次期図書館基本計画の基礎資料とした。		図書館協議会及び庁内検討組織による検討	中央図書館としての在り方や必要とする機能について、次期図書館基本計画策定に係る取組の中で、図書館協議会や庁内検討組織において検討	現状や課題を踏まえ、次期計画の方向性について整理を行い、策定作業を進めた。
事業項目	実施事業	内容	結果													
市立図書館の中央図書館としての再整備	アンケートによる意見聴取	「市政モニターアンケート」及び「利用者アンケート」において、市立図書館の中央図書館としての再整備に係る意見を聴取	意見聴取の結果を、次期図書館基本計画の基礎資料とした。													
	図書館協議会及び庁内検討組織による検討	中央図書館としての在り方や必要とする機能について、次期図書館基本計画策定に係る取組の中で、図書館協議会や庁内検討組織において検討	現状や課題を踏まえ、次期計画の方向性について整理を行い、策定作業を進めた。													
内部評価	<p data-bbox="373 1176 1383 1317">「市政モニターアンケート」及び「利用者アンケート」において、市立図書館の中央図書館としての再整備に係る意見の聴取を行い、市民の意見を把握することができた。</p> <p data-bbox="373 1339 1383 1529">また、中央図書館としての在り方や必要とする機能について、次期図書館基本計画策定に係る取組の中で、図書館協議会や庁内検討組織において検討を行った。図書館協議会において、中央図書館の目指す姿や持つべき機能等に係る議論を行い、方向性を定めることができた。</p> <p data-bbox="373 1552 1383 1693">今後は、中央図書館としての在り方及び必要とする機能について、アンケートの結果等を踏まえるとともに、図書館協議会の専門的な知見に基づいた意見をいただきながら検討を進め、次期図書館基本計画（令和元年度末策定）において定める。</p> <p data-bbox="373 1715 1383 1796">また、施設面の整備については、「淵野辺駅南口周辺まちづくり事業」の取組の中で検討を進める。</p>															

利用者 アンケート	<p>「事業に関するアンケート」では、施設のバリアフリー化、気軽に本が読める読書スペースや閲覧席の充実、駐車場の混雑緩和など、施設に関する意見が寄せられた。機能やサービス面においては、資料の充実に関する意見が最も多く、調べものコーナーにある参考図書や専門書、視聴覚資料、新刊図書全般の充実など、具体的な意見が寄せられている。</p> <p>アンケート結果を踏まえ、今後の検討に生かしていきたい。</p>
--------------	---

## 【令和元年度の主な事業】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館となり、3月17日から予定していた利用者アンケートによる意見聴取は実施できなかったため、図書館による内部評価のみ記載している。

- 事業1 図書館資料の充実と利用の促進  
 事業2 図書館システム更新によるサービス向上  
 事業3 次期図書館基本計画及び子ども読書活動推進計画の策定  
 事業4 市立図書館の中央図書館としての再整備に向けた取組

事業1	図書館資料の充実と利用の促進			
事業内容	多様な利用者のニーズを踏まえた図書館資料の充実を図るとともに、図書の特集展示や講座、広報等の実施による図書館利用の促進を図る。			
実施内容				
	事業項目	実施事業	内容	結果
	子どもに向けた事業	児童書の収集及び提供	児童書、絵本、外国語絵本、紙芝居の収集及び提供	児童書の蔵書数 87,136冊 児童書の貸出冊数 192,231冊
		わらべうた会	2歳までの親子への、わらべうたの実演と絵本の読み聞かせなど	参加者数 延べ473人
		おはなし会	2～6歳の幼児と保護者、小学生を対象にしたおはなし会	参加者数 延べ908人
かみしばい会		子どもを対象にした紙芝居の上演	参加者数 延べ550人	
子ども読書の日記念事業「キッズフェスタ2019」		図書館4館合同で、子ども向け落語、創作かみしばいの発表、人形劇、布絵本おはなし会などを開催	参加者数 延べ537人 (4館合計)	

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	子どもに向けた事業		調べるっておもしろい! ~ 図書館で調べて、新聞をつくろう! ~	「図書館と市民をつなぐ会・相模原」と共催で、小中学生を対象に、図書館資料を使って新聞を作成する講座を開催
		子ども読書スタンプラリー	図書館 4 館合同で、4 歳~小学生を対象に、本の内容や図書館に関するクイズに答え、正解者に記念品を贈呈	参加者数 延べ 967 人 (4 館合計)
		読んでみよう! 書いてみよう! 読書記録ノート	中学生以下を対象に、自分の読んだ本を記録できる「読書記録ノート」を作成し配布	配布冊数 137 冊
		布えほん展	「布おもちゃサークル・ピノキオ」と共催で、布絵本・布おもちゃなどの展示と、布絵本・エプロンシアターなどを使ったおはなし会を実施	参加者数 延べ 258 人 (相模大野、橋本でも順次実施)
		図書館ウォッチ! ~ 図書館でどんなところ? ~	館内見学や装備作業の体験、16 ミリ映画鑑賞を実施	参加者数 20 人
		つくって飛ばそう! ハングライダー	ハングライダーの作成とブックトーク	参加者数 15 人
		夏の大きなおはなし会	素話のほか、大型絵本、大型紙芝居、手遊びなどの実演	参加者数 延べ 33 人
		街頭紙芝居	街頭紙芝居用自転車を活用して屋外で紙芝居等を実演	参加者数 32 人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	子どもに向けた事業		冬の大きなおはなし会	人形劇、大型絵本の読み聞かせ、手遊びなどの実演
		としょかん福袋	大人用は 2 冊、子ども用は 3 冊を 1 セットとし、中身のヒント付きの福袋に入れて貸出	70 セット提供 (うち子ども用 35 セット)
		みんなであそぼう 図書館でむかしのあそびを体験しよう!	福笑いやけん玉などの昔の遊びの体験と、昔話のおはなし会を実施	参加者数 延べ 112 人
		イベント「えんぱーく」への出展 【新規】	中央区の街区公園の利用啓発イベントに出展し、本の展示とおはなし会を実施	
		子育て支援事業「みて・さわって・よんで・あそぼう 布えほんひろば」	大野北公民館と連携し、手作りの布絵本や布おもちゃなどの展示と、布絵本などを使ったおはなし会を実施	参加者数 延べ 445 人
		特集展示	児童書をテーマにした特集展示を実施	件数 8 件
		「リトルトントン」の発行	子ども向け読書案内の作成・配布	発行回数 4 回
		「調べものの達人」の発行	子ども向けのパスファインダーの作成・配布	発行回数 1 回
子どもに向けた事業(中高生世代対象)		わいずとんとの発行	中高生向け読書案内の作成・配布	発行回数 4 回
		中高生世代に向けた企画展示	YA コーナーで、テーマに関する投票を行なう参加型の展示を実施	実施回数 1 回

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	子どもに向けた事業(中高生世代対象)		桜美林大学図書館読書運動プロジェクト実行委員会との連携展示	YA 世代により近い大学生による展示やコーナーづくり
		真夏のYA イベント開催しちゃいます! <b>【新規】</b>	・漫画や本について語り合う ・YA コーナーの装飾物を作成	参加者数 4 人
子どもに向けた事業 (相武台分館)		児童書の収集及び提供	児童書、絵本、外国語絵本、紙芝居の収集及び提供	児童書の蔵書数 18,152 冊 児童書の貸出冊数 21,919 冊
		おはなし会	ボランティアグループとの共催による、小学校低学年までを対象にしたおはなし会	参加者数 延べ 544 人
		開館 40 周年記念事業紙芝居会「子ども向け」 <b>【新規】</b>	「さるびあ亭かーこ」さんによる紙芝居口演ショー	参加者数 30 人
		開館 40 周年記念事業 ワクワク!おはなし会 <b>【新規】</b>	ブラックシアター <sup>47</sup> 、絵本の読み聞かせ、エプロンシアター	参加者数 延べ 68 人
		夏の大きなおはなし会	パネル人形劇、絵本の読み聞かせほか	参加者数 延べ 58 人
		夏の木かげのかみしばいの会	ボランティアグループとの共催による、隣接公園での紙芝居の読み聞かせ	参加者数 延べ 36 人
		開館 40 周年記念事業折り紙教室「親子向け」 <b>【新規】</b>	ジオラマと貸出券ケースづくり	参加者数 11 人

47 パネルを舞台に絵人形を貼ったり外したりしながらおはなしを進めるパネルシアターの一種で、黒いパネルに蛍光で光る絵人形を貼り、ブラックライトで照らして浮かび上がらせる。

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	子どもに向けた事業 (相武台分館)		冬の大きなおはなし会	人形劇、絵本の読み聞かせ、パペット劇ほか
子どもの読書を支える人たちへの事業		団体貸出	小・中学校や保育園、ボランティア等へ、一定冊数を長期間貸出する制度	子ども資料団体 145団体に貸出
		学校連携	調べ学習や職業体験等を受入。また、学校に出向しおはなし会を実施	【職業体験】 10校延べ91名 【施設見学】 8校延べ135名 【出向サービス】 1校1回
		学校支援図書セットの貸出	市内小中学校を対象に、テーマごとに30冊程度の資料を集めたセットを配送し貸出	16校 延べ22回貸出
		児童書リサイクル事業	図書館3館合同で、市の児童関連施設等に児童書のリサイクル図書を提供	28団体 提供資料1,220冊 (4館合計)
		学校図書提供事業	市内小・中学校に児童書のリサイクル図書を提供	20団体 提供資料1,189冊 (4館合計)
		読み聞かせ専用資料の貸出サービス	読み聞かせ専用資料(大型絵本・大型紙芝居・布絵本)の貸出	所蔵数155冊 貸出冊数196冊
	子どもの読書を支える人たちへの事業 (相武台分館)		団体貸出	小・中学校や保育園、ボランティア等へ、一定冊数を長期間貸出する制度
一般利用者を対象とした事業		一般書の収集及び提供	一般の収集及び提供	一般書の蔵書数 264,524冊 一般書の貸出冊数 330,438冊

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	一般利用者を対象とした事業	放送大学テキスト書架の新設 【新規】	2018～2019年に刊行された放送大学テキストを収集し、コーナーを設置して提供	蔵書数 114冊 貸出冊数 232冊
		紙芝居劇場	大人を対象とした紙芝居の上演	参加者数 延べ 132人
		オリンピック・パラリンピックカウントダウンパネルの設置 【新規】	開催に向けた機運醸成の一環として設置し、関連資料の展示等もあわせて実施	7月20日～ (3館で実施)
		オリンピック・パラリンピック記念返却期限票の配布 【新規】		7月24日～ (3館で実施)
		読書普及講座 野田隆さん講演会「鉄道旅行の楽しみ方～わが鉄道人生を振り返って～」	日本旅行作家協会(理事)の野田隆氏による、旅や鉄道についての講演会	参加者数 66人
		第4回としょかん落語～ふちのべ座～	桜美林大学、中央大学の落語研究会の学生による落語会の実施等	参加者数 68人
		図書館クラシックのススメ～図書館で始める楽しいクラシック Vol.4～	講師による講義、クラシック鑑賞・聞き比べ、関連資料の紹介	参加者数 26人
		大人のためのおはなし会	大人向けの語りによるおはなし会	参加者数 延べ 74人
第11回「図書館ひろば」		図書館と市民をつなぐ会との共催で、古本市、折り紙教室、図書修繕実演、点訳体験、おはなし会などを実施	参加者数 延べ 400人	

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	一般利用者を対象とした事業		法律講座 「よくわかる！ 遺産相続と遺言状の基礎知識」	県行政書士会相模原支部所属の行政書士による、遺産相続や遺言書作成等に関する講義
		としょかん福袋 [P96 再掲]	大人用は 2 冊、子ども用は 3 冊を 1 セットとし、中身のヒント付きの福袋に入れて貸出	70 セット提供 (うち大人 35 セット)
		特集展示	一般利用者に向けた展示を実施	展示回数 22 回
		博物館・公文書館との連携展示	公文書館・博物館と連携し、郷土資料等を活用した展示を実施	展示回数 6 回
		庁内情報図書館内展示	庁内各課機関と連携し、事業の周知と、郷土資料等の関連資料を展示	展示回数 11 回
		図書等リサイクル事業	リサイクル図書の提供	提供資料数 5,754 冊
		図書館報「TOMTON」の発行	一般向け図書館報の作成・配布	発行回数 4 回
		「調べもの通信」の発行	調べものに役立つ参考資料や郷土資料、相談事例などを紹介	発行回数 4 回
		「テーマ別調べ方案内」の発行	調べものに役立つ図書、雑誌、オンラインデータベースなどをテーマ別に紹介	発行回数 1 回 (4 館で作成、累積 24 誌)
一般利用者を対象とした事業 (相武台分館)	一般書の収集及び提供	一般の収集及び提供	一般書の蔵書数 43,253 冊  一般書の貸出冊数 60,623 冊	

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
		図書等リサイクル事業	リサイクル図書の提供	提供資料数 395冊
		開館40周年記念事業紙芝居会「大人向け」【新規】	市内在住の石井とし子さんによる、紙芝居の口演	参加者数 43人
		開館40周年記念事業折り紙教室「大人向け」【新規】	ジオラマと貸出券ケースづくり	参加者数 11人
		開館40周年記念事業 分館落語【新規】	第18回さがみはら若手落語家選手権優勝者の「桂竹千代」さんによる出前落語	参加者数 41人
障害者サービス	障害者用資料の収集及び提供	障害者用資料の収集及び提供	蔵書数 録音図書(カセット) 1,777点  DAISY(デイジー) 111点  朗読CD 401点  大活字本 <sup>48</sup> 1,304点  布絵本 81点	
	布絵本貸出サービス	市内の特別支援学校、特別支援学級、障害者関係施設等で利用できる布絵本の提供	貸出点数 5点	

48 通常よりも大きな活字で印刷された図書のこと。

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	障害者サービス	対面朗読 <sup>49</sup> の実施	相模原録音奉仕会の協力で、視覚障害者に対面朗読サービスを実施	実施回数 65 回
		宅配サービスの実施	ボランティアの協力により、大野北地区在住で、図書館への来館が困難な利用者に宅配サービスを実施	実施回数 11 回
		「みて きいて さわってコーナー」の設置 【新規】	DAISY(デイジー)や布絵本、点字版広報誌などの障害者用資料を集めて展示	
	高齢者サービス	シニア世代向け図書の収集及び提供	シニア世代向けの図書を別置き、コーナーで提供	蔵書冊数 639 冊 貸出冊数 5,617 冊
多文化サービス	外国語資料の収集及び提供	英語、中国語、ハンゲル等の資料を収集し提供	蔵書冊数 図書 5,601 冊 新聞 5 紙 雑誌 8 誌	
内部評価	<p>平成 30 年度に引き続き、利用者の多様な情報要求に応えるため蔵書の充実を図るとともに、大野北公民館や博物館等の庁内の機関や近隣大学、ボランティア等とも連携しながら、図書館利用を促進する取組を実施した。</p> <p>図書館資料の充実と利用の促進について数値で見ると、蔵書数は市立図書館としては微増となった。また、臨時休館による開館日数の減少に伴い、来館者数や貸出冊数等の総数も減少したが、開館日 1 日当たりの平均値を見ると、下記のとおり、前年から微増で推移している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 来館者数 令和元年度 1,847 人 / 平成 30 年度 1,840 人</li> <li>・ 貸出冊数 令和元年度 2,230 点 / 平成 30 年度 2,192 点</li> <li>・ 貸出者数 令和元年度 595 人 / 平成 30 年度 573 人</li> </ul> <p>蔵書に関する令和元年度の新たな取組として、放送大学テキストコーナーを新設した。学び直しへの支援として集中的に収集し、10 月からコーナーを設置して、2 回転程度の利用があった。令和 2 年度以降も継続して購入する見込みであり、</p>			

49 指定された資料等を、朗読者が音声で読むサービスのこと。

引き続きコレクションの充実と利用促進を図りたい。

図書館利用促進の新たな取組として、公園利用啓発イベント「えんぱーく」に出展した。中央区内の街区公園でのイベントに 100 冊程度の本を持って出張し、公園での活動や遊びの合間に読書やおはなし会の機会を提供した。図書館利用への直接的な効果は測れないが、イベントの参加者は多く、図書館のブースを訪れた方や、おはなし会参加者からは概ね好意的な意見をいただいた。図書館内で利用を待つだけでなく、図書館の外へ資料を届け、利用の裾野を広げる取組として、今後も機会を捉え実施を検討したい。

また、中高生世代向けの事業として、桜美林大学図書館読書運動プロジェクト実行委員会との連携で YA コーナーのコーナー作りや企画展示を行ったほか、「真夏の YA イベント開催しちゃいます！」を実施した。YA 世代の交流の場として、漫画や本についての意見交換等を行う機会を設けたが、参加者が少なく、周知方法等が課題となった。今後、YA 世代をはじめ、事業としてはあまりアプローチしてこなかった利用者層に対しても、工夫して事業を検討していきたい。

継続的な取組としては、年間を通じて企画展示を 50 回実施したほか、「法律講座」や「としょかん落語」、「図書館ひろば」などの事業については毎年一定の参加者があり、取組が定着してきていると思われる。

引き続き多様な蔵書の充実と、企画展示等による利用促進に努めるとともに、庁内機関等との連携のネットワークを活用しながら、図書館利用促進の取組を展開したい。また、コロナ禍により対面のイベント等を中止している状況においては、事業のあり方についても今後一層の研究が必要である。

事業2	図書館システム更新によるサービス向上															
事業内容	図書館システムを更新し、図書館ホームページの刷新、貸出方法の多様化など利用者の利便性向上を図る。															
実施内容	<table border="1" data-bbox="373 483 1366 981"> <thead> <tr> <th data-bbox="373 483 603 566">事業項目</th> <th data-bbox="603 483 833 566">実施事業</th> <th data-bbox="833 483 1098 566">内容</th> <th data-bbox="1098 483 1366 566">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="373 566 603 707">システム更新</td> <td data-bbox="603 566 833 707">システム構築</td> <td data-bbox="833 566 1098 707">新システム及び新機器の構築を実施</td> <td data-bbox="1098 566 1366 707">6月1日に、新システムを稼働した。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 707 603 981">ホームページの刷新</td> <td data-bbox="603 707 833 981">ホームページの刷新</td> <td data-bbox="833 707 1098 981">新ホームページの構築を実施</td> <td data-bbox="1098 707 1366 981">6月1日に、新ホームページを稼働した。 トップページアクセス数(1日平均) 26,737件</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	システム更新	システム構築	新システム及び新機器の構築を実施	6月1日に、新システムを稼働した。	ホームページの刷新	ホームページの刷新	新ホームページの構築を実施	6月1日に、新ホームページを稼働した。 トップページアクセス数(1日平均) 26,737件
事業項目	実施事業	内容	結果													
システム更新	システム構築	新システム及び新機器の構築を実施	6月1日に、新システムを稼働した。													
ホームページの刷新	ホームページの刷新	新ホームページの構築を実施	6月1日に、新ホームページを稼働した。 トップページアクセス数(1日平均) 26,737件													
内部評価	<p data-bbox="373 1014 1383 1099">平成30年度から引き続き、新システムの開発及び機器構築を実施し、運用を開始した。</p> <p data-bbox="373 1122 1383 1261">システム更新による臨時休館期間をできるだけ短縮するため、4月の蔵書点検を5月に延期し、システム更新とあわせて実施した。5月中にシステム更新や職員等の研修を行い、6月には、新システム及び新ホームページを稼働することができた。</p> <p data-bbox="373 1283 1383 1422">新システム稼働後は、ホームページ(トップページ)へのアクセスが集中したが、徐々にアクセス数は落ち着き、令和元年度の1日あたりの平均アクセス件数としては、26,737件となった。</p> <p data-bbox="373 1444 1383 1686">トップページでは、お知らせやイベント情報等の情報発信を行っているが、コロナ禍における臨時休館やイベント中止の影響もあり、アクセス数は稼働から3月末にかけて減少傾向で推移した。一方で、資料検索等の情報サービス機能について、資料検索画面やマイ・ライブラリー(ログインして利用する機能)へのアクセス数は、一定数の利用で推移している。</p> <p data-bbox="373 1709 1383 1848">また、新たな機能として、スマートフォンへの対応、ICカードやスマートフォンを使った貸出、書影の表示などによる書誌データ及び資料検索の強化などを実装し、利便性の向上に努めた。</p> <p data-bbox="373 1870 1383 2009">ホームページによる情報発信の充実を図るとともに、情報サービス機能については、資料検索やマイ・ライブラリーの新たな機能の周知を図り、更なる利用促進につなげることが今後の課題である。</p>															

事業3	次期図書館基本計画及び子ども読書活動推進計画の策定																			
事業内容	現状や課題、アンケートの結果等を踏まえ、図書館協議会に諮りながら検討を進め今年度末までに策定する。																			
実施内容	<table border="1" data-bbox="373 483 1366 1240"> <thead> <tr> <th data-bbox="373 483 603 562">事業項目</th> <th data-bbox="603 483 831 562">実施事業</th> <th data-bbox="831 483 1098 562">内容</th> <th data-bbox="1098 483 1366 562">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="373 562 603 837">次期図書館基本計画及び子ども読書活動推進計画の策定</td> <td data-bbox="603 562 831 837">パブリックコメントの実施</td> <td data-bbox="831 562 1098 837">12月15日から令和2年1月21日まで実施し、実施結果を市ホームページで公表</td> <td data-bbox="1098 562 1366 837">意見提出数 図書館基本計画 12人(67件)  子ども読書活動推進計画 3人(14件)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 837 603 1003"></td> <td data-bbox="603 837 831 1003">庁内検討組織における検討</td> <td data-bbox="831 837 1098 1003">庁内検討組織において、計画の策定作業を実施</td> <td data-bbox="1098 837 1366 1003">計画の具体的な内容について整理を行い、策定作業を進めた。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 1003 603 1240"></td> <td data-bbox="603 1003 831 1240">図書館協議会における協議</td> <td data-bbox="831 1003 1098 1240">各計画案について、図書館協議会で協議</td> <td data-bbox="1098 1003 1366 1240">令和元年度第1回～第3回の協議会において、次期計画の内容について意見を伺い、策定の参考とした。</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	次期図書館基本計画及び子ども読書活動推進計画の策定	パブリックコメントの実施	12月15日から令和2年1月21日まで実施し、実施結果を市ホームページで公表	意見提出数 図書館基本計画 12人(67件)  子ども読書活動推進計画 3人(14件)		庁内検討組織における検討	庁内検討組織において、計画の策定作業を実施	計画の具体的な内容について整理を行い、策定作業を進めた。		図書館協議会における協議	各計画案について、図書館協議会で協議	令和元年度第1回～第3回の協議会において、次期計画の内容について意見を伺い、策定の参考とした。
事業項目	実施事業	内容	結果																	
次期図書館基本計画及び子ども読書活動推進計画の策定	パブリックコメントの実施	12月15日から令和2年1月21日まで実施し、実施結果を市ホームページで公表	意見提出数 図書館基本計画 12人(67件)  子ども読書活動推進計画 3人(14件)																	
	庁内検討組織における検討	庁内検討組織において、計画の策定作業を実施	計画の具体的な内容について整理を行い、策定作業を進めた。																	
	図書館協議会における協議	各計画案について、図書館協議会で協議	令和元年度第1回～第3回の協議会において、次期計画の内容について意見を伺い、策定の参考とした。																	
内部評価	<p>平成30年度から引き続き庁内検討組織を設置し、次期計画の具体的な内容について検討を行った。検討内容は図書館協議会に報告しご意見をいただくとともに、検討結果を踏まえた計画案をまとめた。</p> <p>12月から令和2年1月にかけて、計画案に対する意見聴取として、パブリックコメントを実施した。図書館基本計画は67件、子ども読書活動推進計画は12件のご意見をいただき、一部の意見について計画案に反映することができた。</p> <p>パブリックコメントの実施結果を踏まえ最終的な計画案を作成し、3月末に両計画を策定した。</p> <p>令和2年度以降は両計画の施策を推進するとともに、計画に即した図書館事業評価を行いながら図書館サービスを発展させ、効果的・効率的な図書館運営を図ることが課題である。</p>																			

事業4	市立図書館の中央図書館としての再整備に向けた取組														
事業内容	<p>中央図書館としての在り方及び必要とする機能について、図書館協議会に諮りながら検討を進め、次期図書館基本計画において定める。</p> <p>施設面の整備については、「淵野辺駅南口周辺のまちづくり事業」の取組の中で検討を進める。</p>														
実施内容	<table border="1" data-bbox="373 560 1364 1151"> <thead> <tr> <th data-bbox="373 560 603 640">事業項目</th> <th data-bbox="603 560 833 640">実施事業</th> <th data-bbox="833 560 1098 640">内容</th> <th data-bbox="1098 560 1364 640">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="373 640 603 846" rowspan="2">市立図書館の中央図書館としての再整備</td> <td data-bbox="603 640 833 846">パブリックコメントの実施</td> <td data-bbox="833 640 1098 846">12月15日から令和2年1月21日まで実施し、実施結果を市ホームページで公表</td> <td data-bbox="1098 640 1364 846">意見提出数 図書館基本計画 12人(67件)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 846 833 1151">図書館協議会及び庁内検討組織による検討</td> <td data-bbox="833 846 1098 1151">中央図書館としての在り方や必要とする機能について、次期図書館基本計画策定に係る取組の中で、図書館協議会や庁内検討組織において検討</td> <td data-bbox="1098 846 1364 1151">現状や課題を踏まえ、次期計画の内容について整理を行い、策定作業を進めた。</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	市立図書館の中央図書館としての再整備	パブリックコメントの実施	12月15日から令和2年1月21日まで実施し、実施結果を市ホームページで公表	意見提出数 図書館基本計画 12人(67件)	図書館協議会及び庁内検討組織による検討	中央図書館としての在り方や必要とする機能について、次期図書館基本計画策定に係る取組の中で、図書館協議会や庁内検討組織において検討	現状や課題を踏まえ、次期計画の内容について整理を行い、策定作業を進めた。
事業項目	実施事業	内容	結果												
市立図書館の中央図書館としての再整備	パブリックコメントの実施	12月15日から令和2年1月21日まで実施し、実施結果を市ホームページで公表	意見提出数 図書館基本計画 12人(67件)												
	図書館協議会及び庁内検討組織による検討	中央図書館としての在り方や必要とする機能について、次期図書館基本計画策定に係る取組の中で、図書館協議会や庁内検討組織において検討	現状や課題を踏まえ、次期計画の内容について整理を行い、策定作業を進めた。												
内部評価	<p>中央図書館としての在り方や必要とする機能について、次期図書館基本計画策定に係る取組の中で、図書館協議会や庁内検討組織において検討を行った。また、計画策定に係るパブリックコメントの中で、中央図書館の再整備や機能に関するご意見をいただき、計画策定や今後の取組への参考とした。</p> <p>計画においては、基本目標4「将来にわたり進化し続ける図書館」の施策として「中央図書館機能の確立・充実」を位置付け、中央図書館のあり方を示すとともに、確立及び充実を目指す機能として、「企画・統括機能」「専門的機能」「人材育成機能」の3つの施策を定めた。</p> <p>令和2年度以降は、現施設において実現可能な中央図書館機能の充実に取り組むとともに、施設面の整備については、引き続き「淵野辺駅南口周辺のまちづくり事業」の取組と連携を図りながら、検討を進めることが課題である。</p>														

## (2) 相模大野図書館

## 【平成 29 年度の主な事業】

- 事業 1 図書館利用促進のための事業展開及び P R の充実  
 事業 2 利用者ニーズに対応した資料の収集・情報発信  
 事業 3 学校と連携した子どもの読書活動の推進  
 事業 4 安心して快適に利用できる図書館環境の整備・充実

事業 1	図書館利用促進のための事業展開及び P R の充実			
事業内容	市民の知的好奇心に応えるためのイベントや企画展示を継続的に開催し、図書館利用を促進するとともに、区内の学校や関係機関等との連携強化を図り、図書館未利用者を意識した P R の充実に努める。			
実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	一般向け事業 (図書館活用講座)	宇宙人の見つけ方	国立天文台職員による、系外惑星における生命居住の可能性についての講義	参加者数 49 人
		健康ウォーキング	日本体操協会の会員による、ウォーキングの基本とストレッチについての講義	参加者数 27 人
		郷土を知る	市立博物館の学芸員による、南区内の境川流域で発掘調査された遺跡についての講義	参加者数 45 人
		Herb Style	ガーデンデザイナーによる、ハーブの活用方法や栽培方法についての講義	参加者数 36 人
	子ども向け事業	ファインディングドッグ・キャット	児童書の中に隠したアルファベットのカードを集め「DOG」「CAT」の単語を作る参加型事業	参加者数 延べ 157 人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	子ども向け事業	まるごと え・い・ご 2017	英語を母国語とする 講師による、英語の 歌遊びや、英語の絵 本の読み聞かせ等	来場者数 延べ 111 人
		子どもと本をつ なぐブックトー ク「自然に親し み、ゲームとクイ ズで生き物を知 ろう！」	ネイチャーゲームイ ンストラクターによ るレクリエーション	参加者数 24 人
		だれでも楽しむ おはなし会	児童書の大活字本・ 点字絵本・布絵本等 の紹介や、手話を付 けた大型絵本の読み 聞かせ	来場者数 13 人
		冬のどくしょピ ンゴ	本探しや本紹介を行 い、ピンゴを目指す 参加型事業	参加者数 延べ 87 人
		春のとしょかん クイズラリー	図書館の使い方や本 の並び方を調べるク イズラリー	参加者数 延べ 226 人
子どもの読書を 支える人たちを 対象とした事業	絵本で子育て ワークショップ	1 組の親子につき 1 人のボランティアが つき、絵本の読み聞 かせを体験	参加者数 22 組	
	読み聞かせサー クルのための勉 強会	読み聞かせサークル による活動事例発表 や、子育て支援の専 門家による、読み聞 かせについての講義	参加者数 延べ 36 人	
連携・共催事業	POP 作成講座及 び企画展示	本紹介 POP の作成 講座の実施後、相模 大野図書館と連携先 の学校図書館で巡回 展示を実施	連携先 桜美林大学、相模女 子大学、相模原中等 教育学校  参加者数 28 人	
	大人のためのお はなし会 2017 in グリーンホー ル	夏目漱石生誕 150 周年をテーマにし た、朗読と音楽コン サート	共催先 市民文化財団  来場者数 189 人	

内部評価	<p>手話を付けた読み聞かせ等を行う「だれでも楽しめるおはなし会」や、ボランティアによる読み聞かせを体験できる「絵本で子育てワークショップ」を開催することで、読書活動に関する理解や関心を高め、図書館未利用者への利用促進を図った。</p> <p>一般向けに定例開催している「図書館活用講座」については、新たに天文分野をテーマに取り入れたり、開催日を土曜日にしたりすることで、参加者層に変化が見られた。</p> <p>中高生向けの事業では、平成 28 年度まで連携校の生徒を対象に実施していた「POP 作成講座」の参加者について、一般公募とすることで未利用者の参加を促したが、連携校以外の参加は3人に留まり、公募の効果は見られなかった。中高生向けの事業について、内容や周知方法の見直しが必要である。</p> <p>子ども向けの事業では、「春のとしょかんクイズラリー」等の参加型事業を複数実施し、事業を楽しみながら図書館の利用方法について理解できるよう工夫した。また、サタデーおはなし会では読み聞かせボランティアがおはなし会開始前に、相模大野中央公園でチラシの配布を行ったことにより、参加者数が増加した。</p> <p>未利用者の関心を捉えた事業を実施できるよう、今後も積極的な情報収集に努めたい。</p>
利用者アンケート	<p>アンケートの結果では、力を入れて取り組んでほしい事業として「社会人を対象とした事業」の回答数が「子どもを対象とした事業」と同数で最も多くなっているが、良いと思われる事業の候補として挙げている「図書館活用講座」の回答率は25.4%に留まっている。</p> <p>また、自由記入欄に「講座を開催していることを知らなかった。今度参加してみたい。」や「事業の周知があまり見られない。」などの意見が複数記載されており、事業の認知度向上が課題である。ポスターの掲示場所の変更等、より効果的に情報が届けられる周知方法について検討していく。</p>

事業2	利用者ニーズに対応した資料の収集・情報発信																																			
事業内容	利用者の多様なニーズの把握に努めるとともに、社会情勢や地域社会の活性化・課題解決等に留意した資料の選択、収集を行い、より効果的な蔵書の構築及び積極的な情報発信に努める。																																			
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業項目</th> <th>実施事業</th> <th>内容</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">蔵書構築</td> <td>図書資料の収集・提供(雑誌・AV資料含む)</td> <td>特色を生かした図書資料の収集</td> <td>所蔵点数 320,270点 購入点数 9,429点 貸出点数 547,540点</td> </tr> <tr> <td>マンガコーナーの設置</td> <td>マンガをまとめて新規購入し、禁帯出資料として排架</td> <td>購入タイトル数 17タイトル  購入冊数 221冊</td> </tr> <tr> <td>高齢者・障害者向け図書資料の充実</td> <td>大活字本やLLブック(ピクトグラム付き図書)<sup>50</sup>、朗読CDの購入</td> <td>購入点数 大活字本 83冊 大活字本(児童書) 10冊 LLブック 6冊 朗読CD 10点</td> </tr> <tr> <td>企画展示</td> <td>特集コーナー及びミニ特集コーナーにおける展示</td> <td>各分類や時節ごとにテーマを決め、関連資料を展示</td> <td>展示回数 72件  内訳 分類特集 12件 テーマ特集 12件 ミニ特集 36件 作家特集 12件</td> </tr> <tr> <td>連携展示</td> <td>情報発信コーナー等における展示</td> <td>相模原市に関する情報や行政の取組等について、関連資料を展示</td> <td>展示回数 21件</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">各種広報紙の発行</td> <td>館報「らいぶらりーにゅーす」の発行</td> <td>一般向け図書館報の作成・配布</td> <td>発行回数 3回</td> </tr> <tr> <td>ヤングアダルト読書案内「YAD」の発行</td> <td>中高生世代向け読書案内の作成・配布</td> <td>発行回数 1回</td> </tr> <tr> <td>読書案内「チャイルズタイムス」の発行</td> <td>子ども向け読書案内の作成・配布</td> <td>発行回数 12回</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	蔵書構築	図書資料の収集・提供(雑誌・AV資料含む)	特色を生かした図書資料の収集	所蔵点数 320,270点 購入点数 9,429点 貸出点数 547,540点	マンガコーナーの設置	マンガをまとめて新規購入し、禁帯出資料として排架	購入タイトル数 17タイトル  購入冊数 221冊	高齢者・障害者向け図書資料の充実	大活字本やLLブック(ピクトグラム付き図書) <sup>50</sup> 、朗読CDの購入	購入点数 大活字本 83冊 大活字本(児童書) 10冊 LLブック 6冊 朗読CD 10点	企画展示	特集コーナー及びミニ特集コーナーにおける展示	各分類や時節ごとにテーマを決め、関連資料を展示	展示回数 72件  内訳 分類特集 12件 テーマ特集 12件 ミニ特集 36件 作家特集 12件	連携展示	情報発信コーナー等における展示	相模原市に関する情報や行政の取組等について、関連資料を展示	展示回数 21件	各種広報紙の発行	館報「らいぶらりーにゅーす」の発行	一般向け図書館報の作成・配布	発行回数 3回	ヤングアダルト読書案内「YAD」の発行	中高生世代向け読書案内の作成・配布	発行回数 1回	読書案内「チャイルズタイムス」の発行	子ども向け読書案内の作成・配布	発行回数 12回
	事業項目	実施事業	内容	結果																																
	蔵書構築	図書資料の収集・提供(雑誌・AV資料含む)	特色を生かした図書資料の収集	所蔵点数 320,270点 購入点数 9,429点 貸出点数 547,540点																																
		マンガコーナーの設置	マンガをまとめて新規購入し、禁帯出資料として排架	購入タイトル数 17タイトル  購入冊数 221冊																																
		高齢者・障害者向け図書資料の充実	大活字本やLLブック(ピクトグラム付き図書) <sup>50</sup> 、朗読CDの購入	購入点数 大活字本 83冊 大活字本(児童書) 10冊 LLブック 6冊 朗読CD 10点																																
	企画展示	特集コーナー及びミニ特集コーナーにおける展示	各分類や時節ごとにテーマを決め、関連資料を展示	展示回数 72件  内訳 分類特集 12件 テーマ特集 12件 ミニ特集 36件 作家特集 12件																																
	連携展示	情報発信コーナー等における展示	相模原市に関する情報や行政の取組等について、関連資料を展示	展示回数 21件																																
各種広報紙の発行	館報「らいぶらりーにゅーす」の発行	一般向け図書館報の作成・配布	発行回数 3回																																	
	ヤングアダルト読書案内「YAD」の発行	中高生世代向け読書案内の作成・配布	発行回数 1回																																	
	読書案内「チャイルズタイムス」の発行	子ども向け読書案内の作成・配布	発行回数 12回																																	

50 写真や絵文字、記号などを使いながら、表現を分りやすく工夫し、誰もが読書を楽しめるようにつくられた本。

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	図書館ホームページ及びソーシャルメディアによる情報発信	図書館ホームページの活用	各事業紹介等をホームページで発信	件数 42 件
		図書館ソーシャルメディアの活用	各事業紹介等を図書館ツイッター及びフェイスブックで発信	件数 ツイッター 333 件 フェイスブック 242 件
内部評価	<p>近年、利用者の多くを高齢者が占めていることから、高齢者や障害がある方を対象とした図書資料の充実に努めた。</p> <p>また、人気のマンガを約 200 冊購入し、7月に禁帯出資料として中高生向けコーナーに排架した。貸出中により続きが読めなくなることはないため、ストレスなく利用できる利用者からも好評であった。統計的な数字がないため直接的な影響については明確ではないが、夏休み期間である8月の来館者数が、平成28年度と比べて約2,500人増加した。</p> <p>今後も資料の利用状況や社会の関心に合わせた蔵書構築に努めたい。</p>			
利用者アンケート	<p>アンケートの結果では、来館目的として「本・雑誌・CD等を借りるため」や「本・雑誌・新聞を読むため」、「図書館の資料で調べものをするため」など、資料の利用に関することが回答総数の約9割を占めている。</p> <p>良いと思われる事業として「特集コーナーでの本の展示」「おはなし会」「絵本のテーマ展示」の順に回答数が多く、来館目的に即した事業展開が行えていることが分かる。</p> <p>今後は展示に対する利用者の関心が高いことを生かし、資料展示と併せて事業の周知を行うことで、より効果的な情報発信を行っていく。</p>			

事業3	学校と連携した子どもの読書活動の推進			
事業内容	区内小中学校との連携を進め、資料支援を始め学校における教育活動への協力及び関連事業を行うことにより、子どもの読書環境の充実及び読書意欲の喚起を図る。			
実施内容				
	事業項目	実施事業	内容	結果
	不用図書の提供	南区内小・中学校への不用図書の提供	不用図書の中から、学校の図書館における利用が見込まれるものを、南区内の小・中学校へ提供	提供校数 延べ19校 内訳 第1回(6月)8校 第2回(1月)11校
	子ども資料団体貸出の実施	所蔵資料の団体貸出	小・中学校や保育園、ボランティア等へ一定冊数を長期間貸出する制度	利用団体数 20団体 貸出冊数 延べ2,438冊
	連絡会等におけるPR	市教育研究発表会における事例紹介	市教育研究発表会にて、学校と図書館の連携事業の事例を紹介	-
		中学校における職業講話	市内の中学校から依頼を受け、図書館員という職業についての講話を実施	参加者 280名
	職場体験等	調べ学習・施設見学の受け入れ	市内の小・中学校が行う調べ学習や町たんけん等の受け入れ	調べ学習 1校・7名 施設見学 2校・102名
		職場体験の受け入れ	窓口業務、書架整理、装備、資料探索など図書館業務の体験	15校・184名
近隣学校との連携事業	相模女子大学連携展示	相模女子大学人間社会学部社会マネジメント学科の学生による企画展示を行った。	テーマ 「女子大生が選ぶベスト3」 「大人でも楽しめる絵本」	

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	近隣学校との連携事業	POP 作成講座及び企画展示の実施[P108 再掲]	本紹介 POP の作成講座の実施後、相模大野図書館と連携先の学校図書館で巡回展示を実施	連携先 桜美林大学、相模女子大学、相模原中等教育学校  参加者数 28 人
内部評価	<p>学校における教育活動や読書活動の支援を目的に、年間を通して様々な事業を行った。</p> <p>教育活動の支援については、相模女子大学との連携事業として社会マネジメント学科の学生による企画展示を行ったが、更なる連携事業へ発展させることが出来なかった。当館の読みきかせボランティアが指導した高校生が当館のおはなし会で読み聞かせを行う等、連携事業の効果も見られた。今後は、連携事業を生かし未利用者の利用促進につなげていきたい。</p> <p>読書活動の支援については、図書館の不用除籍のうち、南区内の小・中学校に学校図書館での利用が見込まれる図書のリストを送付し、各校が希望する図書を提供することで、学校図書館における読書環境の充実を図った。児童書リサイクル事業に来場することが困難な学校にも図書を提供することができ、提供先の学校からは大変好評だった。</p> <p>今後も様々な方面から学校との連携を行っていく。</p>			
利用者アンケート	<p>アンケートの結果では、学校連携事業の主な対象となる「10 歳代」(4.3%)と「中高生を対象とした事業」(17.2%)の回答数が少なくなっているが、「10 歳代」の回答者のうち約 7 割が取り組んでほしい事業として「中高生を対象とした事業」と回答している。</p> <p>平成 29 年度に実施した事業のうち中高生を対象とした事業は「POP 作成講座」のみであるため、今後、事業の拡充に努めたい。</p>			

事業4	安心して快適に利用できる図書館環境の整備・充実																																			
事業内容	利用者が、安全に、安心して快適に過ごせる図書館環境の整備・充実を図る。																																			
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="379 483 603 566">事業項目</th> <th data-bbox="611 483 834 566">実施事業</th> <th data-bbox="842 483 1098 566">内容</th> <th data-bbox="1106 483 1369 566">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="379 577 603 1003" rowspan="3">図書館運営の向上</td> <td data-bbox="611 577 834 696">聞かせてください、あなたのご意見・ご感想</td> <td data-bbox="842 577 1098 696">館内の意見箱に投函された意見や要望に回答</td> <td data-bbox="1106 577 1369 696">件数 8 件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="611 707 834 869">利用者の声</td> <td data-bbox="842 707 1098 869">窓口における利用者の意見等を、委託事業者が聞き取り、記録</td> <td data-bbox="1106 707 1369 869">件数 49 件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="611 880 834 1003">市民の声</td> <td data-bbox="842 880 1098 1003">市の広聴システムを通じた意見や希望の受付及び回答</td> <td data-bbox="1106 880 1369 1003">件数 9 件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1014 603 1641" rowspan="3">利用環境の向上</td> <td data-bbox="611 1014 834 1167">水分補給可能箇所と休憩場所の増設</td> <td data-bbox="842 1014 1098 1167">4 階ロビーの水分補給を可能とした。エレベーターホールに椅子を設置</td> <td data-bbox="1106 1014 1369 1167">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="611 1178 834 1413">CD 架の排架方法の変更</td> <td data-bbox="842 1178 1098 1413">利用者から CD 架の最下段が見にくいという意見を受け、利用が少ない CD を書庫に移動し、最下段を空けた。</td> <td data-bbox="1106 1178 1369 1413">同様の意見はなくなったが、返却状況によって、一時的に最下段に排架することもある。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="611 1424 834 1641">集会室利用時間の周知方法の検討</td> <td data-bbox="842 1424 1098 1641">集会室前に相模原市立図書館の Twitter・Facebook のページの QR コードを記載したチラシを設置</td> <td data-bbox="1106 1424 1369 1641">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1653 603 1816">計画的な施設修繕</td> <td data-bbox="611 1653 834 1816">書籍落下防止バー取付修繕</td> <td data-bbox="842 1653 1098 1816">フロア内の壁面書架の最上段に落下防止バーを取り付けた。</td> <td data-bbox="1106 1653 1369 1816">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1827 603 1989">計画的な施設修繕</td> <td data-bbox="611 1827 834 1989">窓転落防止金具取付修繕</td> <td data-bbox="842 1827 1098 1989">3 階レファレンスコーナーの窓に転落防止金具を取り付けた。</td> <td data-bbox="1106 1827 1369 1989">-</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	図書館運営の向上	聞かせてください、あなたのご意見・ご感想	館内の意見箱に投函された意見や要望に回答	件数 8 件	利用者の声	窓口における利用者の意見等を、委託事業者が聞き取り、記録	件数 49 件	市民の声	市の広聴システムを通じた意見や希望の受付及び回答	件数 9 件	利用環境の向上	水分補給可能箇所と休憩場所の増設	4 階ロビーの水分補給を可能とした。エレベーターホールに椅子を設置	-	CD 架の排架方法の変更	利用者から CD 架の最下段が見にくいという意見を受け、利用が少ない CD を書庫に移動し、最下段を空けた。	同様の意見はなくなったが、返却状況によって、一時的に最下段に排架することもある。	集会室利用時間の周知方法の検討	集会室前に相模原市立図書館の Twitter・Facebook のページの QR コードを記載したチラシを設置	-	計画的な施設修繕	書籍落下防止バー取付修繕	フロア内の壁面書架の最上段に落下防止バーを取り付けた。	-	計画的な施設修繕	窓転落防止金具取付修繕	3 階レファレンスコーナーの窓に転落防止金具を取り付けた。	-
事業項目	実施事業	内容	結果																																	
図書館運営の向上	聞かせてください、あなたのご意見・ご感想	館内の意見箱に投函された意見や要望に回答	件数 8 件																																	
	利用者の声	窓口における利用者の意見等を、委託事業者が聞き取り、記録	件数 49 件																																	
	市民の声	市の広聴システムを通じた意見や希望の受付及び回答	件数 9 件																																	
利用環境の向上	水分補給可能箇所と休憩場所の増設	4 階ロビーの水分補給を可能とした。エレベーターホールに椅子を設置	-																																	
	CD 架の排架方法の変更	利用者から CD 架の最下段が見にくいという意見を受け、利用が少ない CD を書庫に移動し、最下段を空けた。	同様の意見はなくなったが、返却状況によって、一時的に最下段に排架することもある。																																	
	集会室利用時間の周知方法の検討	集会室前に相模原市立図書館の Twitter・Facebook のページの QR コードを記載したチラシを設置	-																																	
計画的な施設修繕	書籍落下防止バー取付修繕	フロア内の壁面書架の最上段に落下防止バーを取り付けた。	-																																	
計画的な施設修繕	窓転落防止金具取付修繕	3 階レファレンスコーナーの窓に転落防止金具を取り付けた。	-																																	

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	計画的な施設修繕	集会室放送設備修繕	利用者から講座講師の声が聞き取りにくいという意見を受け、集会室の放送設備を修繕した。	修繕後、放送環境が改善された。
館内安全及び利用環境の維持	館内巡回の実施	職員及び委託事業者による、定期的な館内巡回を行った。	-	
内部評価	<p>計画的な施設修繕を実施し、図書館内の利用環境を維持するとともに、図書館運営の向上に向けた取組を行うことで、業務の効率化と利用者サービスの向上を図った。</p> <p>図書館運営の向上に向けた取組としては、平成 29 年度の 3 月から館内に設置した意見箱や窓口における利用者の声を分析し、利用者サービス向上の参考としている。</p> <p>施設管理では、防災管理上必要な書籍落下防止バーと窓転落防止金具の取り付けを行った。また、以前から利用者の意見が多かった集会室の放送設備について修繕を行い、マイク等の音響設備を正常化した。</p> <p>開館から 30 年を迎える相模大野図書館では、施設の老朽化に伴う課題が多い。今後も計画的な修繕や適切な利用者サービスにより、利用者満足度の向上に努めたい。</p>			
利用者アンケート	<p>アンケートの結果では、施設管理及び運営に係る内容について、様々な角度から意見が寄せられている。</p> <p>窓口業務については、丁寧な接遇や適切な資料提供への感謝を述べる意見がある一方で、人員面での効率化を求める意見も見られた。</p> <p>施設管理については、施設の老朽化に対する適切な維持管理や飲食スペースなど新たな目的での施設利用について意見や要望が多く寄せられている。既存の施設や設備を適切に管理しながら、サービスの向上や業務の効率化など窓口業務等委託の効果について継続的に検証し、より良い図書館運営を目指すことが課題である。</p>			

## 【平成 30 年度の主な事業】

- 事業 1 特色ある資料収集の推進及び PR の充実  
 事業 2 地域の関係機関等との連携促進による図書館サービスの充実  
 事業 3 学校連携の促進及び中高生への図書館利用アピールの強化  
 事業 4 利用しやすく快適な図書館環境の整備

事業 1	特色ある資料収集の推進及び PR の充実				
事業内容	蔵書構成の特徴をより鮮明にするため、児童資料、外国語資料を中心とした特色ある資料の収集、紹介、情報発信の取組を進めるとともに、その特徴を「魅力」とした PR の充実に努める。				
実施内容		事業項目	実施事業	内容	結果
	児童向け事業		こどもの読書週間関連事業「みんなでさがそう！101 ぴきわんちゃん」	児童書の中から「いぬ」に関する本を探してみつけるイベント	参加者数 延べ 86 人
			まるごと え・い・ご 2018	英語を母国語とする講師による、英語の歌遊びや、英語の絵本の読み聞かせ等	来場者数 延べ 78 人
			子どもと本をつなぐブックトーク「さがせ！生き物かくれんぼ～自然界の食う食われるの世界を体験してみよう～」	ネイチャーゲームインストラクターによるレクリエーションと、「自然に親しむ」をテーマにした本の紹介	参加者数 12 人
			だれでも楽しめるおはなし会	児童書の大活字本・点字絵本・布絵本等の紹介や、手話を付けた大型絵本の読み聞かせ	来場者数 19 人
			春のとしょかんクイズラリー	図書館の使い方や本の並び方を調べるクイズラリー	参加者数 延べ 274 人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	児童向け事業	YOMUYOMU ENGLISH キーワードラリーあおりんごちゃんをさがせ!	新設した多読コーナー関連事業 英語図書の各コーナーに隠された文字を探す	参加者数 100人
読み手を対象とした事業	読み聞かせサークルのための勉強会	読み聞かせサークルによる活動事例発表や、子育て支援の専門家による、読み聞かせについての講義	参加者数 延べ 58人	
	絵本で子育てワークショップ	1組の親子につき1人のボランティアが付き、絵本の読み聞かせを体験	参加者数 延べ 44組	
蔵書構成	英語多読コーナーの設置	多読資料を新規購入し多読コーナーを新設	購入冊数 176冊	
	高齢者・障害者向け図書資料の充実	大活字本や朗読CDの購入	購入点数 ・大活字本 50冊 ・大活字本(児童書)20冊 ・朗読CD 7点	
	図書資料の収集・提供(雑誌・AV資料含む)	特色を生かした図書資料の収集	所蔵点数 320,592点  購入点数 9,084点  貸出点数 525,996点	
内部評価	<p>手話を付けた読み聞かせ等を行う「だれでも楽しめるおはなし会」や、ボランティアによる読み聞かせを体験できる「絵本で子育てワークショップ」を開催することで、未利用者の読書や図書館利用の促進に努めた。</p> <p>子ども向けの事業では、「春のとしょかんクイズラリー」等の参加型事業を複数実施し、事業を楽しみながら図書館の利用方法について理解できるよう工夫した。</p> <p>多読コーナーの設置は反響が大きく、洋書の貸出が増えた。関連したイベントの参加も多く関心の高さが伺えた。</p>			

利用者 アンケート	<p>「事業に関するアンケート」の結果では、力を入れて取り組んでほしい事業という質問の回答のうち、「子どもを対象とした事業」が 30.9%、「子育て世代を対象とした事業」が 15.9%となっており、ニーズのある事業ということが分かる。</p> <p>また、図書館への要望の中で最も多いものが資料に関するもののため、蔵書の構築を進める上で、特色を持ちつつ利用者の幅広いニーズに応えられるよう検討を行っていく。今後も資料の利用状況や社会の関心に合わせた蔵書構築に努めたい。</p>
--------------	--

事業2	地域の関係機関等との連携促進による図書館サービスの充実																																			
事業内容	関係団体や関係機関との協働・連携を促進し、情報共有を図りながら地域社会の活性化や課題解決等につながる事業を開催し、より身近で親しみやすい図書館づくりを目指す。																																			
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="379 506 608 589">事業項目</th> <th data-bbox="608 506 836 589">実施事業</th> <th data-bbox="836 506 1107 589">内容</th> <th data-bbox="1107 506 1378 589">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="379 589 608 1391">図書館活用講座</td> <td data-bbox="608 589 836 797">目からウロコのラジオ体操専門講座～ラジオ体操の基本を正しく学ぼう～</td> <td data-bbox="836 589 1107 797">日本体操研究所健康運動指導士を講師に迎え、ラジオ体操の効果的実践方法を学ぶとともに、健康関連の資料を紹介</td> <td data-bbox="1107 589 1378 797">参加者数 35名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 797 608 1008"></td> <td data-bbox="608 797 836 1008">ブラックホールの見つけ方～観測からわかってきた謎の天体～</td> <td data-bbox="836 797 1107 1008">「ブラックホール」の話を中心に、その他銀河系宇宙の天文学も併せた講座とともに、天文学関連の資料を紹介</td> <td data-bbox="1107 797 1378 1008">参加者数 41名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1008 608 1218"></td> <td data-bbox="608 1008 836 1218">Aroma Style～アロマを暮らしに取り入れて～</td> <td data-bbox="836 1008 1107 1218">芳香療法士を講師に迎え、暮らしに役立つ「アロマ」の効用や使い方について講義をとともに関連資料を紹介</td> <td data-bbox="1107 1008 1378 1218">参加者数 48名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1218 608 1391"></td> <td data-bbox="608 1218 836 1391">相模原史跡散歩 身近な文化遺産を巡ろう</td> <td data-bbox="836 1218 1107 1391">陸軍通信学校に関する講義と、相模女子大学構内の軍都遺跡見学と関連図書を紹介</td> <td data-bbox="1107 1218 1378 1391">参加者数 25名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1391 608 1635">周辺学校との連携</td> <td data-bbox="608 1391 836 1635">Kids サマースクールへの協力</td> <td data-bbox="836 1391 1107 1635">相模女子大学で行われる「Kids サマースクール」で図書館のガイダンスをするとともに、参加者が作成したPOPを館内で展示</td> <td data-bbox="1107 1391 1378 1635">連携先 相模女子大学</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1635 608 1807">市社会協議福祉会との連携</td> <td data-bbox="608 1635 836 1807">ふれあいいきいき出張サロン</td> <td data-bbox="836 1635 1107 1807">地域の方が集まる「ふれあいいきいきサロン」で実際に行われている体操等を体験</td> <td data-bbox="1107 1635 1378 1807">参加者数 9名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1807 608 1944">連携展示</td> <td data-bbox="608 1807 836 1944">情報発信コーナー等における展示</td> <td data-bbox="836 1807 1107 1944">相模原市に関する情報や行政の取組等について、関連資料を展示</td> <td data-bbox="1107 1807 1378 1944">展示回数 11件</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	図書館活用講座	目からウロコのラジオ体操専門講座～ラジオ体操の基本を正しく学ぼう～	日本体操研究所健康運動指導士を講師に迎え、ラジオ体操の効果的実践方法を学ぶとともに、健康関連の資料を紹介	参加者数 35名		ブラックホールの見つけ方～観測からわかってきた謎の天体～	「ブラックホール」の話を中心に、その他銀河系宇宙の天文学も併せた講座とともに、天文学関連の資料を紹介	参加者数 41名		Aroma Style～アロマを暮らしに取り入れて～	芳香療法士を講師に迎え、暮らしに役立つ「アロマ」の効用や使い方について講義をとともに関連資料を紹介	参加者数 48名		相模原史跡散歩 身近な文化遺産を巡ろう	陸軍通信学校に関する講義と、相模女子大学構内の軍都遺跡見学と関連図書を紹介	参加者数 25名	周辺学校との連携	Kids サマースクールへの協力	相模女子大学で行われる「Kids サマースクール」で図書館のガイダンスをするとともに、参加者が作成したPOPを館内で展示	連携先 相模女子大学	市社会協議福祉会との連携	ふれあいいきいき出張サロン	地域の方が集まる「ふれあいいきいきサロン」で実際に行われている体操等を体験	参加者数 9名	連携展示	情報発信コーナー等における展示	相模原市に関する情報や行政の取組等について、関連資料を展示	展示回数 11件
事業項目	実施事業	内容	結果																																	
図書館活用講座	目からウロコのラジオ体操専門講座～ラジオ体操の基本を正しく学ぼう～	日本体操研究所健康運動指導士を講師に迎え、ラジオ体操の効果的実践方法を学ぶとともに、健康関連の資料を紹介	参加者数 35名																																	
	ブラックホールの見つけ方～観測からわかってきた謎の天体～	「ブラックホール」の話を中心に、その他銀河系宇宙の天文学も併せた講座とともに、天文学関連の資料を紹介	参加者数 41名																																	
	Aroma Style～アロマを暮らしに取り入れて～	芳香療法士を講師に迎え、暮らしに役立つ「アロマ」の効用や使い方について講義をとともに関連資料を紹介	参加者数 48名																																	
	相模原史跡散歩 身近な文化遺産を巡ろう	陸軍通信学校に関する講義と、相模女子大学構内の軍都遺跡見学と関連図書を紹介	参加者数 25名																																	
周辺学校との連携	Kids サマースクールへの協力	相模女子大学で行われる「Kids サマースクール」で図書館のガイダンスをするとともに、参加者が作成したPOPを館内で展示	連携先 相模女子大学																																	
市社会協議福祉会との連携	ふれあいいきいき出張サロン	地域の方が集まる「ふれあいいきいきサロン」で実際に行われている体操等を体験	参加者数 9名																																	
連携展示	情報発信コーナー等における展示	相模原市に関する情報や行政の取組等について、関連資料を展示	展示回数 11件																																	

内部評価	<p>地域の図書館として周辺の学校との連携や市社協との連携を行った。</p> <p>毎年行っている図書館活用講座では、図書館の外に出て行く史跡散歩も行った。参加者の反応も良く、充実した事業となった。市社協との連携行事については、周知期間が短かったこともあり、参加者が少ない結果となった。周知や広報の方法について検討していきたい。</p>
利用者アンケート	<p>「事業に関するアンケート」の結果では、事業の認知度が最も高いのは特集コーナー展示に関するものであるため、特集コーナーのひとつである情報発信コーナーを地域の活用することで、地域の情報発信を効果的に行うことができた。</p> <p>また、力を入れて取り組んでほしい事業の設問では、「中高生世代を対象とした事業」、「高齢者を対象とした事業」がそれぞれ 19.7%となっており、対象を絞った事業を行うために、地域の関係機関と連携し、それぞれの強みを活かした事業を検討していきたい。</p>

事業3	学校連携の促進及び中高生への図書館利用アピールの強化																														
事業内容	区内小中学校への協力・支援を維持するとともに、読書離れが懸念される青少年のニーズの把握に努め、自主的な読書活動・学習活動に向けた資料の充実を図るとともに、図書館に親しむための機会の提供に努める。																														
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="379 506 603 589">事業項目</th> <th data-bbox="611 506 834 589">実施事業</th> <th data-bbox="842 506 1098 589">内容</th> <th data-bbox="1106 506 1361 589">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="379 600 603 797">不用図書の提供</td> <td data-bbox="611 600 834 797">南区内小・中学校への不用図書の提供</td> <td data-bbox="842 600 1098 797">不用図書の中から、学校の図書館における利用が見込まれるものを、南区内の市立小・中学校へ提供</td> <td data-bbox="1106 600 1361 797">提供校数 15 校 提供冊数 115 冊</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 808 603 1005">子ども資料団体貸出の実施</td> <td data-bbox="611 808 834 1005">所蔵資料の団体貸出</td> <td data-bbox="842 808 1098 1005">小・中学校や保育園、ボランティア等へ一定冊数を長期間貸出する制度</td> <td data-bbox="1106 808 1361 1005">登録団体数 46 団体 貸出冊数 延べ 1,205 冊</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1016 603 1214">施設見学等</td> <td data-bbox="611 1016 834 1214">調べ学習・施設見学の受入れ</td> <td data-bbox="842 1016 1098 1214">市内の小・中学校が行う調べ学習やまちたんけん等の受入れ</td> <td data-bbox="1106 1016 1361 1214">調べ学習 2 校 12 名 施設見学 1 校 146 名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1225 603 1355">職場体験等</td> <td data-bbox="611 1225 834 1355">職場体験の受け入れ</td> <td data-bbox="842 1225 1098 1355">窓口業務、書架整理、装備、資料探索など図書館業務の体験</td> <td data-bbox="1106 1225 1361 1355">11 校 103 名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1366 603 1984" rowspan="2">近隣学校との連携事業</td> <td data-bbox="611 1366 834 1496">相模女子大学連携展示</td> <td data-bbox="842 1366 1098 1496">豆本と本紹介 POP を 4 階こどものフロアで展示</td> <td data-bbox="1106 1366 1361 1496">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="611 1507 834 1984">Kids サマースクールへの協力 [P119 再掲]</td> <td data-bbox="842 1507 1098 1984">相模女子大学で行われる「Kids サマースクール」で図書館のガイダンスをするとともに参加者が作成した POP を館内で展示</td> <td data-bbox="1106 1507 1361 1984">連携先 相模女子大学</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	不用図書の提供	南区内小・中学校への不用図書の提供	不用図書の中から、学校の図書館における利用が見込まれるものを、南区内の市立小・中学校へ提供	提供校数 15 校 提供冊数 115 冊	子ども資料団体貸出の実施	所蔵資料の団体貸出	小・中学校や保育園、ボランティア等へ一定冊数を長期間貸出する制度	登録団体数 46 団体 貸出冊数 延べ 1,205 冊	施設見学等	調べ学習・施設見学の受入れ	市内の小・中学校が行う調べ学習やまちたんけん等の受入れ	調べ学習 2 校 12 名 施設見学 1 校 146 名	職場体験等	職場体験の受け入れ	窓口業務、書架整理、装備、資料探索など図書館業務の体験	11 校 103 名	近隣学校との連携事業	相模女子大学連携展示	豆本と本紹介 POP を 4 階こどものフロアで展示	-	Kids サマースクールへの協力 [P119 再掲]	相模女子大学で行われる「Kids サマースクール」で図書館のガイダンスをするとともに参加者が作成した POP を館内で展示	連携先 相模女子大学
事業項目	実施事業	内容	結果																												
不用図書の提供	南区内小・中学校への不用図書の提供	不用図書の中から、学校の図書館における利用が見込まれるものを、南区内の市立小・中学校へ提供	提供校数 15 校 提供冊数 115 冊																												
子ども資料団体貸出の実施	所蔵資料の団体貸出	小・中学校や保育園、ボランティア等へ一定冊数を長期間貸出する制度	登録団体数 46 団体 貸出冊数 延べ 1,205 冊																												
施設見学等	調べ学習・施設見学の受入れ	市内の小・中学校が行う調べ学習やまちたんけん等の受入れ	調べ学習 2 校 12 名 施設見学 1 校 146 名																												
職場体験等	職場体験の受け入れ	窓口業務、書架整理、装備、資料探索など図書館業務の体験	11 校 103 名																												
近隣学校との連携事業	相模女子大学連携展示	豆本と本紹介 POP を 4 階こどものフロアで展示	-																												
	Kids サマースクールへの協力 [P119 再掲]	相模女子大学で行われる「Kids サマースクール」で図書館のガイダンスをするとともに参加者が作成した POP を館内で展示	連携先 相模女子大学																												

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	近隣学校との連携事業		図書館見学ツアー	近隣の学校と連携し、相模大野図書館と相模女子大学附属図書館を案内するツアーを開催
学校案内コーナーの設置		高校案内コーナー及び大学・専門学校案内コーナーの設置	市内及び近隣市に所在する高校・通信制サポート校・大学・短大・専門学校・高専の案内を収集し配架・展示	-
内部評価	<p>学校における教育活動や読書活動の支援を目的に、年間を通して様々な事業を行った。</p> <p>近隣学校との連携では、相模女子大学と連携し、イベントに集まった参加者に向けて図書館のガイダンスを行い、作成したPOP等を展示することで、図書館利用の促進を図った。</p> <p>近隣の中学・高校を対象に企画した図書館の見学ツアーは参加者からは好評だった。課題とされる周知方法について改善しつつ、企画を検討したい。</p> <p>読書活動の支援については、昨年に引き続き、南区内の小・中学校に学校図書館での利用が見込まれる不用図書のリストを送付し、各校が希望する図書を提供することで、学校図書館における読書環境の充実を図った。児童書リサイクル事業が市立図書館で1日しか開催されないために来場することが困難な学校にも図書を提供することができた。昨年度より提供できた冊数が増えたこともあり、提供先の学校からは大変好評だった。</p> <p>今後も様々な方面から学校との連携を行っていく。</p>			
利用者アンケート	<p>「事業に関するアンケート」の結果では、学校連携事業の主な対象となる「中高生を対象とした事業」の要望が19.7%となっており、一定のニーズが伺える。</p> <p>平成30年度に実施した事業のうち中高生を対象とした事業では、当館企画のものが、「図書館ツアー」のみだったため、拡充に努めたい。</p>			

事業4	利用しやすく快適な図書館環境の整備																								
事業内容	図書館ホームページや SNS 等を活用し、積極的な図書館情報の提供を行うとともに、館内で利用者が過ごしやすい施設環境の整備・充実に取り組む。																								
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="379 483 608 566">事業項目</th> <th data-bbox="608 483 836 566">実施事業</th> <th data-bbox="836 483 1099 566">内容</th> <th data-bbox="1099 483 1369 566">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="379 566 608 1003" rowspan="3">窓口業務等委託の検証</td> <td data-bbox="608 566 836 698">聞かせてください、あなたのご意見・ご感想</td> <td data-bbox="836 566 1099 698">館内の意見箱に投函された意見や要望に回答</td> <td data-bbox="1099 566 1369 698">件数 29 件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="608 698 836 869">利用者の声</td> <td data-bbox="836 698 1099 869">窓口における利用者の意見等を、委託事業者が聞き取り、記録</td> <td data-bbox="1099 698 1369 869">件数 31 件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="608 869 836 1003">市民の声</td> <td data-bbox="836 869 1099 1003">市の広聴システムを通じた意見や希望の受付及び回答</td> <td data-bbox="1099 869 1369 1003">件数 10 件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1003 608 1429" rowspan="3">計画的な施設修繕 館内安全及び利用環境の維持</td> <td data-bbox="608 1003 836 1135">利用者フロア照明修繕</td> <td data-bbox="836 1003 1099 1135">利用者フロアの照明を修繕し、蛍光灯から LED へ変更</td> <td data-bbox="1099 1003 1369 1135">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="608 1135 836 1267">集会室放送設備修繕</td> <td data-bbox="836 1135 1099 1267">行事等の際に利用するマイクチューナーを修繕</td> <td data-bbox="1099 1135 1369 1267">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="608 1267 836 1429">館内巡回の実施</td> <td data-bbox="836 1267 1099 1429">職員及び委託事業者による、定期的な館内巡回を実施</td> <td data-bbox="1099 1267 1369 1429">-</td> </tr> </tbody> </table>	事業項目	実施事業	内容	結果	窓口業務等委託の検証	聞かせてください、あなたのご意見・ご感想	館内の意見箱に投函された意見や要望に回答	件数 29 件	利用者の声	窓口における利用者の意見等を、委託事業者が聞き取り、記録	件数 31 件	市民の声	市の広聴システムを通じた意見や希望の受付及び回答	件数 10 件	計画的な施設修繕 館内安全及び利用環境の維持	利用者フロア照明修繕	利用者フロアの照明を修繕し、蛍光灯から LED へ変更	-	集会室放送設備修繕	行事等の際に利用するマイクチューナーを修繕	-	館内巡回の実施	職員及び委託事業者による、定期的な館内巡回を実施	-
事業項目	実施事業	内容	結果																						
窓口業務等委託の検証	聞かせてください、あなたのご意見・ご感想	館内の意見箱に投函された意見や要望に回答	件数 29 件																						
	利用者の声	窓口における利用者の意見等を、委託事業者が聞き取り、記録	件数 31 件																						
	市民の声	市の広聴システムを通じた意見や希望の受付及び回答	件数 10 件																						
計画的な施設修繕 館内安全及び利用環境の維持	利用者フロア照明修繕	利用者フロアの照明を修繕し、蛍光灯から LED へ変更	-																						
	集会室放送設備修繕	行事等の際に利用するマイクチューナーを修繕	-																						
	館内巡回の実施	職員及び委託事業者による、定期的な館内巡回を実施	-																						
内部評価	<p>計画的な施設修繕を実施し、図書館内の利用環境を維持するとともに、窓口業務等委託の検証を行うことで、業務の効率化と利用者サービスの向上を図った。</p> <p>窓口業務等委託の検証としては、平成 29 年度の 3 月から館内に設置した意見箱や窓口における利用者の声を分析し、利用者サービス向上の参考としている。</p> <p>施設管理では、安定器の生産が終了した蛍光灯を LED に付け替える修繕を行った。</p> <p>開館から 30 年を迎える相模大野図書館では、施設の老朽化に伴う課題が多い。今後も計画的な修繕や適切な利用者サービスにより、利用者満足度の向上に努めたい。</p>																								

利用者 アンケート	<p>「事業に関するアンケート」の結果では、施設管理及び運営に係る内容について、様々な角度から意見が寄せられている。</p> <p>窓口業務については、丁寧な接遇や適切な資料提供への感謝を述べる意見がある一方で、人員面での効率化に対する意見も見られた。</p> <p>施設管理については、施設の老朽化に対する適切な維持管理、相模大野駅への返却ポストの設置など、意見や要望が多く寄せられている。既存の施設や設備を適切に管理しながら、サービスの向上や業務の効率化など窓口業務等委託の効果について継続的に検証し、より良い図書館運営を目指すことが課題である。</p>
--------------	---

## 【令和元年度の主な事業】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館となり、3月17日から予定していた利用者アンケートによる意見聴取は実施できなかったため、図書館による内部評価のみ記載している。

- 事業1 特色ある資料収集の推進及びPRの充実  
 事業2 地域の関係機関等との連携促進による図書館サービスの充実  
 事業3 学校連携の促進及び中高生への図書館利用アピールの強化  
 事業4 利用しやすく快適な図書館環境の整備

事業1	特色ある資料収集の推進及びPRの充実				
事業内容	蔵書構成の特徴をより鮮明にするため、児童資料、外国語資料を中心とした特色ある資料の収集、紹介、情報発信の取組みを進めるとともに、その特徴を「魅力」としたPRの充実に努める。				
実施内容		事業項目	実施事業	内容	結果
	児童向け事業		こどもの読書週間記念「今日を数字で集めよう～計算できるかな～」	児童書タイトルにある数字を使って、参加日の日付を作るもの	参加者数 延べ100人
			こどもの読書週間記念「こんな、あんなのおはなし会」	3日間で「絵本」「ちしきの本」「ものがたり」とテーマを変えて行うおはなし会	来場者数 延べ35人
			子どもと本をつなぐブックトーク「めざせ！葉っぱあそびのマイスター！～楽しい葉っぱの工作もあるよ～」	ネイチャーゲームインストラクターによるレクリエーションと、「自然に親しむ」をテーマにした本の紹介	参加者数 11人
			夏のこわ～いおはなし会	小学生限定の大きいおはなし会。 こわ～い話の素話・紙芝居・絵本の読み聞かせなど	参加者 37名

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	児童向け事業	秋の読書週間 関連イベント おはなし会		素話やエプロンシアター、大型絵本を使ったおはなし会
冬の大きな おはなし会			人形劇・影絵や、紙芝居・絵本の読み聞かせなどを行う、大きいおはなし会	参加者延べ 54 人 ・子ども 32 人 ・大人 22 人
読み手を対象とした事業	読み聞かせサークルのための勉強会		紙芝居の表現方法についての講義	参加者数 延べ 41 人
	絵本で子育てワークショップ		1 組の親子につき 1 人のボランティアが付き、絵本の読み聞かせを体験	参加者数 延べ 38 組
英語多読関連事業	図書館活用講座「ゼロからはじめる英語～多読ってなあに～」 【新規】		英語学習法である「多読」に関する講義と英語多読関連資料の紹介	参加者数 50 人
蔵書構成	英語多読コーナーの充実		英語多読資料の購入	購入冊数 90 冊
	高齢者・障害者向け図書資料の充実		大活字本や朗読 CD の購入	購入点数 ・大活字本 88 冊 ・朗読 CD 10 点
	図書資料の収集・提供(雑誌・AV 資料含む)		特色を生かした図書資料の収集	所蔵点数 322,218 点 購入点数 12,138 点 貸出点数 454,435 点
内部評価	<p>児童向け事業では、祝日の名称から連想されるテーマを設定した「こんな、あんなのおはなし会」や、児童書のタイトルを使用した「今日を数字で集めよう」、「夏のこわ～いおはなし会」、「冬の大きなおはなし会」等の季節感を大切にした事業を実施し、本へ興味を持つきっかけとなる事業を開催することで図書館利用の促進に努めた。</p> <p>また、よりバラエティー豊かな図書の紹介を通して、図書館への利用を促すように工夫した。平成 30 年度から設置している英語多読コーナーは関心が高く、資料の充実を求める声が多く、特に付録 CD 付きの資料の収集が課題となっている。</p>			

事業2	地域の関係機関等との連携促進による図書館サービスの充実																			
事業内容	区内の関係団体や関係機関との協働・連携を促進し、情報共有を図りながら地域社会の活性化や課題解決等につながる事業を開催し、より身近で親しみやすい図書館づくりを目指す。																			
実施内容	<table border="1" data-bbox="373 524 1367 1155"> <thead> <tr> <th data-bbox="373 524 603 607">事業項目</th> <th data-bbox="603 524 831 607">実施事業</th> <th data-bbox="831 524 1102 607">内容</th> <th data-bbox="1102 524 1367 607">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="373 607 603 817">図書館活用講座</td> <td data-bbox="603 607 831 817">図書館活用講座 「ゼロからはじめる英語～多読ってなあに～」 [P126 再掲] 【新規】</td> <td data-bbox="831 607 1102 817">新しい英語の学習法「多読」を学ぶとともに、英語多読関連の資料を紹介</td> <td data-bbox="1102 607 1367 817">参加者数 50名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 817 603 1014">市社会協議福祉会との連携</td> <td data-bbox="603 817 831 1014">認知症サポーター養成講座 【新規】</td> <td data-bbox="831 817 1102 1014">認知症とその家族の応援者である「認知症サポーター」を養成する講座</td> <td data-bbox="1102 817 1367 1014">参加者数 30名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 1014 603 1155">連携展示</td> <td data-bbox="603 1014 831 1155">情報発信コーナー等における展示</td> <td data-bbox="831 1014 1102 1155">相模原市に関する情報や行政の取組等について、関連資料を展示</td> <td data-bbox="1102 1014 1367 1155">展示回数 11件</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	図書館活用講座	図書館活用講座 「ゼロからはじめる英語～多読ってなあに～」 [P126 再掲] 【新規】	新しい英語の学習法「多読」を学ぶとともに、英語多読関連の資料を紹介	参加者数 50名	市社会協議福祉会との連携	認知症サポーター養成講座 【新規】	認知症とその家族の応援者である「認知症サポーター」を養成する講座	参加者数 30名	連携展示	情報発信コーナー等における展示	相模原市に関する情報や行政の取組等について、関連資料を展示	展示回数 11件
事業項目	実施事業	内容	結果																	
図書館活用講座	図書館活用講座 「ゼロからはじめる英語～多読ってなあに～」 [P126 再掲] 【新規】	新しい英語の学習法「多読」を学ぶとともに、英語多読関連の資料を紹介	参加者数 50名																	
市社会協議福祉会との連携	認知症サポーター養成講座 【新規】	認知症とその家族の応援者である「認知症サポーター」を養成する講座	参加者数 30名																	
連携展示	情報発信コーナー等における展示	相模原市に関する情報や行政の取組等について、関連資料を展示	展示回数 11件																	
内部評価	<p>図書館活用講座では、英語の多読をテーマしたワークショップを実施した。たいへん多く関心が寄せられており、定員を超える応募があった。蔵書の紹介も実施し、資料活用促進を図ることができた。</p> <p>市社会福祉協議会等との連携行事については、認知症サポーター養成講座を行った。市社会福祉協議会等と役割分担をして円滑に事業を運営することができた。参加者は昨年度より多く、外部講師を招いて充実した内容となり、地域の社会的課題に対応する事業を実施することができた。</p> <p>窓口業務等の委託事業者の入れ替えの影響もあり、事業数が減少してしまったことは反省点である。委託事業者や担当職員が替わっても円滑な事業の実施が可能な体制作りが今後の課題となった。</p>																			

事業3	学校連携の促進及び中高生への図書館利用アピールの強化																														
事業内容	区内小中学校への協力・支援を維持するとともに、読書離れが懸念される青少年のニーズの把握に努め、自主的な読書活動・学習活動に向けた資料の充実を図るとともに、図書館に親しむための機会の提供に努める。																														
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="379 528 608 607">事業項目</th> <th data-bbox="608 528 836 607">実施事業</th> <th data-bbox="836 528 1098 607">内容</th> <th data-bbox="1098 528 1362 607">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="379 607 608 882">不用図書の提供</td> <td data-bbox="608 607 836 882">市内小・中学校への不用図書の提供</td> <td data-bbox="836 607 1098 882">市内3館分の児童向け不用図書を市立図書館に集め、市内の市立小・中学校担当者に提供する(市内図書館3館合同開催)</td> <td data-bbox="1098 607 1362 882">提供校数 20校 (うち南区5校) 提供冊数 1,189冊 (うち南区506冊)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 882 608 1048">子ども資料団体貸出の実施</td> <td data-bbox="608 882 836 1048">所蔵資料の団体貸出</td> <td data-bbox="836 882 1098 1048">小・中学校や保育園、ボランティア等へ一定冊数を長期間貸出する制度</td> <td data-bbox="1098 882 1362 1048">登録団体数 55団体 貸出冊数 延べ5,176冊</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1048 608 1182">施設見学等</td> <td data-bbox="608 1048 836 1182">調べ学習・施設見学の受入れ</td> <td data-bbox="836 1048 1098 1182">市内の小・中学校が行う調べ学習やまちたんけん等の受入れ</td> <td data-bbox="1098 1048 1362 1182">施設見学 2校 119名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1182 608 1317">職場体験等</td> <td data-bbox="608 1182 836 1317">職場体験の受け入れ</td> <td data-bbox="836 1182 1098 1317">窓口業務、書架整理、装備、資料探索など図書館業務の体験</td> <td data-bbox="1098 1182 1362 1317">6校 73名</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1317 608 1727">近隣学校との連携事業</td> <td data-bbox="608 1317 836 1727">子ども図書館まつり</td> <td data-bbox="836 1317 1098 1727">近隣の学校と連携し、各校の生徒が幼児、小学校低学年向けに工作、クイズ、POP作成、読み聞かせを実施</td> <td data-bbox="1098 1317 1362 1727">連携先 相模女子大学中学部・高等部、相模原中等教育学校、神奈川総合産業高校 連携先 参加者数 25人 利用者 参加者数 61人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1727 608 1962">学校案内コーナーの設置</td> <td data-bbox="608 1727 836 1962">高校案内コーナー及び大学・専門学校案内コーナーの設置</td> <td data-bbox="836 1727 1098 1962">市内及び近隣市に所在する高校・通信制サポート校・大学・短大・専門学校・高専の案内を収集し配架・展示</td> <td data-bbox="1098 1727 1362 1962">-</td> </tr> </tbody> </table>			事業項目	実施事業	内容	結果	不用図書の提供	市内小・中学校への不用図書の提供	市内3館分の児童向け不用図書を市立図書館に集め、市内の市立小・中学校担当者に提供する(市内図書館3館合同開催)	提供校数 20校 (うち南区5校) 提供冊数 1,189冊 (うち南区506冊)	子ども資料団体貸出の実施	所蔵資料の団体貸出	小・中学校や保育園、ボランティア等へ一定冊数を長期間貸出する制度	登録団体数 55団体 貸出冊数 延べ5,176冊	施設見学等	調べ学習・施設見学の受入れ	市内の小・中学校が行う調べ学習やまちたんけん等の受入れ	施設見学 2校 119名	職場体験等	職場体験の受け入れ	窓口業務、書架整理、装備、資料探索など図書館業務の体験	6校 73名	近隣学校との連携事業	子ども図書館まつり	近隣の学校と連携し、各校の生徒が幼児、小学校低学年向けに工作、クイズ、POP作成、読み聞かせを実施	連携先 相模女子大学中学部・高等部、相模原中等教育学校、神奈川総合産業高校 連携先 参加者数 25人 利用者 参加者数 61人	学校案内コーナーの設置	高校案内コーナー及び大学・専門学校案内コーナーの設置	市内及び近隣市に所在する高校・通信制サポート校・大学・短大・専門学校・高専の案内を収集し配架・展示	-
事業項目	実施事業	内容	結果																												
不用図書の提供	市内小・中学校への不用図書の提供	市内3館分の児童向け不用図書を市立図書館に集め、市内の市立小・中学校担当者に提供する(市内図書館3館合同開催)	提供校数 20校 (うち南区5校) 提供冊数 1,189冊 (うち南区506冊)																												
子ども資料団体貸出の実施	所蔵資料の団体貸出	小・中学校や保育園、ボランティア等へ一定冊数を長期間貸出する制度	登録団体数 55団体 貸出冊数 延べ5,176冊																												
施設見学等	調べ学習・施設見学の受入れ	市内の小・中学校が行う調べ学習やまちたんけん等の受入れ	施設見学 2校 119名																												
職場体験等	職場体験の受け入れ	窓口業務、書架整理、装備、資料探索など図書館業務の体験	6校 73名																												
近隣学校との連携事業	子ども図書館まつり	近隣の学校と連携し、各校の生徒が幼児、小学校低学年向けに工作、クイズ、POP作成、読み聞かせを実施	連携先 相模女子大学中学部・高等部、相模原中等教育学校、神奈川総合産業高校 連携先 参加者数 25人 利用者 参加者数 61人																												
学校案内コーナーの設置	高校案内コーナー及び大学・専門学校案内コーナーの設置	市内及び近隣市に所在する高校・通信制サポート校・大学・短大・専門学校・高専の案内を収集し配架・展示	-																												

内部評価	<p>学校における教育活動や読書活動の支援を目的に、職場体験、施設見学の受入を年間通して行ったほか、子ども資料団体貸出により授業等で使用する図書の貸出を行った。</p> <p>近隣学校との連携では、相模女子大学中学部・高等部、相模原中等教育学校、神奈川総合産業高校の図書委員会と連携し、幼児・小学校低学年を対象とした読み聞かせやクイズ等を行うイベントを実施した。中高生が、事業を運営する立場を経験することで、図書館が本の貸出に限らず、様々な事業を通して読書に親しむきっかけづくりを行っていることに触れられる機会となった。</p> <p>読書活動の支援については、不用図書の提供を市内全体でまとめて行うかたちに変更し、本の中身を確認しながら選書を行うことができるようにした。また、期間を1週間設けることで、各校の担当者が来館日時を調整できるようにした。</p> <p>市内全体の事業としたことで対象となる図書の冊数が増え、1校あたりに提供できる冊数が増えたことは好評であった。一方、選書の際に市立図書館に来館する必要があったため、リストにより選書を行い来館の必要がなかった昨年度と比べ南区内の学校の参加数は減少しており、今後はより参加しやすい方法を検討したい。</p>
------	---

事業4	利用しやすく快適な図書館環境の整備																											
事業内容	図書館ホームページやSNS等を活用し、積極的な図書館情報の提供を行うとともに、館内で利用者が過ごしやすい施設環境の整備・充実に取り組む。																											
実施内容	<table border="1" data-bbox="379 501 1356 1473"> <thead> <tr> <th data-bbox="379 501 603 584">事業項目</th> <th data-bbox="611 501 834 584">実施事業</th> <th data-bbox="842 501 1098 584">内容</th> <th data-bbox="1106 501 1356 584">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="379 595 603 1037" rowspan="3">窓口業務等委託の検証</td> <td data-bbox="611 595 834 734">聞かせてください、あなたのご意見・ご感想</td> <td data-bbox="842 595 1098 734">館内の意見箱に投函された意見や要望に回答</td> <td data-bbox="1106 595 1356 734">件数 46 件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="611 745 834 907">利用者の声</td> <td data-bbox="842 745 1098 907">窓口における利用者の意見等を、委託事業者が聞き取り、記録</td> <td data-bbox="1106 745 1356 907">件数 46 件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="611 918 834 1037">市民の声</td> <td data-bbox="842 918 1098 1037">市の広聴システムを通じた意見や希望の受付及び回答</td> <td data-bbox="1106 918 1356 1037">件数 28 件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="379 1048 603 1473" rowspan="3">計画的な施設修繕 館内安全及び利用環境の維持</td> <td data-bbox="611 1048 834 1167">壁穴修繕</td> <td data-bbox="842 1048 1098 1167">利用者フロア・事務室等にあった壁穴の修繕を実施</td> <td data-bbox="1106 1048 1356 1167">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="611 1178 834 1339">利用者用階段 段鼻塗装修繕</td> <td data-bbox="842 1178 1098 1339">利用者用階段の段鼻（滑り止め）を塗装し、視認性を向上させる修繕を実施</td> <td data-bbox="1106 1178 1356 1339">-</td> </tr> <tr> <td data-bbox="611 1350 834 1473">館内巡回の実施</td> <td data-bbox="842 1350 1098 1473">職員及び委託事業者による、定期的な館内巡回を実施</td> <td data-bbox="1106 1350 1356 1473">-</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	窓口業務等委託の検証	聞かせてください、あなたのご意見・ご感想	館内の意見箱に投函された意見や要望に回答	件数 46 件	利用者の声	窓口における利用者の意見等を、委託事業者が聞き取り、記録	件数 46 件	市民の声	市の広聴システムを通じた意見や希望の受付及び回答	件数 28 件	計画的な施設修繕 館内安全及び利用環境の維持	壁穴修繕	利用者フロア・事務室等にあった壁穴の修繕を実施	-	利用者用階段 段鼻塗装修繕	利用者用階段の段鼻（滑り止め）を塗装し、視認性を向上させる修繕を実施	-	館内巡回の実施	職員及び委託事業者による、定期的な館内巡回を実施	-
事業項目	実施事業	内容	結果																									
窓口業務等委託の検証	聞かせてください、あなたのご意見・ご感想	館内の意見箱に投函された意見や要望に回答	件数 46 件																									
	利用者の声	窓口における利用者の意見等を、委託事業者が聞き取り、記録	件数 46 件																									
	市民の声	市の広聴システムを通じた意見や希望の受付及び回答	件数 28 件																									
計画的な施設修繕 館内安全及び利用環境の維持	壁穴修繕	利用者フロア・事務室等にあった壁穴の修繕を実施	-																									
	利用者用階段 段鼻塗装修繕	利用者用階段の段鼻（滑り止め）を塗装し、視認性を向上させる修繕を実施	-																									
	館内巡回の実施	職員及び委託事業者による、定期的な館内巡回を実施	-																									
内部評価	<p>計画的な施設修繕を実施し、図書館内の利用環境を維持することで、業務の効率化と利用者サービスの向上を図った。</p> <p>窓口業務等委託の検証としては、館内に設置した意見箱や窓口における利用者の声を分析し、利用者サービス向上の参考としている。令和元年度は、図書館システム更新及び委託事業者の変更があったため、これらに伴う意見が多く寄せられた。</p> <p>開館から 30 年以上経過し、施設の老朽化に伴う課題が多く、応急的な対応措置も増えつつある。今後は計画的な修繕と合わせて実施し、利用者満足度の向上に努めたい。</p>																											

## (3) 橋本図書館

## 【平成 29 年度の主な事業】

- 事業 1 図書館資料の充実に係る事業  
 事業 2 図書館の利用促進に係る事業  
 事業 3 多彩な利用者のニーズに応える図書館サービスの実施  
 事業 4 図書館運営と図書館施設等の管理に係る事業

事業 1	図書館資料の充実に係る事業			
事業内容	橋本図書館及び管轄公民館図書室の蔵書構成を把握し、不足している分野や更新が必要な分野等については、重点的に蔵書の充実を図る。			
実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	テーマ別資料コーナーの充実	図書館資料の収集・提供	橋本図書館の特徴であるテーマ別資料コーナーで収集する資料の見直しと充実	29 年度各テーマの蔵書冊数と購入冊数 ・高齢者資料 940 冊(40 冊) ・子育て支援資料 2,904 冊(290 冊) ・ビジネス資料 11,040 冊(290 冊) ・コンピュータ・情報・通信資料 1,832 冊(54 冊) ・園芸資料 1,827 冊(25 冊) ・健康資料 6,429 冊(165 冊) ・児童文学資料 2,069 冊(38 冊) ・家政学・生活科学資料 7,599 冊(144 冊) ・音楽・演劇資料 6,582 冊(84 冊) ・ペット資料 1,166 冊(16 冊) ・資格・仕事資料 832 冊(37 冊) ・冠婚葬祭・スピーチ・手紙資料 954 冊(15 冊)

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	テーマ別資料コーナーの充実	図書資料の収集・提供	橋本図書館の特徴であるテーマ別資料コーナーで収集する資料の見直しと充実	年金・保険・税金資料 832冊(37冊) ・旅行ガイド資料 3,648冊(124冊)
	大活字本等の充実	大活字本の充実	障害者差別解消法の施行を踏まえ、通常の図書資料の利用が困難な利用者に向けた資料の充実	29年度蔵書冊数と購入冊数 1,448冊(57冊)  うち児童用大活字本 23冊(23冊)
		子どものための大活字本コーナー新設		蔵書冊数 23冊
障害者用視聴覚資料の充実		29年度所蔵点数と購入点数 ・カセット 1,510点(-) ・朗読CD 285点(24点)		
津久井地域図書室の資料充実	資料の充実	橋本図書館の不用除籍予定資料を有効活用し、津久井地域図書室の資料充実を図るための試行を実施	津久井地域図書室への移管冊数 合計 182冊  ・城山公民館図書室 1冊 ・津久井中央公民館図書室 29冊 ・串川ひがし地域センター図書室 40冊 ・青野原図書室 55冊 ・相模湖公民館図書室 27冊 ・藤野中央公民館図書室 30冊	

内部評価	<p>利用が多いテーマの家政学・生活科学関係資料と旅行関係の2つを中心に資料更新を図り、コーナーの蔵書鮮度を高めた。</p> <p>また、平成28年度に充実を図った大活字資料について、さらに対象を広げ、児童用大活字資料のコーナーを新設することで、大活字資料の一層の充実が図れた。</p> <p>津久井地域図書室の蔵書更新について、橋本図書館の不用除籍予定資料を活用する試行を実施し、その有効性について効果検証を行うことができた。</p> <p>全般を通じて、利用状況を踏まえた資料の購入による蔵書の充実が図れた一方で、開館16年目を迎え、開架・書庫ともに収蔵機能が厳しくなっている。今後は、橋本図書館の蔵書方針を改めて検討し、蔵書構築に反映させたい。</p>
利用者アンケート	<p>平成30年3月に実施したアンケートの実施結果では、今後橋本図書館が注力して取り組む事業として、「子どもを対象とした事業」「社会人を対象とした事業」「高齢者を対象とした事業」の3つがともに30%以上で、特に高齢者を対象とした事業は、前年度比で4.7ポイント伸びている。自由記入の意見・要望でも、児童書や実用書を望む意見の他に、相模原の昭和・大正時代の暮らしが分かる本や高齢者が楽しむことができる絵本の充実を求める記載があった。14のテーマのうち、高齢者に関する資料は他のテーマに比べ蔵書が少ないことから、高齢者に向けた事業に繋がる資料の充実を検討する必要がある。</p>

事業2	図書館の利用促進に係る事業																						
事業内容	図書館への関心を高め、図書館の利用促進を促すため、図書館が実施する事業の周知を利用者・未利用者に向けて積極的に行い、図書館利用の啓発に努める。																						
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="373 483 596 562">事業項目</th> <th data-bbox="596 483 820 562">実施事業</th> <th data-bbox="820 483 1086 562">内容</th> <th data-bbox="1086 483 1358 562">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="373 562 596 1529">図書館情報の発信</td> <td data-bbox="596 562 820 1529">館報及びブックリストの発行</td> <td data-bbox="820 562 1086 1529">橋本図書館が行う事業や蔵書の情報について、館報及びブックリストを活用した発信</td> <td data-bbox="1086 562 1358 1529">           種類と発行回数            ・YA ライブラリー 4回            ・こどもしんぶん「ほんのもり」 12回            ・子育て支援サービス情報誌「スマイルレター」 4回            ・ビジネス支援サービス「お役立ちブックリスト」 4回            ・就職支援サービス「就職情報の探し方&amp;ブックリスト」 4回            ・調べる本の紹介 3回            ・調べる本のしょうかいジュニア版 1回            ・健康情報サービスブックリスト「健康情報 news」 4回            ・はしもと図書館報「Hi!」 4回         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 1529 596 1912">図書館未利用者に向けた図書館情報発信</td> <td data-bbox="596 1529 820 1709">ソーシャルメディアの活用</td> <td data-bbox="820 1529 1086 1912" rowspan="2">図書館未利用者に向けた図書館情報の提供</td> <td data-bbox="1086 1529 1358 1709">Facebook・Twitter 発信回数 272回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 1709 596 1912"></td> <td data-bbox="596 1709 820 1912">ラジオ番組の活用</td> <td data-bbox="1086 1709 1358 1912">地元コミュニティFMを活用した情報発信(8月開始) 放送回数 8回 (毎週第1日曜日)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 1912 596 2016">図書館利用者支援</td> <td data-bbox="596 1912 820 2016">ガイドツアー</td> <td data-bbox="820 1912 1086 2016">書庫や図書整理室などの見学会</td> <td data-bbox="1086 1912 1358 2016">参加人数 延べ 28人</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	図書館情報の発信	館報及びブックリストの発行	橋本図書館が行う事業や蔵書の情報について、館報及びブックリストを活用した発信	種類と発行回数 ・YA ライブラリー 4回 ・こどもしんぶん「ほんのもり」 12回 ・子育て支援サービス情報誌「スマイルレター」 4回 ・ビジネス支援サービス「お役立ちブックリスト」 4回 ・就職支援サービス「就職情報の探し方&ブックリスト」 4回 ・調べる本の紹介 3回 ・調べる本のしょうかいジュニア版 1回 ・健康情報サービスブックリスト「健康情報 news」 4回 ・はしもと図書館報「Hi!」 4回	図書館未利用者に向けた図書館情報発信	ソーシャルメディアの活用	図書館未利用者に向けた図書館情報の提供	Facebook・Twitter 発信回数 272回		ラジオ番組の活用	地元コミュニティFMを活用した情報発信(8月開始) 放送回数 8回 (毎週第1日曜日)	図書館利用者支援	ガイドツアー	書庫や図書整理室などの見学会	参加人数 延べ 28人
事業項目	実施事業	内容	結果																				
図書館情報の発信	館報及びブックリストの発行	橋本図書館が行う事業や蔵書の情報について、館報及びブックリストを活用した発信	種類と発行回数 ・YA ライブラリー 4回 ・こどもしんぶん「ほんのもり」 12回 ・子育て支援サービス情報誌「スマイルレター」 4回 ・ビジネス支援サービス「お役立ちブックリスト」 4回 ・就職支援サービス「就職情報の探し方&ブックリスト」 4回 ・調べる本の紹介 3回 ・調べる本のしょうかいジュニア版 1回 ・健康情報サービスブックリスト「健康情報 news」 4回 ・はしもと図書館報「Hi!」 4回																				
図書館未利用者に向けた図書館情報発信	ソーシャルメディアの活用	図書館未利用者に向けた図書館情報の提供	Facebook・Twitter 発信回数 272回																				
	ラジオ番組の活用		地元コミュニティFMを活用した情報発信(8月開始) 放送回数 8回 (毎週第1日曜日)																				
図書館利用者支援	ガイドツアー	書庫や図書整理室などの見学会	参加人数 延べ 28人																				

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	図書館利用者支援	パソコン初心者講習会	パソコンの基本操作及び蔵書検索の利用方法等の初心者向け講習会	参加人数 延べ 217 人
		調べ学習体験講座	図書館と市民をつなぐ会・相模原の共催による小・中学生を対象にした図書館資料とインターネットを使った調べ学習の体験講座	参加者数 12 人
		マナー展示 「みんなの本を大切に」	マナー向上と図書館資料の利用方法を啓発するための破損・水濡れ等の資料展示	展示回数 1 回
内部評価	<p>昨年度に引き続き、各種ブックリストの作成・更新を行うことで、新刊以外の所蔵資料の利用促進に資することができた。特に児童書に関するブックリスト「ほんのもり」は、発行頻度を隔月から毎月を増やすことで、児童及び児童の読書に関わる利用者に対する利用促進に努めることができた。</p> <p>未利用者に対しては、ソーシャルメディアを積極的に活用し、Facebook 及び Twitter で 272 回の情報発信をするとともに、新たに地元コミュニティ FM の番組と連携し、本やイベントの紹介を行うことで、未利用者等に向けた利用促進を図ることができた。</p> <p>今後は、情報発信により図書館に関心を持った利用者が、継続して図書館を利用できるよう、図書館利用者支援に係る事業の検討に取り組みたい。</p>			
利用者アンケート	<p>アンケートの実施結果では、良いと思われる事業としてブックリストは 22.0% で昨年の 14.9% から 7.1 ポイント向上している。意見・要望では「ブックリスト発行は、大変助かります。」の記載があり、ブックリストが図書館資料の利用促進に資するものと考えられる。</p> <p>また、ブックリストの発行を周知するためにソーシャルメディアによる情報発信を積極的に行ったことにより、利用者の関心が高まったものと考えられるため、引き続き積極的に取組を進めたい。</p> <p>一方で、ソーシャルメディアを活用した新刊入荷案内を希望する意見も寄せられていることから、蔵書に関する効果的な情報発信について検討する必要がある。</p>			

事業3	多彩な利用者のニーズに応える図書館サービスの実施																														
事業内容	来館者に向けて様々な主題のテーマ展示を定期的を実施することで、多彩な利用者のニーズに応え、図書館資料の貸出に繋げる。同時に、図書館以外の機関と連携をすることにより、幅広い知識に触れることができる機会を提供する。																														
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="373 506 603 589">事業項目</th> <th data-bbox="603 506 831 589">実施事業</th> <th data-bbox="831 506 1098 589">内容</th> <th data-bbox="1098 506 1364 589">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="373 589 603 1131" rowspan="3">企画展示</td> <td data-bbox="603 589 831 772">企画展示</td> <td data-bbox="831 589 1098 772">読書への関心を高めるため、テーマと時期と展示場所を予め定めて実施</td> <td data-bbox="1098 589 1364 772">展示回数 80 回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 772 831 952">随時展示</td> <td data-bbox="831 772 1098 952">活字文化に深く関わりのある方の訃報や時事に合わせた展示</td> <td data-bbox="1098 772 1364 952">展示回数 5 回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 952 831 1131">特別展示</td> <td data-bbox="831 952 1098 1131">女子美術大学大学院在学の栗田ふみか氏が作成した木版画作品の展示</td> <td data-bbox="1098 952 1364 1131">展示回数 3 回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 1131 603 1883" rowspan="4">図書館以外の機関等との連携事業</td> <td data-bbox="603 1131 831 1314">庁内情報発信</td> <td data-bbox="831 1131 1098 1314">相模原市に関する情報や行政の取組などを展示</td> <td data-bbox="1098 1131 1364 1314">件数 11 件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 1314 831 1516">橋本まちゼミ<sup>51</sup> 応援展示</td> <td data-bbox="831 1314 1098 1516">橋本商店街協同組合と連携し、個々のゼミや実施する業種に関連したブックリストの作成</td> <td data-bbox="1098 1314 1364 1516">展示回数 1 回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 1516 831 1686">相模原総合高等学校協働企画「Wisdom Tree」</td> <td data-bbox="831 1516 1098 1686">相模原総合高等学校生徒によるおすすめ本の紹介文とともに本を展示</td> <td data-bbox="1098 1516 1364 1686">展示回数 1 回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 1686 831 1883">わらべうた遊びと子育てのつどい</td> <td data-bbox="831 1686 1098 1883">わらべうたの実演と保健師との子育てに関する情報交換を橋本公民館と連携し開催</td> <td data-bbox="1098 1686 1364 1883">参加人数 35 人</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	企画展示	企画展示	読書への関心を高めるため、テーマと時期と展示場所を予め定めて実施	展示回数 80 回	随時展示	活字文化に深く関わりのある方の訃報や時事に合わせた展示	展示回数 5 回	特別展示	女子美術大学大学院在学の栗田ふみか氏が作成した木版画作品の展示	展示回数 3 回	図書館以外の機関等との連携事業	庁内情報発信	相模原市に関する情報や行政の取組などを展示	件数 11 件	橋本まちゼミ <sup>51</sup> 応援展示	橋本商店街協同組合と連携し、個々のゼミや実施する業種に関連したブックリストの作成	展示回数 1 回	相模原総合高等学校協働企画「Wisdom Tree」	相模原総合高等学校生徒によるおすすめ本の紹介文とともに本を展示	展示回数 1 回	わらべうた遊びと子育てのつどい	わらべうたの実演と保健師との子育てに関する情報交換を橋本公民館と連携し開催	参加人数 35 人
事業項目	実施事業	内容	結果																												
企画展示	企画展示	読書への関心を高めるため、テーマと時期と展示場所を予め定めて実施	展示回数 80 回																												
	随時展示	活字文化に深く関わりのある方の訃報や時事に合わせた展示	展示回数 5 回																												
	特別展示	女子美術大学大学院在学の栗田ふみか氏が作成した木版画作品の展示	展示回数 3 回																												
図書館以外の機関等との連携事業	庁内情報発信	相模原市に関する情報や行政の取組などを展示	件数 11 件																												
	橋本まちゼミ <sup>51</sup> 応援展示	橋本商店街協同組合と連携し、個々のゼミや実施する業種に関連したブックリストの作成	展示回数 1 回																												
	相模原総合高等学校協働企画「Wisdom Tree」	相模原総合高等学校生徒によるおすすめ本の紹介文とともに本を展示	展示回数 1 回																												
	わらべうた遊びと子育てのつどい	わらべうたの実演と保健師との子育てに関する情報交換を橋本公民館と連携し開催	参加人数 35 人																												

51 橋本駅周辺の店舗等が講師となって専門知識を教える、少人数制のミニ講座。

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	図書館以外の機関等との連携事業		真夏の忍者修行	忍者修行をテーマにした工作やダンスパフォーマンスの実施 アートラボはしもと・桜美林大学との共催
		調べ学習体験講座[P135 再掲]	小学生を対象に図書館資料とインターネットを使った調べ学習を実施 図書館と市民をつなぐ会・相模原との共催	参加者数 12 人
講座・講演会等		パソコン初心者講習会 [P135 再掲]	初心者向けに、パソコンの基本操作及び蔵書検索の利用方法について学ぶ講習会	参加人数 延べ 217 人
		ガイドツアー [P134 再掲]	書庫や図書整理室などの見学会を実施	参加人数 延べ 28 人
		わらべうた遊びと子育てのつどい[P136 再掲]	わらべうたの実演と保健師との子育てに関する情報交換を橋本公民館と連携し開催	参加人数 35 人
		相模原歴史探訪	津久井城や橋本駅周辺の文化財に関する講座を開催	参加者数 延べ 34 人
講座・講演会等		健康情報講座 「接骨院の先生に学ぼう美しい姿勢・正しい姿勢特集」	柔道整復師による痛みの出ない身体を作る姿勢に関する講座を開催	参加人数 19 人
		YA向け講座 「これだけは知っておきたいもっと上手なお金の使い方」	学生が巻き込まれるかもしれない携帯電話やネットにまつわるトラブル防止について講座を開催	参加人数 9 人
		1日図書館員	本の貸出・返却などのカウンター業務等の体験	参加人数 延べ 24 人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	講座・講演会等	読み聞かせ・おはなしボランティア交流・勉強会	市内の学校等で読み聞かせボランティアを行っている方たちの交流会を開催	参加人数 14
		読み聞かせボランティア養成&ステップアップ講座	子育てアドバイザーによる絵本の読み聞かせの心構え・技術に関する講座を開催	参加人数 41人
		橋本手づくりサロン	身近な素材で気軽に手芸や工作を楽しむ会を開催	参加人数 延べ 29人
		読書会	読書を通じて参加者同士の交流が持てる会を開催	参加人数 延べ 26
内部評価	<p>企画展示では、館内にある9か所の展示場所と分類の棚を活用し89回の展示を実施することにより、多彩な利用者のニーズに対して様々な切り口で所蔵資料を紹介し貸出に繋げることができた。</p> <p>橋本公民館との連携による「わらべうた遊びと子育てのつどい」を開催し、子育て世代の利用者に実践的な知識に触れる機会を提供した。</p> <p>また、橋本手づくりサロンや読書会など、共通の興味関心を持つ利用者同士がお互い感想を述べ合う機会を設けることで交流の場づくりを進めることができた。</p> <p>今後も、来館者ニーズの多様化を踏まえ、所蔵資料の活用や関係機関との連携を進め、幅広い知識に触れる機会を提供できるように努めたい。</p>			
利用者アンケート	<p>アンケートの実施結果から、「おはなし会」や「読書会」、「相模原歴史探訪」の講座は評価が高く、特に、「相模原歴史探訪」は60～80代から高い評価をいただいた。引き続き地域の歴史を振り返る機会となる事業の充実が求められていると感じている。</p> <p>一方で、意見・要望で「忙しいのでビジネス講座とかやっても参加できない」「土日に社会人向け講座がもっと有るといいと思います」の記載があることから、社会人に対する講座・講演会の実施方法の検討を行う必要がある。</p> <p>また、企画展示は毎週・2週間・月数回来館している回答者の関心が高かったが、当館の展示入替は1か月～3か月のサイクルで行っているため、このタイミングが効果的かを検証する必要がある。</p>			

事業4	図書館運営と図書館施設等の管理に係る事業																			
事業内容	窓口業務等の委託による効率的な運営と、図書館施設等の維持管理を計画的に実施することで、利用者が図書館を安全に安心して利用できるように努める。																			
実施内容	<table border="1" data-bbox="373 483 1366 1245"> <thead> <tr> <th data-bbox="373 483 603 566">事業項目</th> <th data-bbox="603 483 833 566">実施事業</th> <th data-bbox="833 483 1098 566">内容</th> <th data-bbox="1098 483 1366 566">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="373 566 603 947" rowspan="2">委託事業者による提案</td> <td data-bbox="603 566 833 674">委託事業者提案事業</td> <td data-bbox="833 566 1098 947" rowspan="2">委託事業者による提案事業等により、民間事業者のノウハウを図書館運営に生かす</td> <td data-bbox="1098 566 1366 674">件数 110 件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 674 833 947">事務改善提案</td> <td data-bbox="1098 674 1366 947">提案件数 8 件 採用 2 件 一部採用 6 件 不採用 1 件 改善例：研修室のヘッドホンの取り扱いについて</td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 947 603 1245" rowspan="2">図書館内の安全及び維持管理</td> <td data-bbox="603 947 833 1088">子ども用トイレ洗面台修繕</td> <td data-bbox="833 947 1098 1245" rowspan="2">施設の状況の把握に努め、必要に応じて改善し、利用環境の向上を図る</td> <td data-bbox="1098 947 1366 1088">汚破損した洗面台の修繕</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 1088 833 1245">こどものほんのコーナー床修繕</td> <td data-bbox="1098 1088 1366 1245">汚れが著しいおはなしのへやのじゅうたんを交換</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	委託事業者による提案	委託事業者提案事業	委託事業者による提案事業等により、民間事業者のノウハウを図書館運営に生かす	件数 110 件	事務改善提案	提案件数 8 件 採用 2 件 一部採用 6 件 不採用 1 件 改善例：研修室のヘッドホンの取り扱いについて	図書館内の安全及び維持管理	子ども用トイレ洗面台修繕	施設の状況の把握に努め、必要に応じて改善し、利用環境の向上を図る	汚破損した洗面台の修繕	こどものほんのコーナー床修繕	汚れが著しいおはなしのへやのじゅうたんを交換
事業項目	実施事業	内容	結果																	
委託事業者による提案	委託事業者提案事業	委託事業者による提案事業等により、民間事業者のノウハウを図書館運営に生かす	件数 110 件																	
	事務改善提案		提案件数 8 件 採用 2 件 一部採用 6 件 不採用 1 件 改善例：研修室のヘッドホンの取り扱いについて																	
図書館内の安全及び維持管理	子ども用トイレ洗面台修繕	施設の状況の把握に努め、必要に応じて改善し、利用環境の向上を図る	汚破損した洗面台の修繕																	
	こどものほんのコーナー床修繕		汚れが著しいおはなしのへやのじゅうたんを交換																	
内部評価	<p>平成 29 年度は、委託事業者から提出された企画展示 89 件、イベント 21 件の提案事業を実施し、図書館利用の促進に繋がる民間のノウハウを生かすことができた。</p> <p>また、委託事業者から 8 件の事務改善の提案があり、1 件は協議の結果見送ったが、2 件は業務に取り入れ、5 件は一部業務への反映を行い、民間ならではの視点を取り入れた運営を行うことができた。引き続き民間企業の視点とノウハウを生かした提案を参考にしながら、効率的・効果的な図書館運営に努めたい。</p>																			
利用者アンケート	<p>昨年に引き続き、今年度のアンケートの実施結果でも委託事業者の窓口対応について「親切で利用しやすいです」「対応がとて素晴らしいと思います」のような好意的な記載が多かった。</p> <p>維持管理面では、「空調が暑すぎると思う」などの改善を求める声もあったため、引き続き、委託事業者と図書館内の情報共有に努め、適切な対応を心がける必要がある。</p>																			

## 【平成 30 年度の主な事業】

事業 1	図書館資料の充実に係る事業
事業 2	図書館の利用促進に係る事業
事業 3	多彩な利用者のニーズに応える図書館サービスの実施
事業 4	図書館運営と図書館施設等の管理に係る事業

事業 1	図書館資料の充実に係る事業			
事業内容	橋本図書館の蔵書構成を把握し、不足している分野や更新が必要な分野等については、重点的に蔵書の充実を図る。			
実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	テーマ別資料コーナーの充実	図書館資料の収集・提供	橋本図書館の特徴であるテーマ別資料コーナーで収集する資料の見直しと充実	<p>30 年度各テーマの蔵書冊数と購入冊数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者資料 841 冊(47 冊)</li> <li>・子育て支援資料 2,940 冊(66 冊)</li> <li>・ビジネス資料 11,129 冊(296 冊)</li> <li>・コンピュータ・情報・通信資料 1,839 冊(58 冊)</li> <li>・園芸資料 1,840 冊(26 冊)</li> <li>・健康資料 5,789 冊(180 冊)</li> <li>・児童文学資料 2,106 冊(37 冊)</li> <li>・家政学・生活科学資料 7,441 冊(185 冊)</li> <li>・音楽・演劇資料 6,700 冊(97 冊)</li> <li>・ペット資料 1,050 冊(16 冊)</li> <li>・資格・仕事資料 708 冊(35 冊)</li> <li>・冠婚葬祭・スピーチ・手紙資料 865 冊(13 冊)</li> </ul>

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	テーマ別資料コーナーの充実	図書資料の収集・提供	橋本図書館の特徴であるテーマ別資料コーナーで収集する資料の見直しと充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年金・保険・税金資料 850冊(39冊)</li> <li>・旅行ガイド資料 3,443冊(125冊)</li> </ul>
	どなたにもやさしい本の充実	どなたにもやさしいコーナーの新設	障害者差別解消法の施行を踏まえ、通常の図書資料の利用が困難な利用者に向けた資料の充実	蔵書冊数 161冊
		大活字本の充実		30年度蔵書冊数と購入冊数 1,496冊(60冊) うち児童用大活字本 33冊(10冊)
		障害者用視聴覚資料の充実		30年度所蔵点数と購入点数 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カセット 1,484点(-)</li> <li>・朗読CD 132点(24点)</li> <li>・DAISY 51点(-)</li> </ul>
城山公民館図書室移転に伴う除架資料の有効活用	資料の充実	城山公民館図書室移転に伴い、当該図書室が不用とした除架資料の内、図書館として活用すべき資料を移管	4館への移管冊数 734冊	
内部評価	<p>昨年度に引き続き、利用が多いテーマの家政学・生活科学関係資料と旅行関係の2つを中心に資料更新を図り、コーナーの蔵書鮮度を高めた。</p> <p>さらに、書庫を中心に情報が古い資料の除籍を実施したことにより、開架書架に余裕が生まれ、前述以外のコーナーにおいても開架書架の鮮度を高めた。</p> <p>また、昨年度充実を図った大活字資料から、更に対象を広げ「どなたにもやさしいコーナー」を新設することで、文字を読むことが難しい人たちも本に触れることができる資料の充実が図れた。</p> <p>城山公民館図書室移転に伴う除架資料の有効活用については、当該公民館が平成31年度に移転をするため、平成30年度・平成31年度の2年にわたり、公民館図</p>			

	<p>書室が除架をする約9千冊の資料の中から本市図書館の蔵書充実に繋がる資料を確認することに努めた。</p> <p>全般を通じて、橋本図書館の特色を生かすための蔵書構築をより一層図ることができた。一方で、昨年度試行で実施した津久井地域の蔵書更新を本実施に移行させることができなかった。引き続き橋本図書館の蔵書の特色を生かしつつ、所蔵資料を生かした緑区全体の蔵書充実を図りたい。</p>
<p>利用者 アンケート</p>	<p>平成31年3月に実施した「事業に関するアンケート」の実施結果では、今後橋本図書館が注力して取り組む事業として平成28年度と同じ「子どもを対象とした事業」「社会人を対象とした事業」の2つがともに30%以上だった。「外国人を対象とした事業」が前年比で0.2ポイント伸びていることから関心が高まっていることが伺える。自由記入の意見・要望では、医療・健康本を始めとした資料更新を望む記載があった。14あるテーマのうち、健康・医療の蔵書更新は前年比0.2ポイント伸びているが、ビジネスに関しては-0.6ポイントであることから、最新の情報が求められるコーナーについては、蔵書構築の検討を行う必要がある。</p>

事業2	図書館の利用促進に係る事業																	
事業内容	図書館への関心を高め、図書館の利用促進を促すため、図書館が実施する事業の周知を利用者・未利用者に向けて積極的に行い、図書館利用の啓発に努める。																	
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="373 483 596 566">事業項目</th> <th data-bbox="596 483 820 566">実施事業</th> <th data-bbox="820 483 1086 566">内容</th> <th data-bbox="1086 483 1358 566">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="373 566 596 1496">図書館情報の発信</td> <td data-bbox="596 566 820 1496">ブックリストの発行</td> <td data-bbox="820 566 1086 1496">橋本図書館が行う事業や蔵書の情報について、館報及びブックリストを活用した発信</td> <td data-bbox="1086 566 1358 1496">           種類と発行回数            ・YA ライブラリー 4回            ・こどもしんぶん「ほんのもり」 13回            ・子育て支援サービス情報誌「スマイルレター」 4回            ・ビジネス支援サービス「お役立ちブックリスト」 3回            ・就職支援サービス「就職情報の探し方&amp;ブックリスト」 3回            ・調べる本の紹介 3回            ・調べる本のしょうかいジュニア版 1回            ・健康情報サービスブックリスト「健康情報 news」 5回            ・はしもと図書館報「Hi♪」 4回         </td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 1496 596 1877" rowspan="2">図書館未利用者に向けた図書館情報発信</td> <td data-bbox="596 1496 820 1675">ソーシャルメディアの活用</td> <td data-bbox="820 1496 1086 1877" rowspan="2">図書館未利用者に向けた図書館情報の提供</td> <td data-bbox="1086 1496 1358 1675">Facebook・Twitter 発信回数 236回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="596 1675 820 1877">ラジオ番組の活用</td> <td data-bbox="1086 1675 1358 1877">地元コミュニティFMを活用した情報発信 放送回数 12回 (毎週第1日曜日)</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	図書館情報の発信	ブックリストの発行	橋本図書館が行う事業や蔵書の情報について、館報及びブックリストを活用した発信	種類と発行回数 ・YA ライブラリー 4回 ・こどもしんぶん「ほんのもり」 13回 ・子育て支援サービス情報誌「スマイルレター」 4回 ・ビジネス支援サービス「お役立ちブックリスト」 3回 ・就職支援サービス「就職情報の探し方&ブックリスト」 3回 ・調べる本の紹介 3回 ・調べる本のしょうかいジュニア版 1回 ・健康情報サービスブックリスト「健康情報 news」 5回 ・はしもと図書館報「Hi♪」 4回	図書館未利用者に向けた図書館情報発信	ソーシャルメディアの活用	図書館未利用者に向けた図書館情報の提供	Facebook・Twitter 発信回数 236回	ラジオ番組の活用	地元コミュニティFMを活用した情報発信 放送回数 12回 (毎週第1日曜日)
事業項目	実施事業	内容	結果															
図書館情報の発信	ブックリストの発行	橋本図書館が行う事業や蔵書の情報について、館報及びブックリストを活用した発信	種類と発行回数 ・YA ライブラリー 4回 ・こどもしんぶん「ほんのもり」 13回 ・子育て支援サービス情報誌「スマイルレター」 4回 ・ビジネス支援サービス「お役立ちブックリスト」 3回 ・就職支援サービス「就職情報の探し方&ブックリスト」 3回 ・調べる本の紹介 3回 ・調べる本のしょうかいジュニア版 1回 ・健康情報サービスブックリスト「健康情報 news」 5回 ・はしもと図書館報「Hi♪」 4回															
図書館未利用者に向けた図書館情報発信	ソーシャルメディアの活用	図書館未利用者に向けた図書館情報の提供	Facebook・Twitter 発信回数 236回															
	ラジオ番組の活用		地元コミュニティFMを活用した情報発信 放送回数 12回 (毎週第1日曜日)															

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	図書館利用者支援	ガイドツアー	書庫や図書整理室などの見学会	参加人数 延べ 37 人
		パソコン初心者講習会	パソコンの基本操作及び蔵書検索の利用方法等の初心者向け講習会	参加人数 延べ 151 人
		調べ学習体験講座	図書館と市民をつなぐ会・相模原の共催による小・中学生を対象にした図書館資料とインターネットを使った調べ学習の体験講座	参加者数 12 人
内部評価	<p>昨年度に引き続き、各種ブックリストの作成・更新を行うことで、新着図書から所蔵している資料まで幅広く資料を活用して利用促進に資することができた。</p> <p>また、ビジネス支援及び就業に係るブックリストについては、これまでに発行したブックリストの改訂に努めることにより、情報の刷新を行うことができた。</p> <p>未利用者に対しては、昨年度から取組を始めた地元コミュニティ FM の番組を継続することにより、未利用者への利用促進を図ることができた。</p> <p>一方で、ソーシャルメディアの活用は、Facebook 及び Twitter の活用が 236 回にとどまり、昨年度と比べて 36 回少なかった。</p> <p>今後は、図書館に関心を持つ利用者が、継続して図書館を利用したい、あるいは定期的に来館したくなるよう、図書館利用者支援に係る事業の検討に取り組みたい。</p>			
利用者アンケート	<p>「事業に関するアンケート」の実施結果では、本の紹介に繋がるブックリストや館報に対する認知度は 14.9% で 1 割を超えていた。</p> <p>また、意見・要望では、取り組む事業に関して「知らなかった」「どのように案内をしているのか」「事前に知っていれば参加したい」などの記載があり、図書館からの周知が不足していたことが考えられる。</p> <p>一方で、おはなし会の認知度は 44.7% あり、意見・要望では「子供向けの催しを色々開催しているのはお知らせ等で知っていた」の記載から、子供向けの事業に対する周知は一定の効果があったと評価できる。</p> <p>今後は、関心を持たない人に向けた館内外における広報手段を検討する必要がある。</p>			

事業3	多彩な利用者のニーズに応える図書館サービスの実施																														
事業内容	来館者に向けて様々な主題のテーマ展示を定期的を実施することで、多彩な利用者のニーズに応え、図書館資料の貸出に繋げる。同時に、図書館以外の機関と連携をすることにより、幅広い知識に触れることが出来る機会を提供する。																														
実施内容	<table border="1" data-bbox="373 506 1366 1870"> <thead> <tr> <th data-bbox="373 506 603 589">事業項目</th> <th data-bbox="603 506 831 589">実施事業</th> <th data-bbox="831 506 1098 589">内容</th> <th data-bbox="1098 506 1366 589">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="373 589 603 1032" rowspan="3">企画展示</td> <td data-bbox="603 589 831 759">企画展示</td> <td data-bbox="831 589 1098 759">読書への関心を高めるため、テーマと時期と展示場所を予め定めて実施</td> <td data-bbox="1098 589 1366 759">展示回数 99 回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 759 831 900">随時展示</td> <td data-bbox="831 759 1098 900">活字文化に深く関わりのある方の訃報や時事に合わせた展示</td> <td data-bbox="1098 759 1366 900">展示回数 6 回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 900 831 1032">特別展示</td> <td data-bbox="831 900 1098 1032">女子美術大学大学院卒の芸術家、梶浦奈緒子氏の作品展</td> <td data-bbox="1098 900 1366 1032">展示回数 4 回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 1032 603 1870" rowspan="4">図書館以外の機関等との連携事業</td> <td data-bbox="603 1032 831 1182">庁内情報発信</td> <td data-bbox="831 1032 1098 1182">相模原市に関する情報や行政の取組などを展示</td> <td data-bbox="1098 1032 1366 1182">件数 16 件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 1182 831 1386">橋本まちゼミ応援展示</td> <td data-bbox="831 1182 1098 1386">橋本商店街協同組合と連携し、個々のゼミや実施する業種に関連したブックリストの作成</td> <td data-bbox="1098 1182 1366 1386">展示回数 1 回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 1386 831 1563">わらべうたで遊びましょう</td> <td data-bbox="831 1386 1098 1563">わらべうたの実演と子育てに関する情報交換を橋本公民館と連携し開催</td> <td data-bbox="1098 1386 1366 1563">参加人数 45 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 1563 831 1870">なつやすみ勇者計画～勇気をあつめる！ももたろうとオニ退治</td> <td data-bbox="831 1563 1098 1870">「ももたろう」をテーマにしたワークショップと演劇を実施 アートラボはしもと・桜美林大学・杜のホールはしもとの共催</td> <td data-bbox="1098 1563 1366 1870">参加人数 327 人</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	企画展示	企画展示	読書への関心を高めるため、テーマと時期と展示場所を予め定めて実施	展示回数 99 回	随時展示	活字文化に深く関わりのある方の訃報や時事に合わせた展示	展示回数 6 回	特別展示	女子美術大学大学院卒の芸術家、梶浦奈緒子氏の作品展	展示回数 4 回	図書館以外の機関等との連携事業	庁内情報発信	相模原市に関する情報や行政の取組などを展示	件数 16 件	橋本まちゼミ応援展示	橋本商店街協同組合と連携し、個々のゼミや実施する業種に関連したブックリストの作成	展示回数 1 回	わらべうたで遊びましょう	わらべうたの実演と子育てに関する情報交換を橋本公民館と連携し開催	参加人数 45 人	なつやすみ勇者計画～勇気をあつめる！ももたろうとオニ退治	「ももたろう」をテーマにしたワークショップと演劇を実施 アートラボはしもと・桜美林大学・杜のホールはしもとの共催	参加人数 327 人
事業項目	実施事業	内容	結果																												
企画展示	企画展示	読書への関心を高めるため、テーマと時期と展示場所を予め定めて実施	展示回数 99 回																												
	随時展示	活字文化に深く関わりのある方の訃報や時事に合わせた展示	展示回数 6 回																												
	特別展示	女子美術大学大学院卒の芸術家、梶浦奈緒子氏の作品展	展示回数 4 回																												
図書館以外の機関等との連携事業	庁内情報発信	相模原市に関する情報や行政の取組などを展示	件数 16 件																												
	橋本まちゼミ応援展示	橋本商店街協同組合と連携し、個々のゼミや実施する業種に関連したブックリストの作成	展示回数 1 回																												
	わらべうたで遊びましょう	わらべうたの実演と子育てに関する情報交換を橋本公民館と連携し開催	参加人数 45 人																												
	なつやすみ勇者計画～勇気をあつめる！ももたろうとオニ退治	「ももたろう」をテーマにしたワークショップと演劇を実施 アートラボはしもと・桜美林大学・杜のホールはしもとの共催	参加人数 327 人																												

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	図書館以外の機関等との連携事業		調べ学習体験講座[P144 再掲]	小学生を対象に図書館資料とインターネットを使った調べ学習を実施 図書館と市民をつなぐ会・相模原との共催
講座・講演会		パソコン初心者講習会 [P144 再掲]	初心者向けに、パソコンの基本操作及び蔵書検索の利用方法について学ぶ講習会	参加人数 延べ 151人
		ガイドツアー [P144 再掲]	書庫や図書整理室などの見学会を実施	参加人数 延べ 37人
		わらべうたで遊びましょう [P145 再掲]	わらべうたの実演と子育てに関する情報交換を橋本公民館と連携し開催	参加人数 45人
		相模原歴史探訪	津久井城や橋本駅周辺の文化財に関する講座を年2回開催	参加者数 延べ 40人
		明治 150 年関連展示 「明治 150 年とさがみはら」ギャラリートーク 「明治と三角点」	明治 150 年に合わせ、相模山路会会員による緑区内の三角点についてのギャラリートーク	参加人数 11人
		1 日図書館員	本の貸出・返却などのカウンター業務等の体験	参加人数 延べ 24人
講座・講演会		健康情報講座 「ストレスとの上手なつきあいかた」	健康支援として関心の高い「ストレス」をテーマにした講座を開催	参加人数 19人
		YA 世代向けワークショップ 「本と遊ぼう」	本から抜き出した小説の一文を交換し、続きを創作するワークショップ	参加人数 4人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	講座・講演会	読み聞かせ・おはなしボランティア交流・勉強会	市内の学校等で読み聞かせボランティアを行っている方たちの交流会を開催	参加人数 10人
		読み聞かせボランティア養成&ステップアップ講座	おはなしワニーズ代表の富永ナル子氏による後援及び活動団体の情報交換・交流会を開催	参加人数 13人
		図書館 de チャレンジ	読書会や工作など、様々なテーマを取り上げ、少人数で行うワークショップを開催	参加人数 延べ 92人
		副音声付映画鑑賞会「天国からのエール」	字幕や音声ガイド付きの映画会を上映	参加人数 17人
		認知症サポーター養成講座「認知症サポーターになろう！」	相模原市キャラバンメイトによる認知症に関する講座を開催	参加人数 29人
内部評価	<p>企画展示では、入口横展示を始めとする 10 か所以上の展示場所と分類の棚を活用し 99 回の展示を実施することで、多様化する利用者のニーズに対して様々な切り口で所蔵資料を紹介し、展示した本の平均 97%の利用率で貸出に繋げることができた。</p> <p>昨年度に引き続き橋本公民館との連携では、講座の内容を見直し、子育て経験者のボランティアがわらべうたを実演とアドバイスを行うことで、子育て世代の利用者が実践的な知識と経験に触れる機会を提供した。</p> <p>また、昨年度まで実施していた橋本手づくりサロンや読書会は「図書館 de チャレンジ」と名称を変更し、利用者同士が趣味や読書を通じて交流ができる場づくりに努めた。</p> <p>さらに、明治 150 年関連展示「明治 150 年とさがみはら」では、展示に先立ち、神奈川新聞において 5 回にわたり当該展示に関連する記事の連載及びギャラリートークを開催することで、館内外に向けた事業を実施した。</p> <p>今後も、多彩な利用者のニーズに応えることができるように、所蔵資料の活用や関係機関との連携を進め、幅広い知識に触れる機会を提供できるように努めたい。</p>			

利用者 アンケート	<p>「事業に関するアンケート」の実施結果から、「おはなし会」「展示」「図書館 de チャレンジ」の評価が高く、特に「おはなし会」は子育て世代の30代～40代から、「展示」及び「図書館 de チャレンジ」は幅広い年代からそれぞれ評価をいただいた。意見・要望では「本の表紙をみせる棚があり工夫されているのがすばらしい」の記載もあり、定期的実施する展示が一定の効果があると考えられる。</p> <p>一方で、意見・要望では、高齢者に向けた勉強会・講演会の実施や高齢者のコミュニティの場となるイベントの開催を求める記載があることから、60歳以上の利用者が関心を持つ事業の検討を行う必要がある。特に、「パソコン初心者講習会に参加したい」など、パソコン初心者講習会に関する記載が複数あることから、研修室を活用した事業を検討する必要がある。</p>
--------------	--

事業4	図書館運営と図書館施設等の管理に係る事業																							
事業内容	<p>窓口業務委託による効率的な運営と、図書館施設等の維持管理を計画的に実施することで、利用者が図書館を安全に安心して利用できるように努める。</p> <p>また、ボランティアとの協働による図書館運営にも努める。</p>																							
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="373 506 603 589">事業項目</th> <th data-bbox="603 506 831 589">実施事業</th> <th data-bbox="831 506 1098 589">内容</th> <th data-bbox="1098 506 1364 589">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="373 589 603 972" rowspan="2">ボランティアとの協働</td> <td data-bbox="603 589 831 770">読み聞かせ・おはなしボランティア交流・勉強会 [P147 再掲]</td> <td data-bbox="831 589 1098 972" rowspan="2">図書館の事業におけるボランティアとの協働に努める</td> <td data-bbox="1098 589 1364 770">参加人数 10人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 770 831 972">読み聞かせボランティア養成&amp;ステップアップ講座 [P147 再掲]</td> <td data-bbox="1098 770 1364 972">参加人数 13人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 972 603 1346" rowspan="2">委託事業者による提案</td> <td data-bbox="603 972 831 1106">委託事業者提案事業</td> <td data-bbox="831 972 1098 1346" rowspan="2">委託事業者による提案事業等により、民間事業者のノウハウを図書館運営に生かす</td> <td data-bbox="1098 972 1364 1106">件数 137件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 1106 831 1346">事務改善提案</td> <td data-bbox="1098 1106 1364 1346">提案件数 1件 採用 1件 内容 としょかんコミュニケーションボードの設置</td> </tr> <tr> <td data-bbox="373 1346 603 1514">図書館内の安全及び維持管理</td> <td data-bbox="603 1346 831 1514">掲示板修繕</td> <td data-bbox="831 1346 1098 1514">施設の状況の把握に努め、必要に応じて改善し、利用環境の向上を図る</td> <td data-bbox="1098 1346 1364 1514">情報発信として活用する掲示板の設置修繕</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	ボランティアとの協働	読み聞かせ・おはなしボランティア交流・勉強会 [P147 再掲]	図書館の事業におけるボランティアとの協働に努める	参加人数 10人	読み聞かせボランティア養成&ステップアップ講座 [P147 再掲]	参加人数 13人	委託事業者による提案	委託事業者提案事業	委託事業者による提案事業等により、民間事業者のノウハウを図書館運営に生かす	件数 137件	事務改善提案	提案件数 1件 採用 1件 内容 としょかんコミュニケーションボードの設置	図書館内の安全及び維持管理	掲示板修繕	施設の状況の把握に努め、必要に応じて改善し、利用環境の向上を図る	情報発信として活用する掲示板の設置修繕
事業項目	実施事業	内容	結果																					
ボランティアとの協働	読み聞かせ・おはなしボランティア交流・勉強会 [P147 再掲]	図書館の事業におけるボランティアとの協働に努める	参加人数 10人																					
	読み聞かせボランティア養成&ステップアップ講座 [P147 再掲]		参加人数 13人																					
委託事業者による提案	委託事業者提案事業	委託事業者による提案事業等により、民間事業者のノウハウを図書館運営に生かす	件数 137件																					
	事務改善提案		提案件数 1件 採用 1件 内容 としょかんコミュニケーションボードの設置																					
図書館内の安全及び維持管理	掲示板修繕	施設の状況の把握に努め、必要に応じて改善し、利用環境の向上を図る	情報発信として活用する掲示板の設置修繕																					
内部評価	<p>平成30年度は、図書館や市内学校等で活動する読み聞かせのボランティアを対象とした講座・交流会を実施し、図書館運営におけるボランティアとの協働に努めた。</p> <p>また、委託事業者から提出された企画展示109件、イベント28件の提案事業を実施し、昨年度に比べ27件多く図書館利用の促進に繋がる民間のノウハウを活用することができた。</p> <p>また、委託事業者からコミュニケーションボードの設置の改善提案があり、どなたにもやさしいコーナーの設置と併せて、民間ならではの視点を取り入れた運営を行うことができた。</p>																							

	<p>引き続き民間企業の視点とノウハウを生かした提案を参考にしながら、効率的・効果的な図書館運営に努めたい。</p>
利用者 アンケート	<p>平成 30 年度に実施した「事業に関するアンケート」の結果では、委託事業者の窓口対応について、昨年度に引き続き「親切に対応していただいた」のような好意的な記載が多かった。</p> <p>一方で、改善を求める声もあるため、引き続き、適切な対応を心がける必要がある。</p> <p>施設については、「返却できる所を駅に設置してほしい」の記載があり、利用者が利用しやすい方法を検討する必要がある。</p>

## 【令和元年度の主な事業】

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館となり、3月17日から予定していた利用者アンケートによる意見聴取は実施できなかったため、図書館による内部評価のみ記載している。

事業1	図書館資料の活用と利用促進
事業2	地域の各種団体等との連携
事業3	充実した読書環境の提供

事業1	図書館資料の活用と利用促進										
事業内容	図書館資料の利活用を促進し、利用者の求める情報だけでなく、今後の利用に向けた提案をすることにより、図書館利用の増大を目指した取組を実施する。										
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業項目</th> <th>実施事業</th> <th>内容</th> <th>結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書館情報の発信</td> <td>ブックリストの発行</td> <td>橋本図書館が行う事業や蔵書の情報について、館報及びブックリストを活用した発信</td> <td>           種類と発行回数            ・YAライブラリー 4回            ・こどもしんぶん「ほんのもり」 12回            ・子育て支援サービス情報誌「スマイルレター」 2回            ・ビジネス支援サービス「お役立ちブックリスト」 3回            ・就職支援サービス「就職情報の探し方&amp;ブックリスト」 2回            ・調べる本の紹介 3回            ・調べる本のしょうかいジュニア版 1回            ・健康情報サービスブックリスト「健康情報 news」 2回            ・はしもと図書館報「Hi!」 4回            ・発見!さがみはら 1回         </td> </tr> </tbody> </table>			事業項目	実施事業	内容	結果	図書館情報の発信	ブックリストの発行	橋本図書館が行う事業や蔵書の情報について、館報及びブックリストを活用した発信	種類と発行回数 ・YAライブラリー 4回 ・こどもしんぶん「ほんのもり」 12回 ・子育て支援サービス情報誌「スマイルレター」 2回 ・ビジネス支援サービス「お役立ちブックリスト」 3回 ・就職支援サービス「就職情報の探し方&ブックリスト」 2回 ・調べる本の紹介 3回 ・調べる本のしょうかいジュニア版 1回 ・健康情報サービスブックリスト「健康情報 news」 2回 ・はしもと図書館報「Hi!」 4回 ・発見!さがみはら 1回
	事業項目	実施事業	内容	結果							
図書館情報の発信	ブックリストの発行	橋本図書館が行う事業や蔵書の情報について、館報及びブックリストを活用した発信	種類と発行回数 ・YAライブラリー 4回 ・こどもしんぶん「ほんのもり」 12回 ・子育て支援サービス情報誌「スマイルレター」 2回 ・ビジネス支援サービス「お役立ちブックリスト」 3回 ・就職支援サービス「就職情報の探し方&ブックリスト」 2回 ・調べる本の紹介 3回 ・調べる本のしょうかいジュニア版 1回 ・健康情報サービスブックリスト「健康情報 news」 2回 ・はしもと図書館報「Hi!」 4回 ・発見!さがみはら 1回								

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	本との出会いの場の提供	こどもまつり - ようこそ ほんの森へ -	おはなし会やむかし遊びなどのイベントを通じて本に親しむ機会の提供	参加人数 延べ 219 人
		英語と日本語、両方読んでみる?	YA 世代に外国語の本と日本語の本とを対比し、外国語の本に興味を持ってもらう	-
		大人のための英語のチラシ&パンフレットを読もう	レシピ本やチラシなどを声を出して読むなどして楽しみながら英語(本)に親しむ	参加人数 11 人
図書館外での情報発信	ホームページの活用	図書館未利用者に向けた図書館情報の提供	随時	
	ソーシャルメディアの活用		Facebook・Twitter 発信回数 203 回	
	ラジオ番組の活用		地元コミュニティ FM を活用した情報発信 放送回数 15 回 (毎週第 1 日曜日)	
図書館利用者支援	ガイドツアー	書庫や図書整理室などの見学会	参加人数 延べ 21 人	
	パソコン初心者講習会	パソコンの基本操作及び蔵書検索の利用方法等の初心者向け講習会	参加人数 延べ 123 人	
図書館利用者支援	調べ学習体験講座「調べるっておもしろい」	小学生を対象に図書館資料とインターネットを使った調べ学習を実施 図書館と市民をつなぐ会・相模原との共催	参加者数 7 人	

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	除架資料の有効活用	市内図書館での資料の有効活用	城山公民館図書室移転に伴い、当該図書室が不用とした除架資料の内、図書館として活用すべき資料を移管	4館への移管冊数 323冊
	除架資料の市民へのリサイクル	図書館で役目を終えた資料の有効活用	提供冊数 3,941冊	

内部評価	<p>平成30年度に引き続き、各種ブックリストの作成・更新とともにホームページなどで情報発信を行うことにより、新しい資料だけでなく既存の資料についても活用を推進することができた。子ども向け新聞「ほんのもり」では、200号記念として年齢別のブックリストを作成し、年齢に合ったおすすめの本を提案することができた。</p> <p>図書館をより身近なものとして活用いただくためのガイドツアーやパソコン初心者講習会等を開催し、図書館の利用方法を知り、より便利に活用していただくためのきっかけづくりを行い、好評であった。</p> <p>今後は、図書館利用が市民の生活の一部となるよう、積極的に様々な媒体を用いて図書館をアピールし、利用する習慣が無い方にも図書館の魅力を周知することによって、いかに来館に結び付けるかが課題である。</p> <p>委託業者の持つ民間企業の視点とノウハウを生かした提案を参考にしながら、市としての視点や方向性を見極めつつ、効率的・効果的な図書館運営に努めたい。</p>
------	--

事業2	地域の各種団体等との連携																														
事業内容	橋本の地域に根差した図書館として、近隣の各種団体等と連携を図り、利用の促進とともに読書普及を推進する。																														
実施内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="375 481 603 566">事業項目</th> <th data-bbox="603 481 831 566">実施事業</th> <th data-bbox="831 481 1098 566">内容</th> <th data-bbox="1098 481 1364 566">結果</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="375 566 603 1906" rowspan="6">図書館以外の機関等との連携事業</td> <td data-bbox="603 566 831 804">企画展示</td> <td data-bbox="831 566 1098 804">相模原総合高校との連携展示</td> <td data-bbox="1098 566 1364 804">図書委員および友の会との連携展示を行い、おススメ本の照会 POP を作成し、高校図書室と図書館で順次展示</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 804 831 985">ギャラリー展示 「はなのかおり」</td> <td data-bbox="831 804 1098 985">女子美術大学卒の芸術家、中西彩氏の作品展</td> <td data-bbox="1098 804 1364 985">展示回数 3 期</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 985 831 1120">庁内情報発信</td> <td data-bbox="831 985 1098 1120">相模原市に関する情報や行政の取組などを展示</td> <td data-bbox="1098 985 1364 1120">件数 11 件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 1120 831 1323">橋本まちゼミ 応援展示</td> <td data-bbox="831 1120 1098 1323">橋本商店街協同組合と連携し、個々のゼミや実施する業種に関連したブックリストの作成</td> <td data-bbox="1098 1120 1364 1323">展示回数 1 回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 1323 831 1503">ロビーメイン展示「線路は続くよ」 <b>【新規】</b></td> <td data-bbox="831 1323 1098 1503">JR線、京王線橋本駅との写真や関連資料の連携展示</td> <td data-bbox="1098 1323 1364 1503">展示回数 1 回</td> </tr> <tr> <td data-bbox="603 1503 831 1906" rowspan="3">学校(等)との連携</td> <td data-bbox="831 1503 1098 1619">施設見学の受け入れ</td> <td data-bbox="1098 1503 1364 1619">10 校(園) 延べ 314 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="831 1619 1098 1736">職業体験の受け入れ</td> <td data-bbox="1098 1619 1364 1736">15 校 延べ 167 人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="831 1736 1098 1906">子ども資料団体貸出</td> <td data-bbox="1098 1736 1364 1906">登録団体数 63 団体 利用団体数 26 団体 貸出冊数 1,017 冊</td> </tr> </tbody> </table>				事業項目	実施事業	内容	結果	図書館以外の機関等との連携事業	企画展示	相模原総合高校との連携展示	図書委員および友の会との連携展示を行い、おススメ本の照会 POP を作成し、高校図書室と図書館で順次展示	ギャラリー展示 「はなのかおり」	女子美術大学卒の芸術家、中西彩氏の作品展	展示回数 3 期	庁内情報発信	相模原市に関する情報や行政の取組などを展示	件数 11 件	橋本まちゼミ 応援展示	橋本商店街協同組合と連携し、個々のゼミや実施する業種に関連したブックリストの作成	展示回数 1 回	ロビーメイン展示「線路は続くよ」 <b>【新規】</b>	JR線、京王線橋本駅との写真や関連資料の連携展示	展示回数 1 回	学校(等)との連携	施設見学の受け入れ	10 校(園) 延べ 314 人	職業体験の受け入れ	15 校 延べ 167 人	子ども資料団体貸出	登録団体数 63 団体 利用団体数 26 団体 貸出冊数 1,017 冊
事業項目	実施事業	内容	結果																												
図書館以外の機関等との連携事業	企画展示	相模原総合高校との連携展示	図書委員および友の会との連携展示を行い、おススメ本の照会 POP を作成し、高校図書室と図書館で順次展示																												
	ギャラリー展示 「はなのかおり」	女子美術大学卒の芸術家、中西彩氏の作品展	展示回数 3 期																												
	庁内情報発信	相模原市に関する情報や行政の取組などを展示	件数 11 件																												
	橋本まちゼミ 応援展示	橋本商店街協同組合と連携し、個々のゼミや実施する業種に関連したブックリストの作成	展示回数 1 回																												
	ロビーメイン展示「線路は続くよ」 <b>【新規】</b>	JR線、京王線橋本駅との写真や関連資料の連携展示	展示回数 1 回																												
	学校(等)との連携	施設見学の受け入れ	10 校(園) 延べ 314 人																												
職業体験の受け入れ		15 校 延べ 167 人																													
子ども資料団体貸出		登録団体数 63 団体 利用団体数 26 団体 貸出冊数 1,017 冊																													

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	図書館以外の機関等との連携事業		調べ学習体験講座「調べるっておもしろい」	小学生を対象に図書館資料とインターネットを使った調べ学習を実施 図書館と市民をつなぐ会・相模原との共催
		パソコン初心者講習会	初心者向けに、パソコンの基本操作及び蔵書検索の利用方法について学ぶ講習会	参加人数 延べ 123人
		相模原歴史探訪橋本文化財講座	神明大明神の氏子代表で、橋本の歴史を知る会副代表の井上氏を講師に迎えて開催	参加者数 16人
		わらべうたであそびましょう	わらべうたの実演と子育てに関する情報交換。 橋本公民館との連携事業	参加者数 40人
		郷土ゆかりの作家 加藤武雄の作品を読む 【新規】	郷土で生まれた作家の作品について、著者の研究者とご親族と一緒に、読書を通じて参加者相互の交流を図る	参加人数 15人
		図書館 de チャレンジ「勾玉作り」	旧石器ハテナ館館長大房氏を講師に迎え、勾玉作りを体験	参加人数 10人
講座・講演会		健康情報講座「認知症予防のために」	健康支援として関心の高い「認知症予防」をテーマに橋本高齢者支援センターの豊泉氏を講師に迎えて開催	参加人数 14人
		読み聞かせ・おはなしボランティア交流・勉強会	市内の学校等で読み聞かせボランティアを行っている方たちの交流会を開催	参加人数 7人

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果
	講座・講演会	パソコンを使って宇宙を体験しよう！	市立博物館学芸員の里見氏を講師に迎え、星空や宇宙についてより掘り下げて学ぶ	参加人数 11名
		副音声付映画鑑賞会「ハンサムスーツ」	字幕や音声ガイド付きの映画会を上映 住友商事よりバリアフリー事業としてDVDを無償で借用	参加人数 10人
		認知症サポーター養成講座「認知症サポーターになろう！」	相模原市キャラバンメイトによる認知症に関する講座を開催	参加人数 26人
内部評価	<p>企画展示では、館内随所に展示場所を設け、ポスターやPOPなども用い、利用者参加型の展示も行うなど、様々な趣向を用いて本の魅力を発信することにより、確実に貸出につなげることができた。</p> <p>令和元年度は、市の施設職員や市民を講師に迎え、所蔵資料の利活用や橋本の魅力を再確認することを目的として地域と連携し、多く講座を開講した。</p> <p>また、各店舗が講師となって橋本商店街を盛り上げる「橋本まちゼミ」にも参加し、ブックリストを配布したほか、館内で関連本の展示も行った。</p> <p>今後も、橋本地域の活性化に積極的に協力していくことにより、地域の図書館として認識をしていただけるよう努めていくと同時に、様々なニーズに対応できる図書館を目指して関係各所と連携しながら情報収集していく必要がある。</p>			

事業3	充実した読書環境の提供			
事業内容	すべての利用者が図書館を便利で安心して利用できるように努める。 また、ボランティアとの協働により、読書環境の充実と将来の読書につなげる。			
実施内容				
	事業項目	実施事業	内容	結果
	ボランティアとの協働	読み聞かせ・おはなしボランティア交流・勉強会	子どもに読書の魅力を伝えるボランティアの育成・支援	参加人数 7人
		調べ学習体験講座「調べるっておもしろい」	小学生を対象に図書館資料とインターネットを使った調べ学習を実施 図書館と市民をつなぐ会・相模原との共催	参加者数 7人
		パソコン初心者講習会	初心者向けに、パソコンの基本操作及び蔵書検索の利用方法について学ぶ講習会	参加人数 延べ 123人
		ガイドツアー	書庫や図書整理室などの見学会を実施	参加人数 延べ 21人
	利用者支援	どなたにもやさしいほんのコーナーの蔵書の充実	利用が困難な利用者に向けた資料とどなたでも利用しやすい環境の整備	蔵書冊数 125冊
利用者にわかりやすい表示の作成		「わいわい文庫」 <sup>52)</sup> の書影の付いたブックリストを整備し、マルチメディアデジー内の書名等を分かりやすく表示		

<sup>52)</sup> わいわい文庫：公益財団法人伊藤忠記念財団が製作したマルチメディア DAISY 図書の愛称。

実施内容	事業項目	実施事業	内容	結果	
	利用者支援		どなたにもやさしいほんのコーナー利用者に向けた情報発信と利用案内の作成	通常の図書資料の利用が困難な利用者に向けた資料とどなたでも利用しやすい環境の整備	掲示板を2か所設置し、新刊本等の情報発信と、日本語習得のための講座等の開催情報の発信と通常の利用が困難な利用者向けの「やさしい利用案内」を作成
		コミュニケーションボードの設置	口頭での意思疎通が困難な利用者に対して、絵や指差しによる受けたいサービスを図書館員に伝えるボードを入口に設置	-	
		ヘルプマークの表示と赤い旗とブザーの設置	ゲートの通過が困難な利用者に対して、赤い旗とブザーを入口に設置し、図書館員に合図することにより、ゲートを通らずに入館できるようにするための表示等の設置	-	
書架の整備			利用者にわかりやすい表示の作成	書架の整備のため、利用者が戻す場所がわからない本を置く場所を設置	-
			棚表示の新設	棚の表示を行い、利用者への案内の利便性の向上	利用者検索機(OPAC)による書架の表示を行うことにより、利用者が自ら本を探すことのできる環境の整備
図書館内の安全及び維持管理			空調機の修繕	空調機の機能向上	-
		館内巡回の実施	職員及び委託業者による定期的な館内巡回	-	

内部評価	<p>図書館や市内学校等で活動する読み聞かせのボランティアを対象とした講座・交流会を実施し、子どもに本の魅力を伝えるボランティアの育成および支援に努めた。また、ボランティアの方には協働で講座を開講し、利用促進と新たな利用者の獲得にご尽力いただいた。</p> <p>委託事業者は、季節やトピックなど今利用者が欲しい情報を的確にとらえ、独自のノウハウを生かして、展示やイベントの企画を行っていた。</p> <p>平成30年度に新設された「どなたにもやさしいほんのコーナー」では、資料の充実と利用の促進のための掲示板を設置したほか、これまで蔵書資料からコーナーに適した本を抜き出してコーナーへ配架していたが、令和元年度からコーナーの予算を確保し、朗読CDやこれまで寄贈のみの所蔵だったマルチメディアデージーも購入し、資料の充実を図った。また、利用が困難な利用者のための「やさしい利用案内」を作成した。</p> <p>令和元年度、城山公民館図書室が移転し、昨年度から行ってきた除架資料について、市内の図書館等で活用できるよう情報共有し、各館で必要とされた資料については移管処理を行い、有効活用した。</p> <p>利用しやすさを考慮してテーマ別に別置を多く設けているが、その特色を生かした蔵書の構築をさらに推進することができた。</p> <p>引き続き長期的な蔵書構築を考慮しつつ、地域性などの特色も取り入れた蔵書の充実を図っていきたい。</p>
------	---

(4) 各館評価に係るアンケート実施結果(平成29年度)

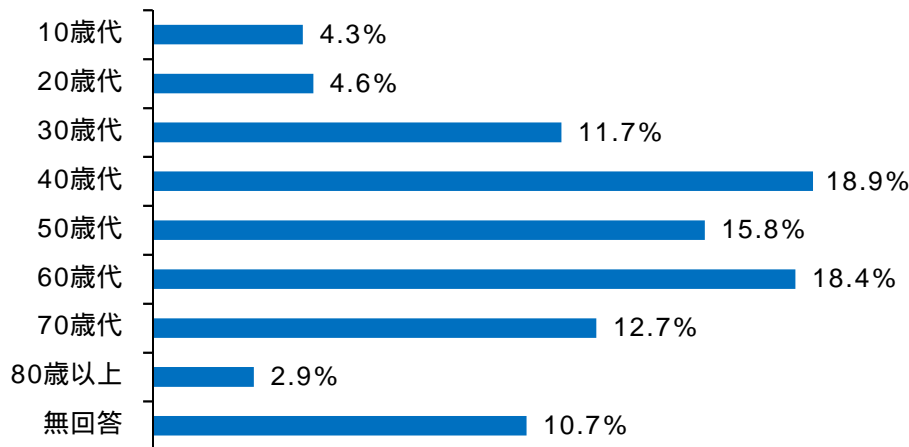
- ・ 実施期間 平成30年3月13日(火)から25日(日)までの開館日
- ・ 実施方法

市立・相模大野・橋本の各館窓口を訪れた利用者(概ね小学校高学年以上)に対しアンケート用紙を直接手渡したほか、記載台等にアンケート用紙を設置し、館内の回収箱で回収した。

- ・ 有効回答数 1,915件(3館合計)

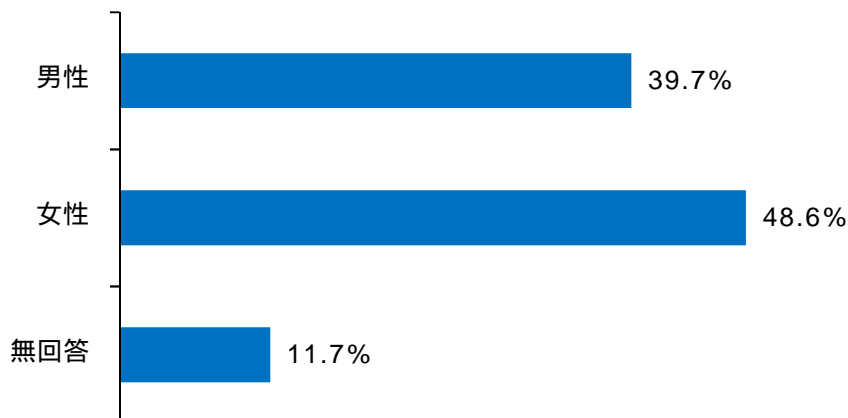
1 回答者自身について(3館合計 n=1,915)

(1) 年齢



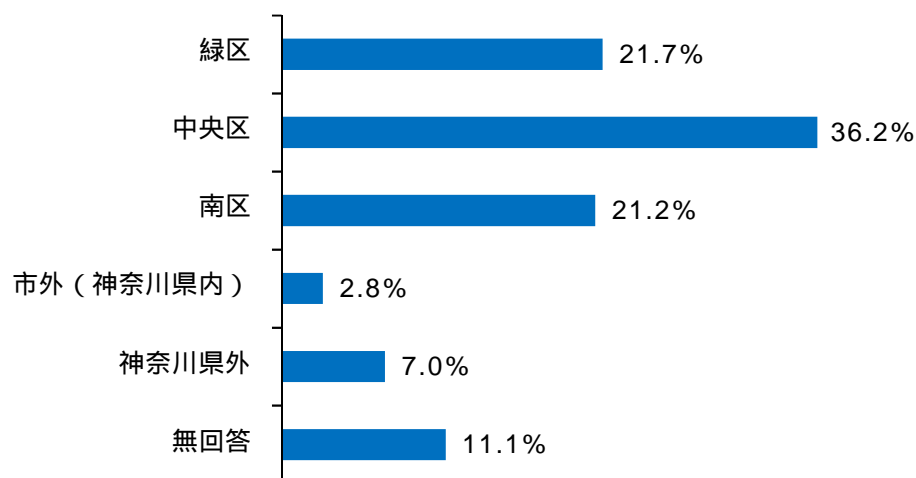
回答者の年齢は、40歳代(18.9%)が最も多く、次いで60歳代(18.4%)、50歳代(15.8%)と続いている。

(2) 性別



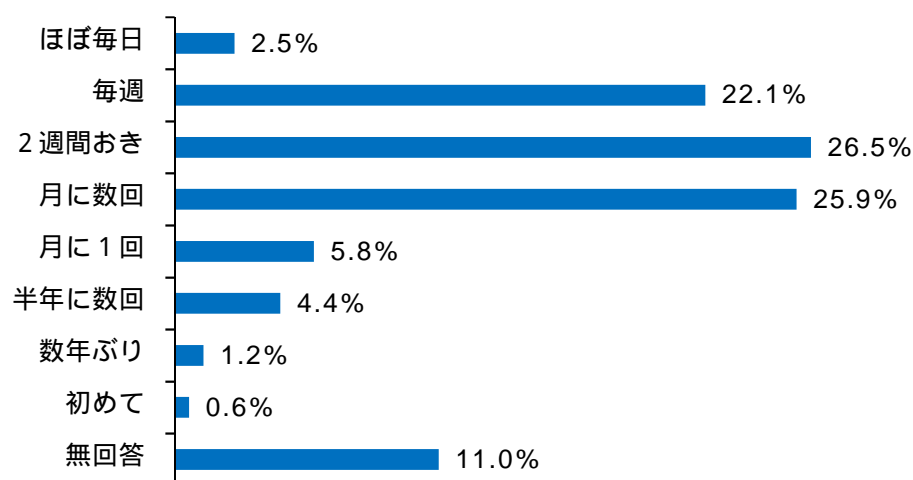
回答者の性別は、女性(48.6%)が約半数で、男性(39.7%)が約4割だった。

## ( 3 ) 住まい



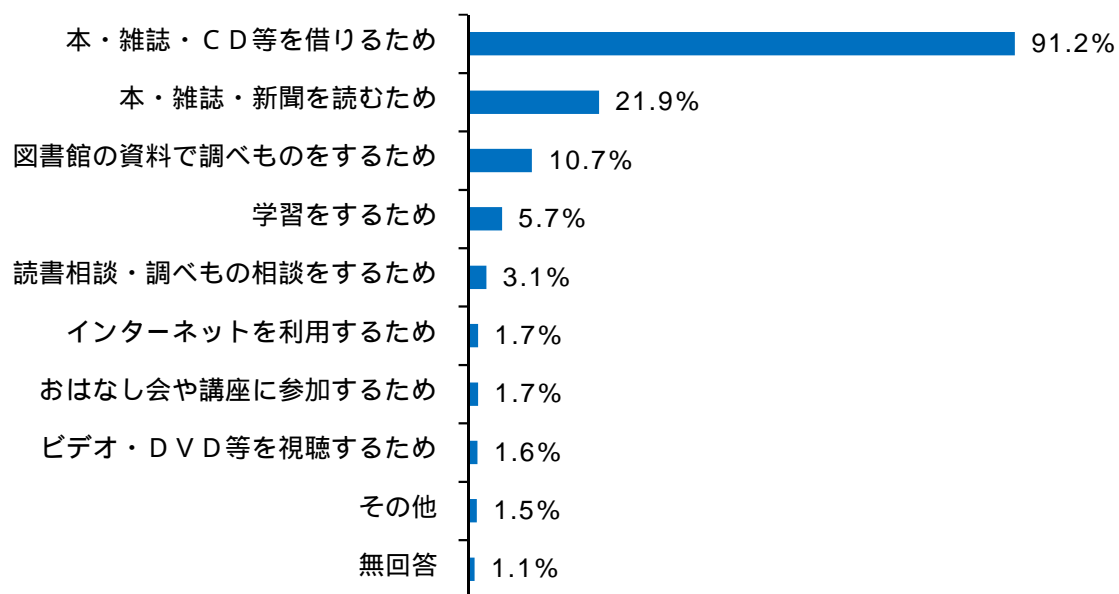
回答者の居住地区は、中央区（36.2%）が最も多く、次いで緑区（21.7%）、南区（21.2%）と続いている。

## ( 4 ) 図書館利用頻度



回答者の図書館利用頻度は、2週間おき（26.5%）が最も多く、次いで月に数回（25.9%）、毎週（22.1%）と続いている。

## 2 本日の来館目的 (3館合計 n=1,915) 複数回答可

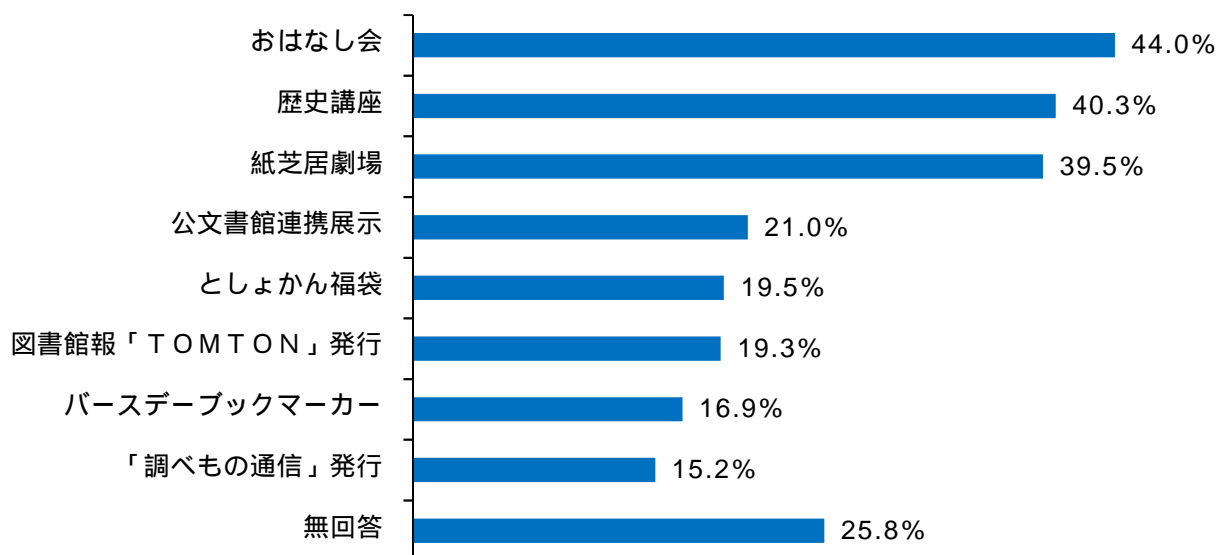


図書館への来館目的は、本・雑誌・CD等を借りるため（91.2%）が最も多く、次いで本・雑誌・新聞を読むため（21.9%）、図書館の資料で調べものをするため（10.7%）と続いている。

2 良いと思う事業 / 事業参加者の満足度 複数回答可

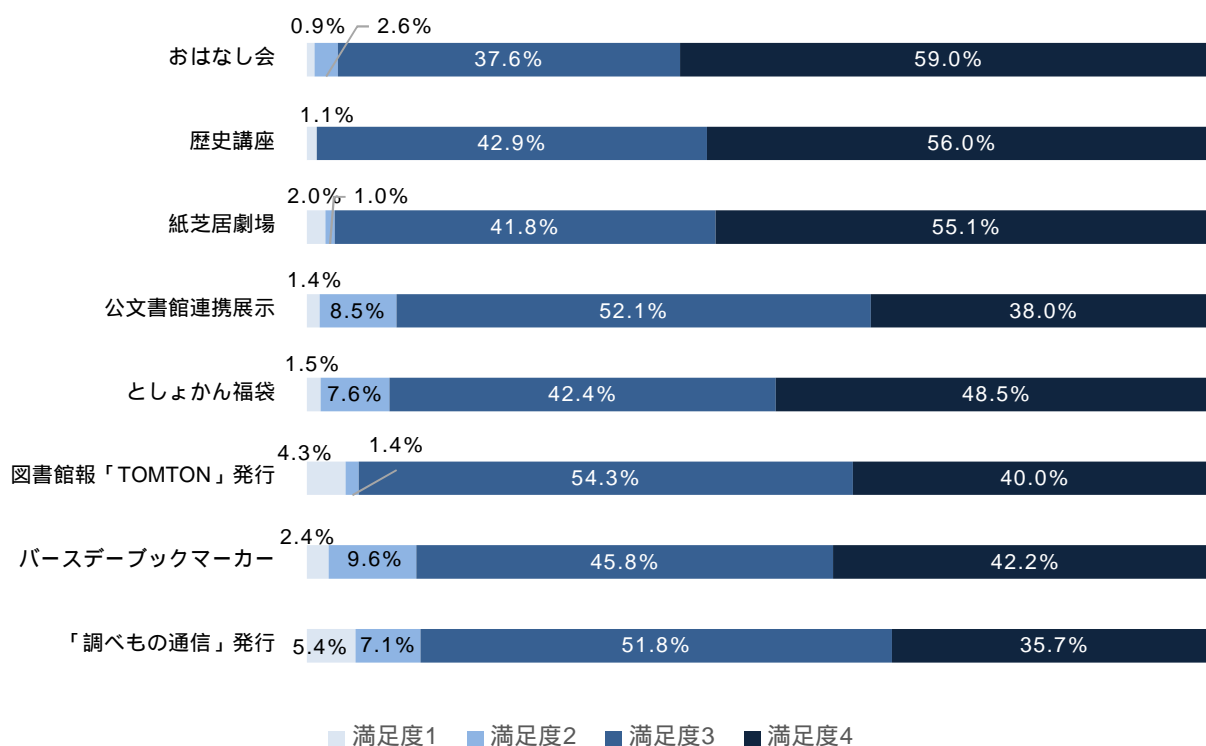
(1) 市立図書館 (n=732)

良いと思う事業



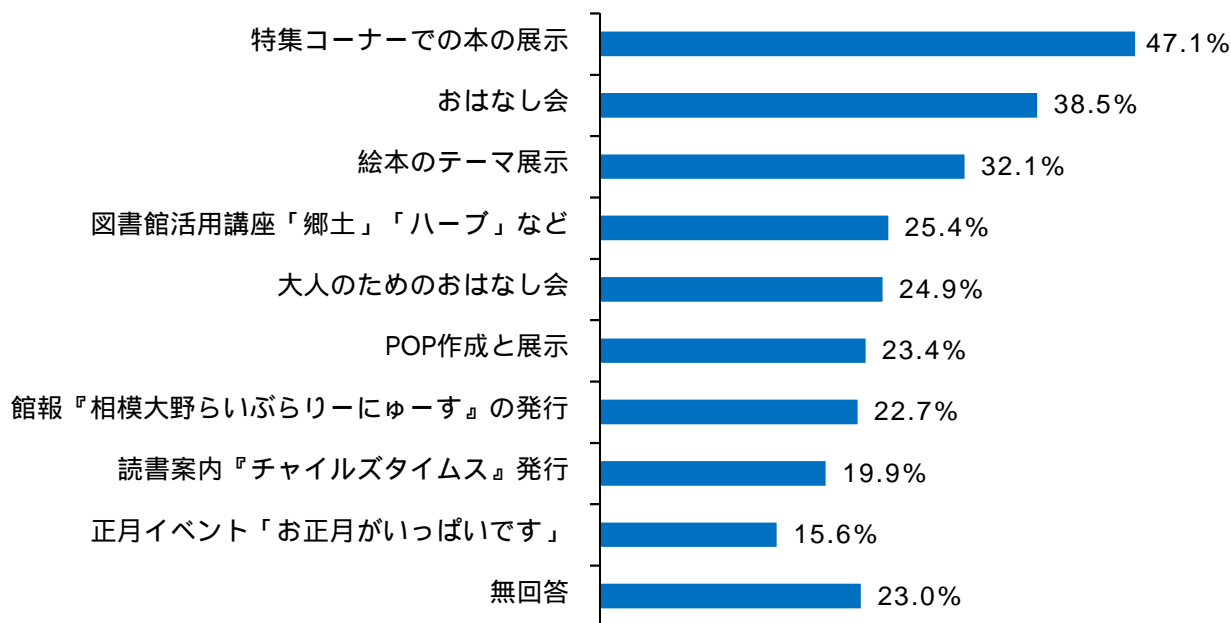
市立図書館では、おはなし会(44.0%)が最も多く、次いで歴史講座(40.3%)、紙芝居劇場(39.5%)と続いている。

事業参加者の満足度 (回答数 / 回答者数) 満足度4が最も高い



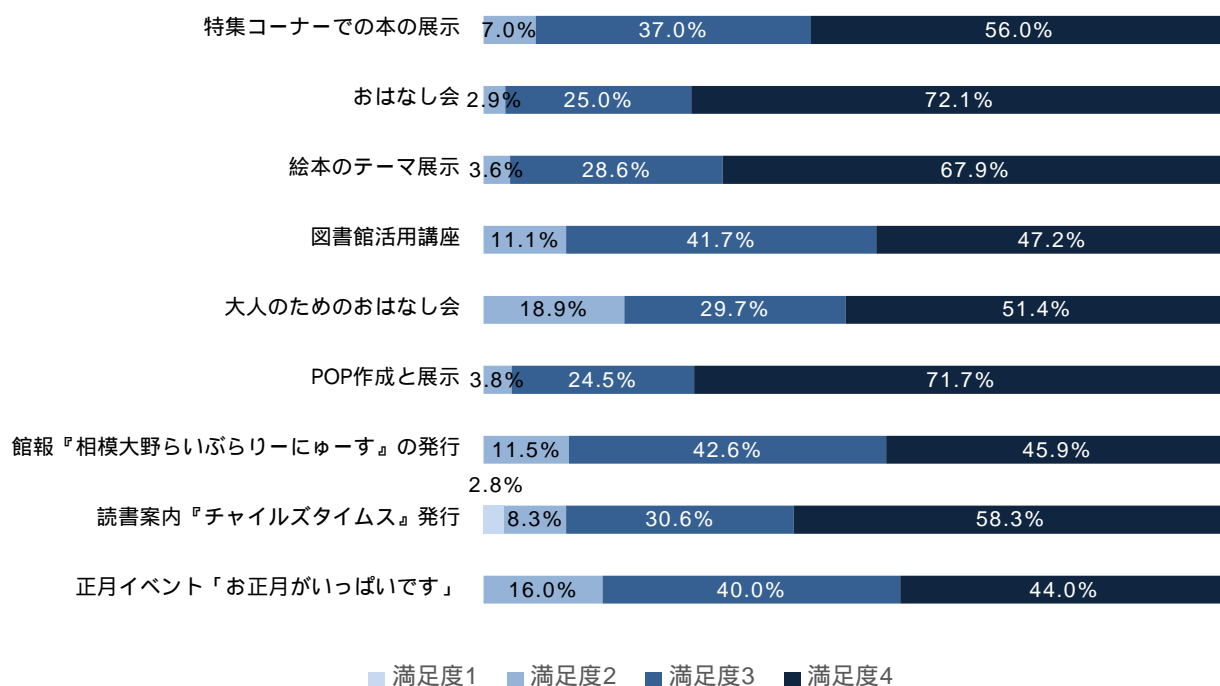
( 2 ) 相模大野図書館 ( n = 418 )

良いと思う事業



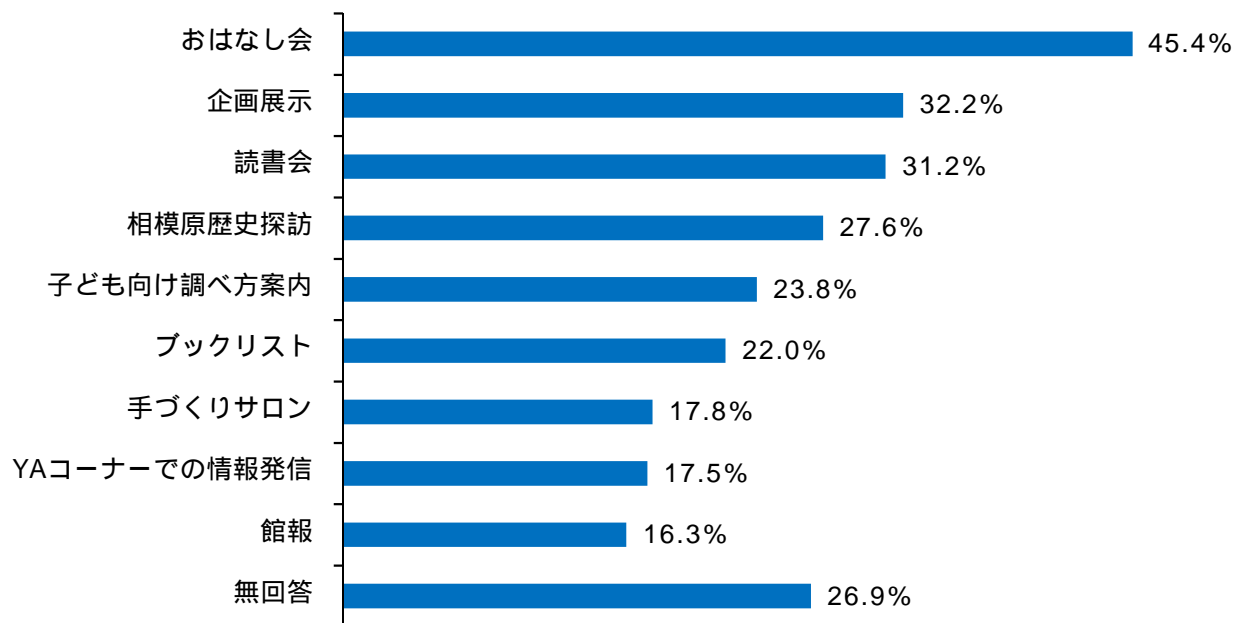
相模大野図書館では、特集コーナーでの本の展示（47.1%）が最も多く、次いでおはなし会（38.5%）、絵本のテーマ展示（32.1%）と続いている。

事業参加者の満足度（回答数 / 回答者数） 満足度4が最も高い



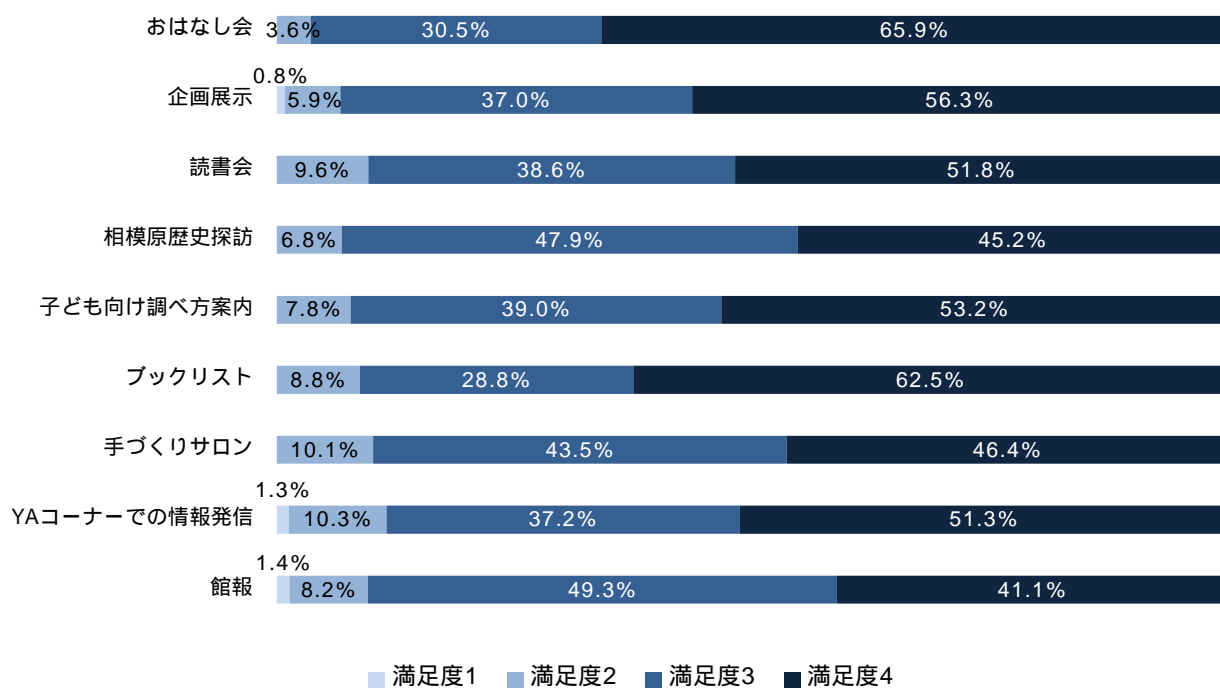
( 3 ) 橋本図書館 ( n = 765 )

良いと思う事業



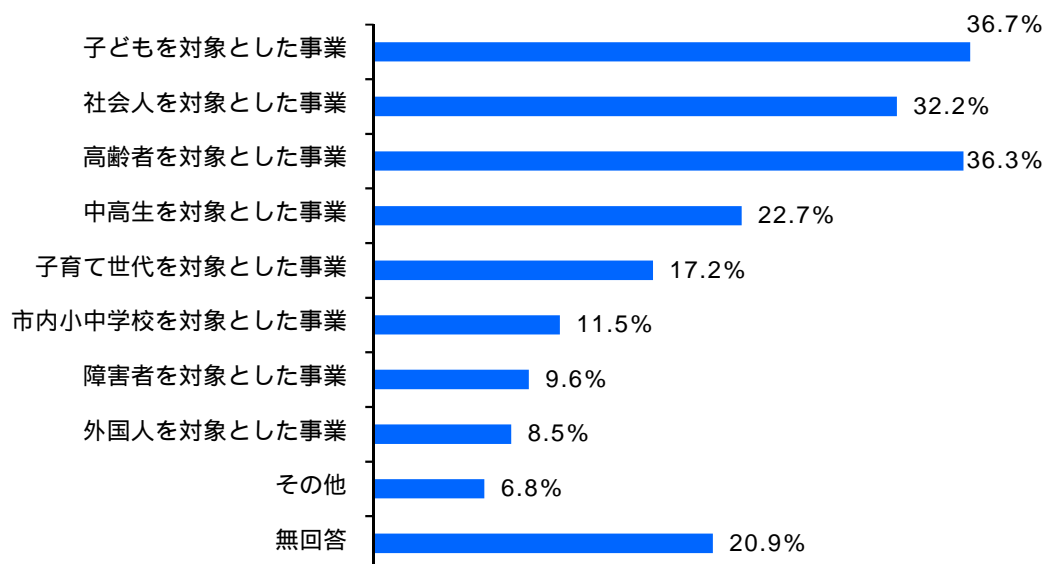
橋本図書館では、おはなし会 ( 45.4% ) が最も多く、次いで企画展示 ( 32.2% )、読書会 ( 31.2% ) と続いている。

事業参加者の満足度 ( 回答数 / 回答者数 ) 満足度 4 が最も高い



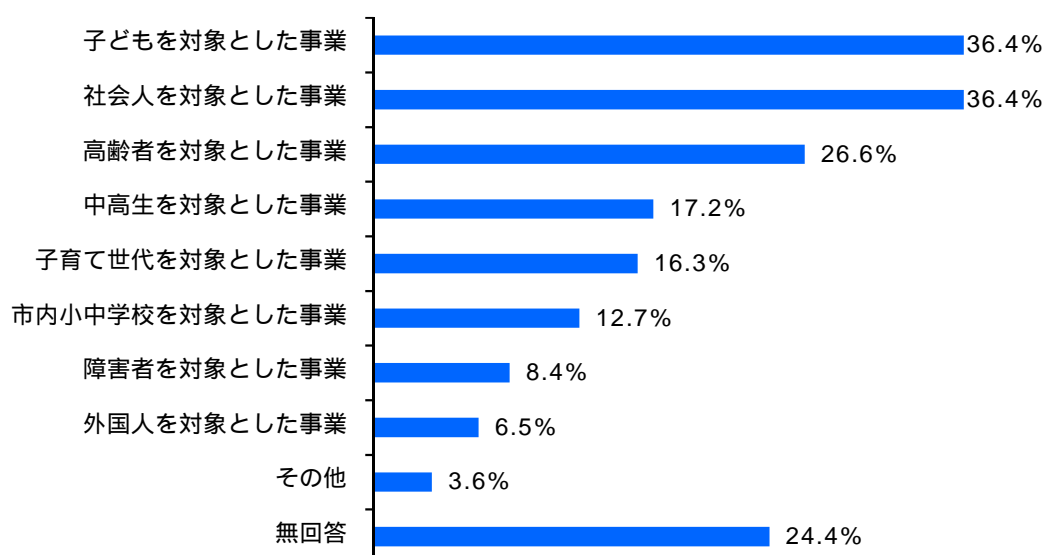
## 3 今後図書館が力を入れて取り組んでほしい事業 複数回答可

## (1) 市立図書館 (n=732)



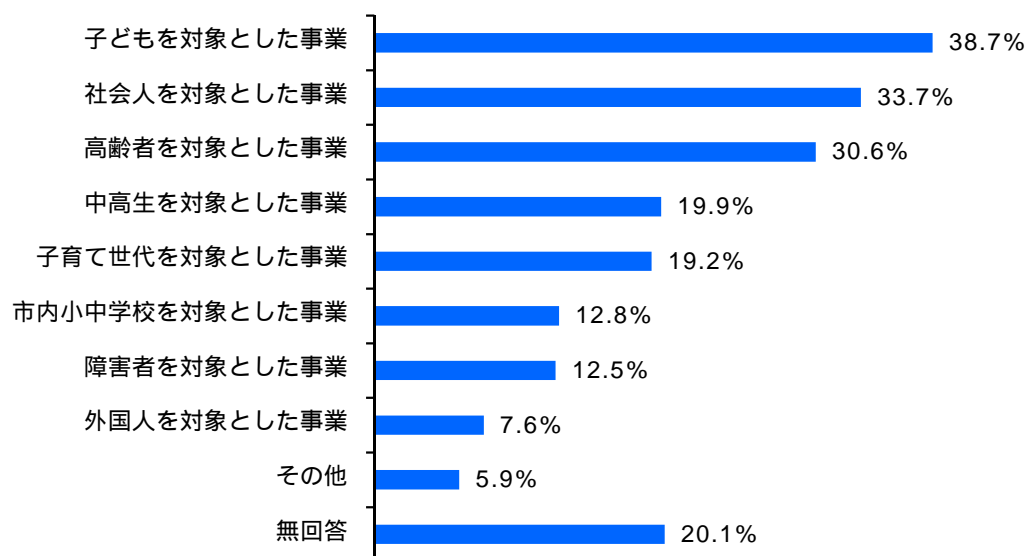
市立図書館では、子どもを対象とした事業（36.7%）が最も多く、次いで高齢者を対象とした事業（36.3%）、社会人を対象とした事業（32.2%）と続いている。

## (2) 相模大野図書館 (n=418)



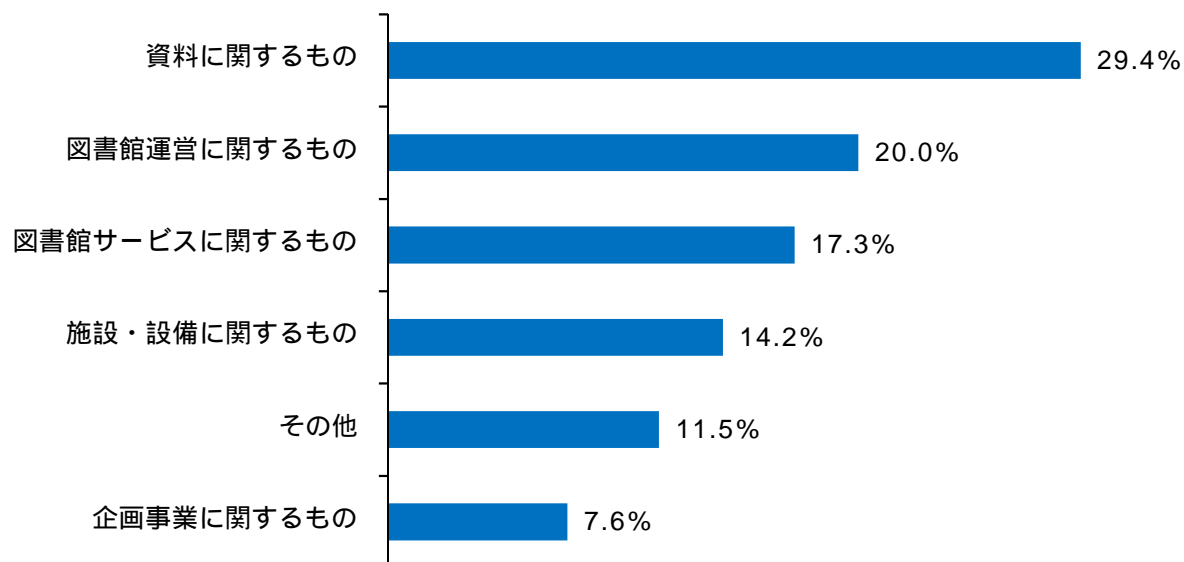
相模大野図書館では、子どもを対象とした事業及び社会人を対象とした事業が最も多く（36.4%）、次いで高齢者を対象とした事業（26.6%）と続いている。

## ( 3 ) 橋本図書館 ( n = 765 )



橋本図書館では、子どもを対象とした事業（38.7%）が最も多く、次いで社会人を対象とした事業（33.7%）、高齢者を対象とした事業（30.6%）と続いている。

## 4 図書館の事業に対するご意見・ご要望 ( n = 591 ) 自由記入欄



図書館の事業に対するご意見・ご要望は、記入があった総数のうち、資料に関するもの（29.4%）が最も多く、次いで図書館運営に関するもの（20.0%）、図書館サービスに関するもの（17.3%）と続いている。

( 5 ) 各館評価に係るアンケート実施結果 ( 平成 30 年度 )

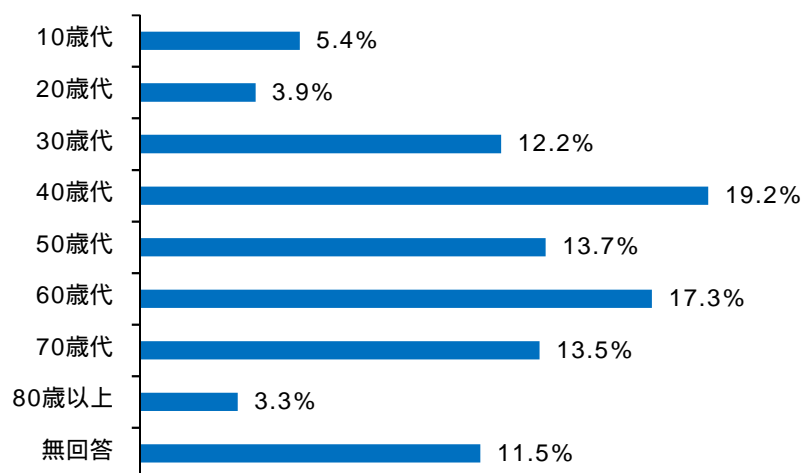
- ・ 実施期間 平成 31 年 3 月 19 日 ( 火 ) から 31 日 ( 日 ) までの開館日
- ・ 実施方法

市立・相模大野・橋本の各館窓口を訪れた利用者 ( 概ね小学校高学年以上 ) に対しアンケート用紙を直接手渡したほか、記載台等にアンケート用紙を設置し、館内の回収箱で回収した。

- ・ 有効回答数 1,078 件 ( 3 館合計 )

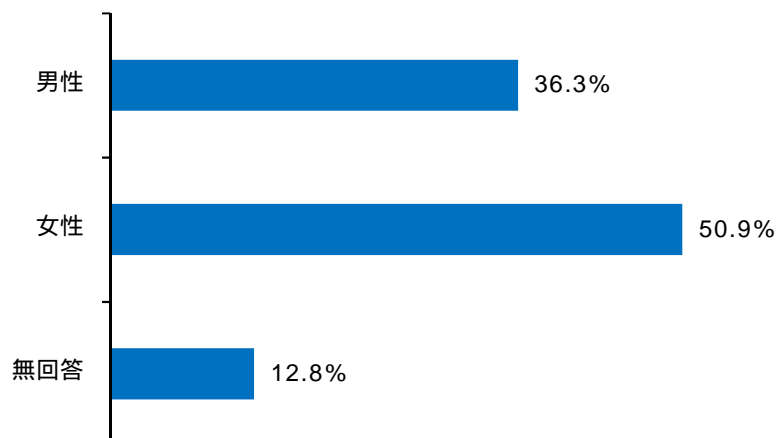
回答者自身について ( 3 館合計 n=1,078 )

( 1 ) 年齢



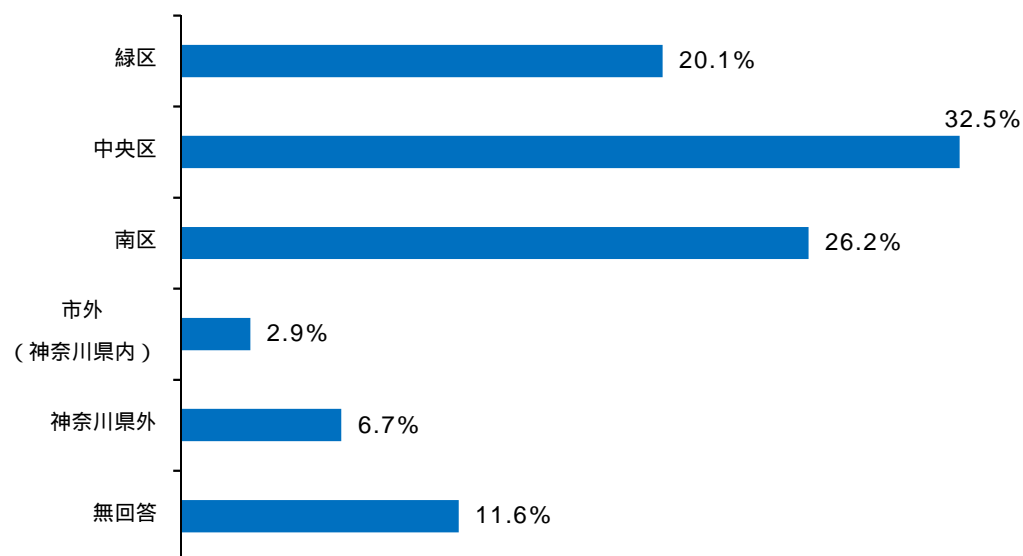
回答者の年齢は、40歳代が19.2%で最も多く、次いで60歳代(17.3%)、50歳代(13.7%)と続いている。

( 2 ) 性別



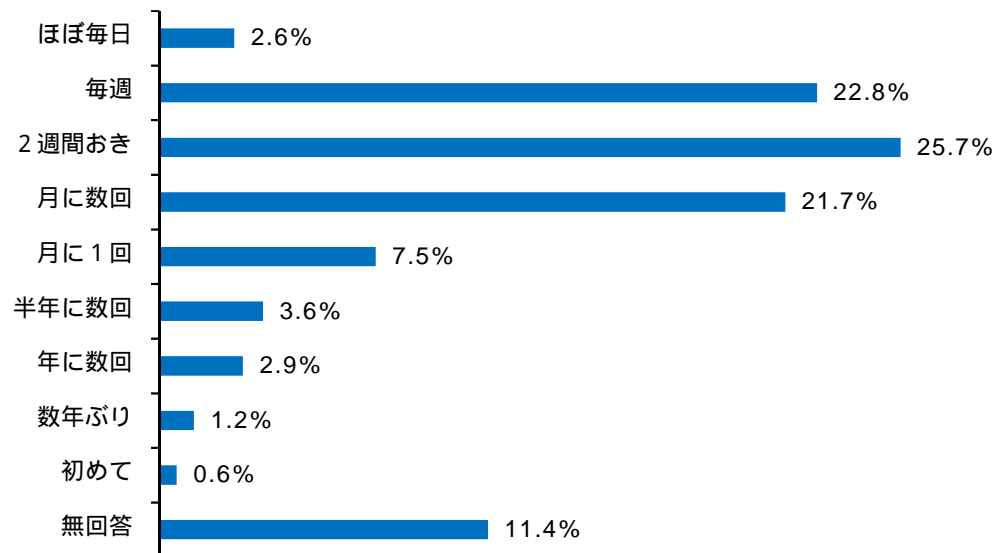
回答者の性別は、女性が50.9%で半数を占め、男性は36.3%だった。

## ( 3 ) 住まい



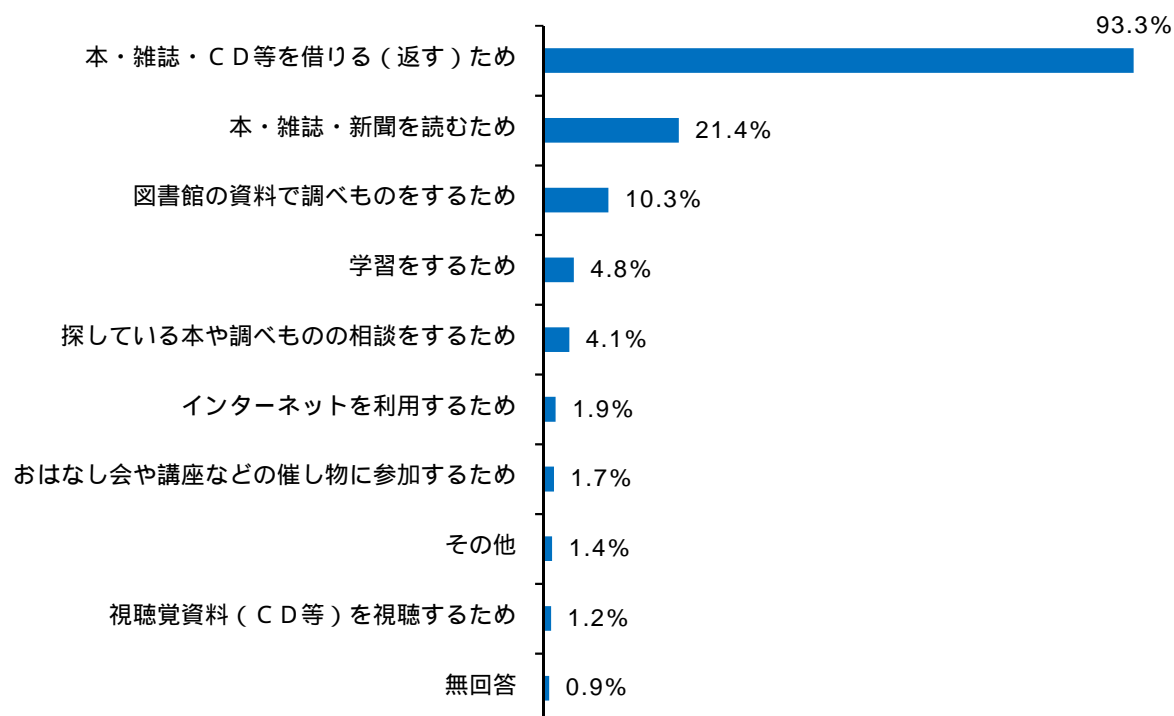
回答者の居住地区は、中央区が 32.5% で最も多く、次いで南区 ( 26.2% )、緑区 ( 20.1% ) と続いている。

## ( 4 ) 図書館利用頻度



回答者の図書館利用頻度は、2週間おき ( 25.7% ) が最も多く、次いで毎週 ( 22.8% )、月に数回 ( 21.7% ) と続いている。

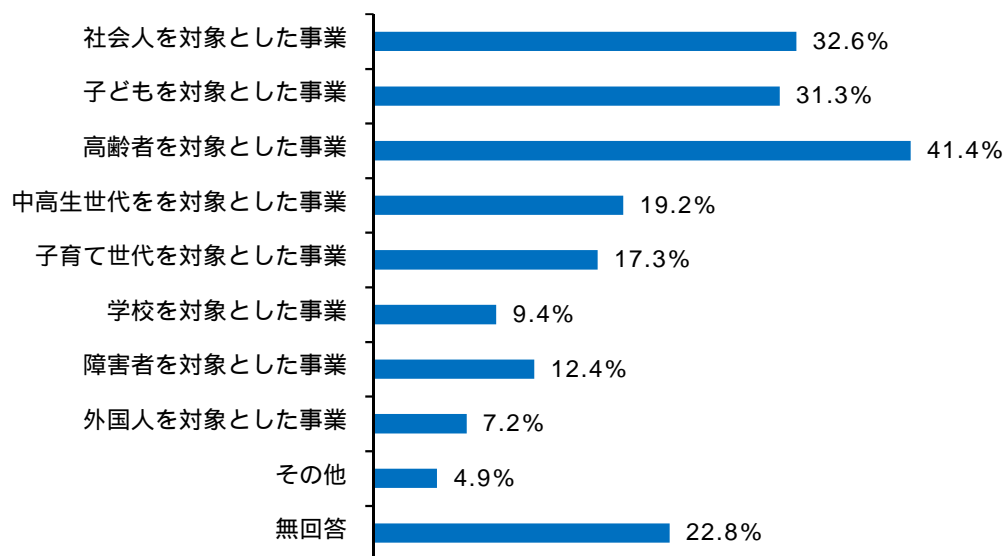
## 1 本日の来館目的（3館合計 n=1,078） 複数回答可



図書館への来館目的は、本・雑誌・CD等を借りるため（93.3%）が最も多く、次いで本・雑誌・新聞を読むため（21.4%）、図書館の資料で調べものをするため（10.3%）と続いている。

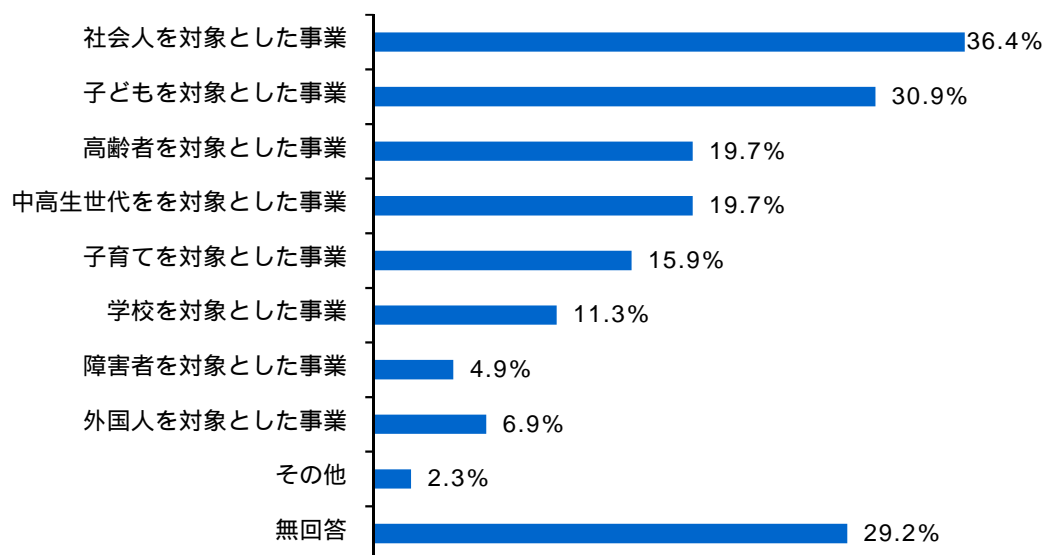
## 2 力を入れて取り組んでほしい事業 複数回答可

## (1) 市立図書館 (n=307)



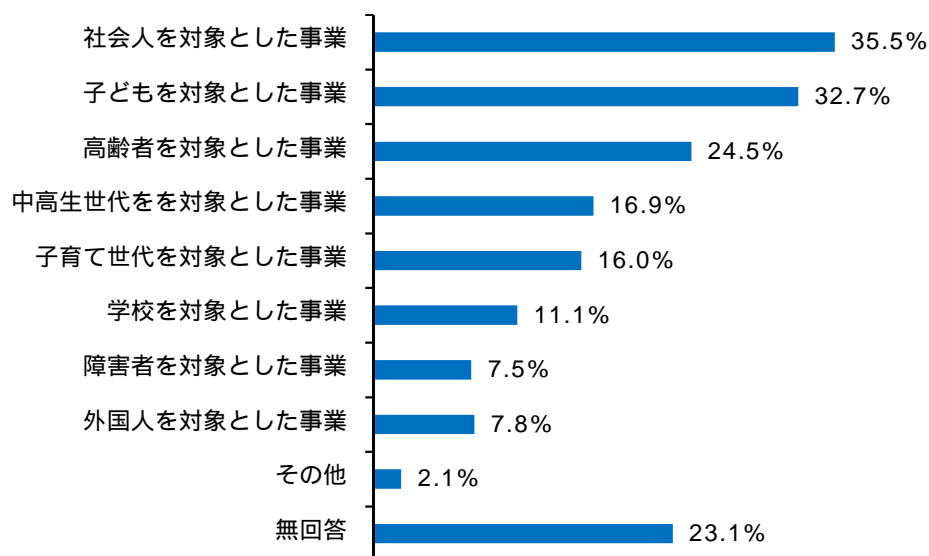
市立図書館では、高齢者を対象とした事業（41.4%）が最も多く、次いで社会人を対象とした事業（32.6%）、子どもを対象とした事業（31.3%）と続いている。

## (2) 相模大野図書館 (n=346)



相模大野図書館では、社会人を対象とした事業（36.4%）が最も多く、次いで子どもを対象とした事業（30.9%）、高齢者を対象とした事業・中高生世代を対象とした事業（19.7%）と続いている。

## ( 3 ) 橋本図書館 ( n = 425 )

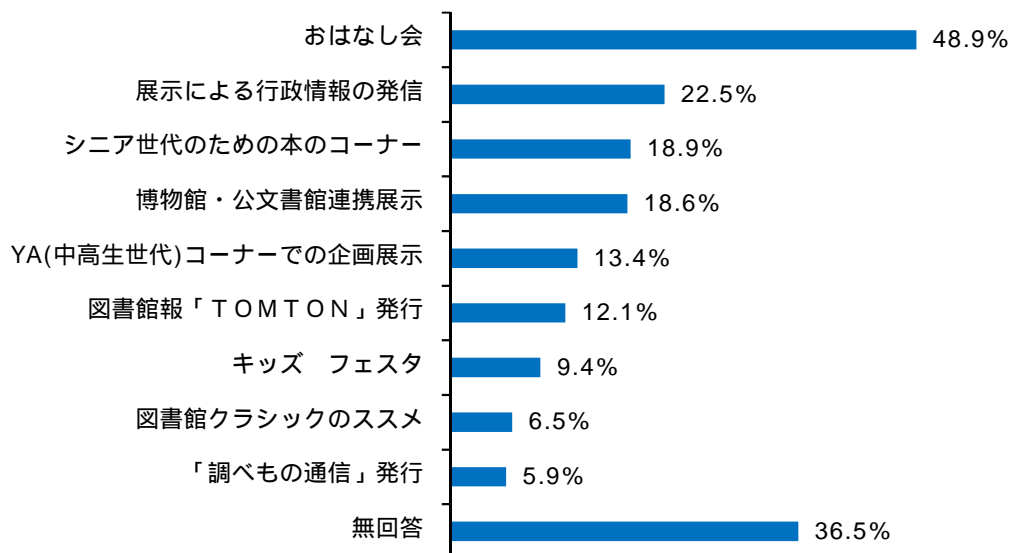


橋本図書館では、社会人を対象とした事業（35.5%）が最も多く、次いで子どもを対象とした事業（32.7%）、高齢者を対象とした事業（24.5%）と続いている。

3 ご存じの事業 複数回答可

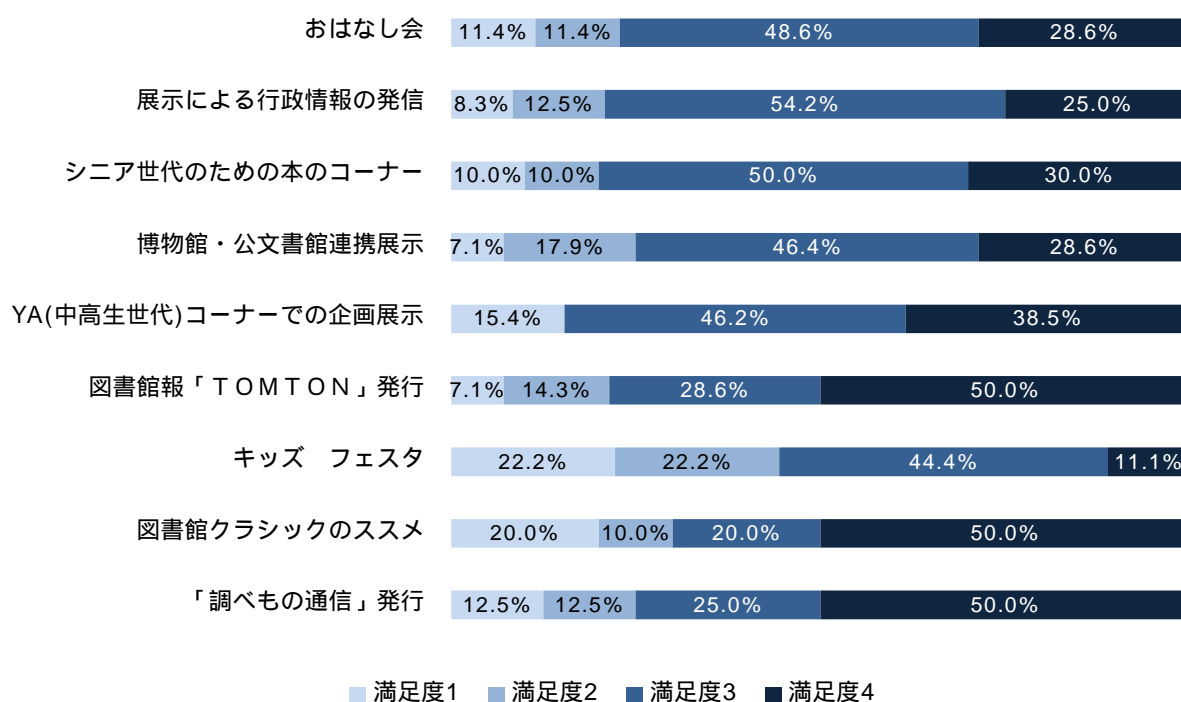
(1) 市立図書館 (n=307)

ご存じの事業



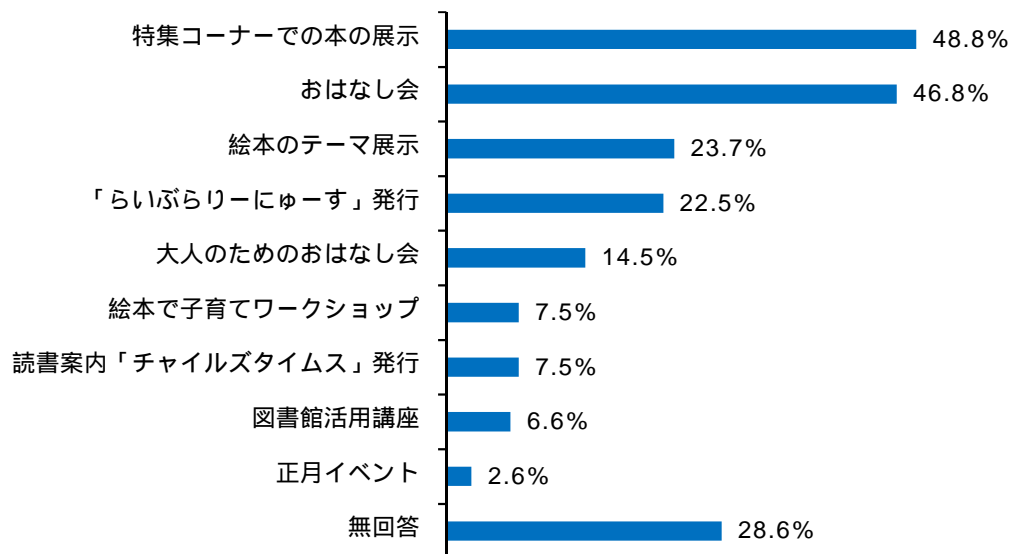
市立図書館では、おはなし会（48.9%）が最も多く、次いで展示による行政情報の発信（22.5%）、シニア世代のための本のコーナー（18.9%）と続いている。

事業参加者の満足度（回答数 / 回答者数） 満足度4が最も高い



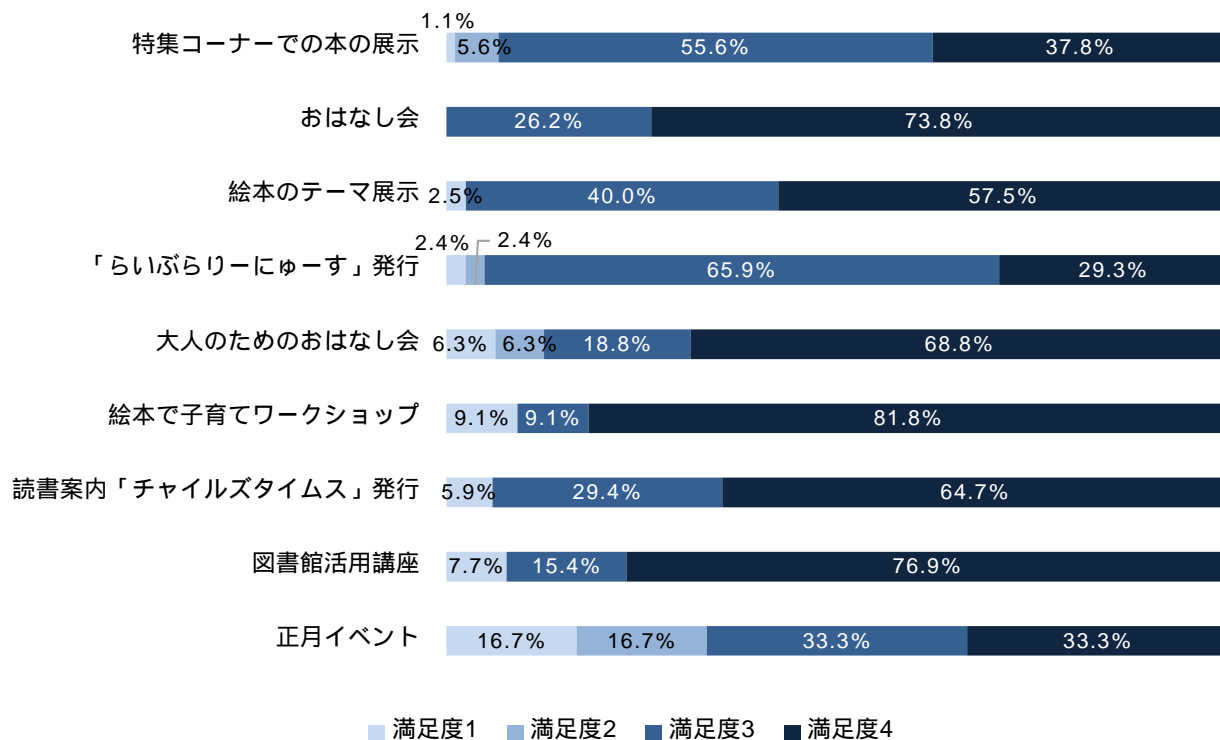
( 2 ) 相模大野図書館 ( n = 346 )

ご存じの事業



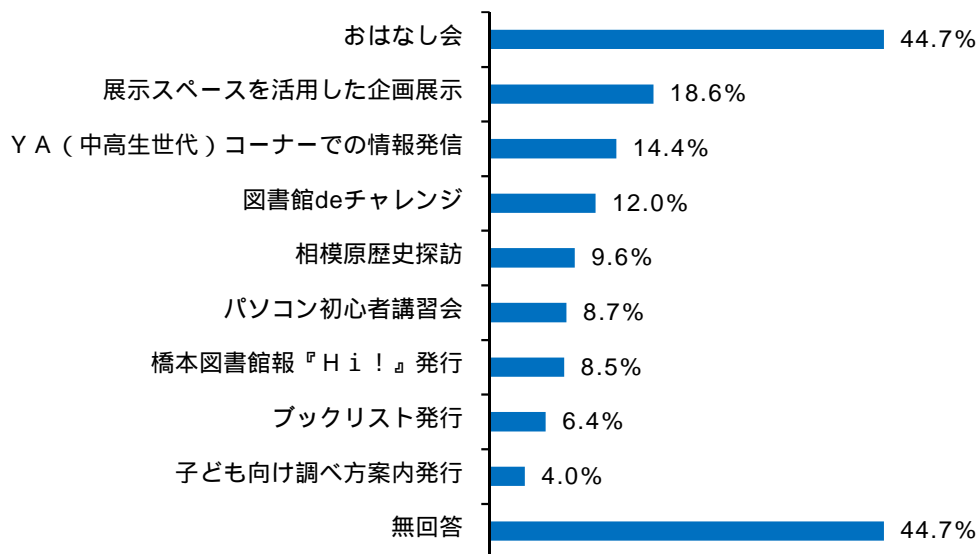
相模大野図書館では、特集コーナーでの本の展示（48.8%）が最も多く、次いでおはなし会（46.8%）、絵本のテーマ展示（23.7%）と続いている。

事業参加者の満足度（回答数 / 回答者数） 満足度4が最も高い



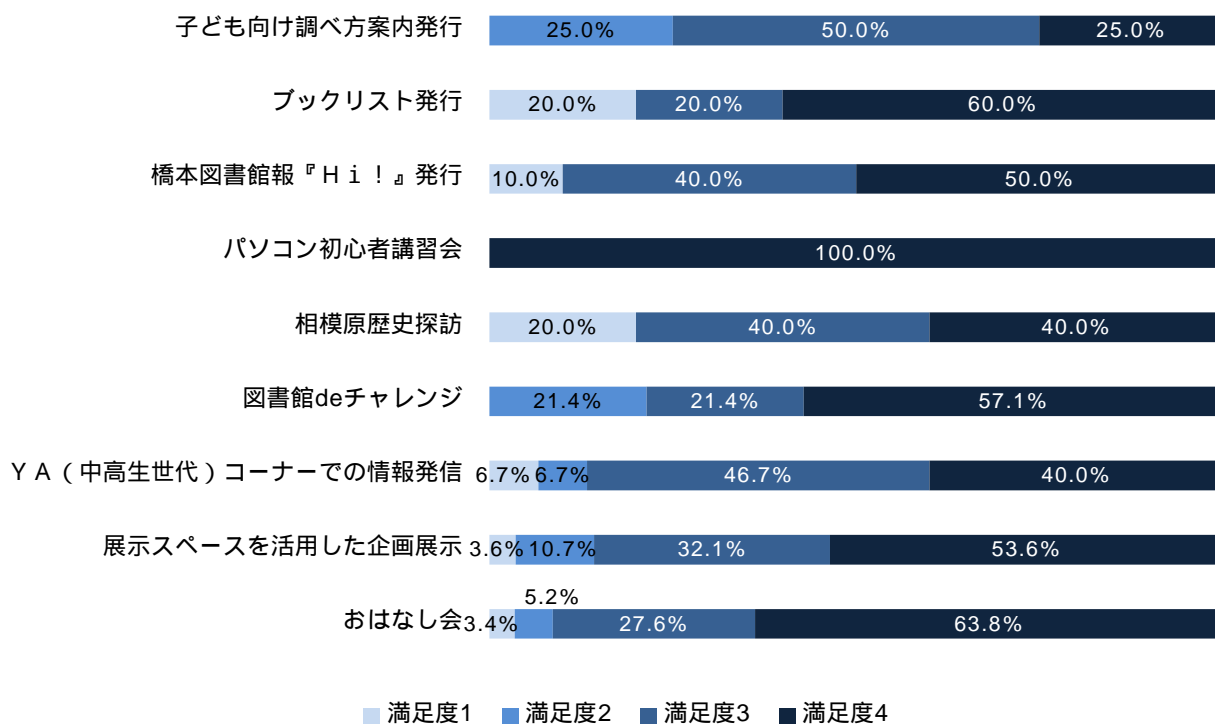
( 3 ) 橋本図書館 ( n = 425 )

ご存じの事業

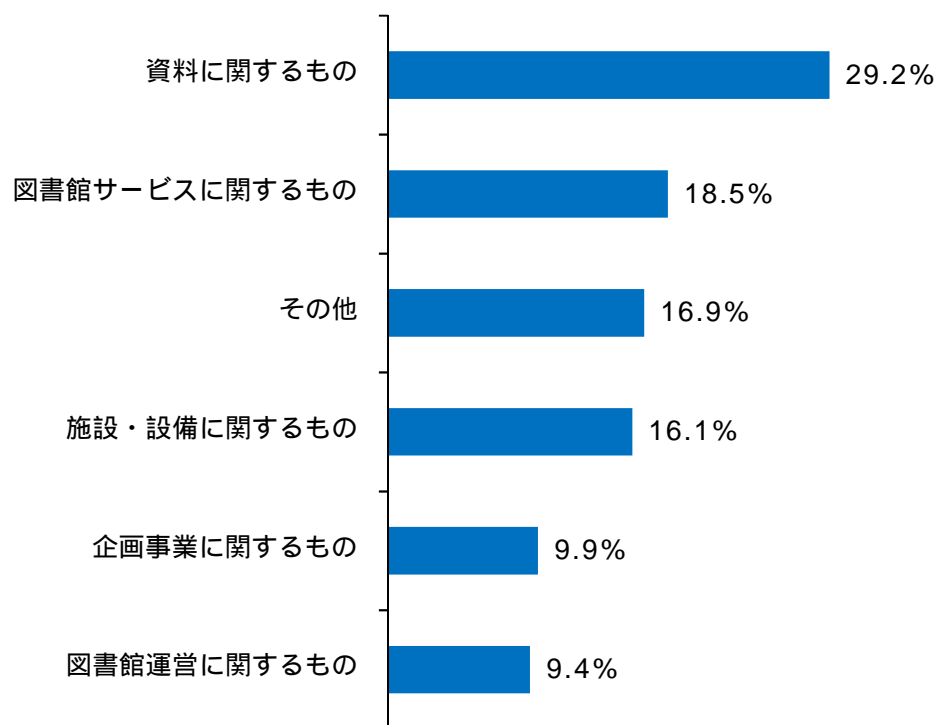


橋本図書館では、おはなし会（44.7%）が最も多く、次いで展示スペースを活用した企画展示（18.6%）、YA（中高生世代）コーナーでの情報発信（14.4%）と続いている。

事業参加者の満足度（回答数 / 回答者数） 満足度4が最も高い



## 4 自由意見（3館合計 n=384） 内容別に分類し集計



図書館の事業に対するご意見・ご要望は、記入があった総数のうち、資料に関するもの(29.2%)が最も多く、次いで図書館サービスに関するもの(18.5%)、その他(16.9%)と続いている。